

官報

號外

明治四十四年三月十九日

日曜日

印刷局

○第二十七回 帝國議會 衆議院議事速記錄第二十四號

明治四十四年三月十八日(土曜日)午前十時十九分開議

議事日程 第二十三號 明治四十四年三月十八日

午前十時開議

第一 明治二十三年法律第百三號廢止法律案

(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 商法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 商法施行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 非訟事件手續法中改正法律案(貴族院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 砂糖消費稅法中改正法律案(本院提出)

第六 民事爭訟勸解法案(高木益太提出)

第一讀會

第七 貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案(福井三郎提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 北海道鐵道敷設法中改正法律案(小橋榮太郎提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 酒造稅法中改正法律案(黃金井爲造提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 港灣改良ニ關スル建議案(松田正久提出)

第十一 南極探檢事業國庫補助ニ關スル建議案(小久保喜七提出)

第十二 初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ增加スルノ建議案(村松勉提出)

第十三 國設模範製絲所創設ニ關スル建議案(森國造提出)

第十四 常設美術展覽會設置ニ關スル建議案(竹内正志提出)

第十五 郡域變更ニ關スル建議案(塚田啓太提出)

第十六 高等工業學校設置ニ關スル建議案(鷺田土三提出)

第十七 私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案(戶水寬一名提出)

第十八 產業組合監督機關設置ニ關スル建議案(西谷金藏提出)

第十九 官立精神病院設置ニ關スル建議案(山根正次提出)

第二十 水道補助ニ關スル建議案(矢島中君外二名提出)

第二十一 京都市立陶磁器試驗場ヲ農商務省直轄ト爲スノ建議案(阪本彌一提出)

第二十二 鑛業試驗所設置ニ關スル建議案(宮古啓三提出)

第二十三 史蹟及天然記念物保存ニ關スル建議案(井上敏夫提出)

第二十四 小名濱港改良ニ關スル建議案(長崎發君外三名提出)

第二十五 平、小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案(尾君外三名提出)

第二十六 鐵道敷設ニ關スル建議案(三浦盛德君外五名提出)

第二十七 鐵道建設ニ關スル建議案(白石義郎君外三名提出)

第二十八 臺南水道敷設ニ關スル建議案(村上先君外三名提出)

第二十九 日本海員救濟會國庫補助金増額ノ建議案(高橋光威君外三名提出)

第三十 御歷世 宮趾保表ニ關スル建議案(八木通郎君外二名提出)

第三十一 名所舊蹟古墳墓保護ニ關スル建議案(八木通郎君外二名提出)

第三十二 北海道輕便鐵道敷設ニ關スル建議案(高橋直三提出)

第三十三 北海道拓殖經營案基礎確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案(小橋榮太郎提出)

第三十四 北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案(小橋榮太郎提出)

第三十五 准三后北畠親房公墳墓修理並南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ヲ特別保護建造物編入ニ關スル建議案(東武君外一名提出)

第三十六 生絲検査所ニ試驗場併置ニ關スル建議案(武藤金吉君外二名提出)

第三十七 內地粗糖業保護ニ關スル建議案(武藏義雄君外四名提出)

官報號外

明治四十四年三月十九日(明治三十五年第三種郵便物認可)

衆議院議事速記錄第二十四號

五二七

第三十八

酒類釀造試驗場増設ニ關スル建議案(黃金井提出)

(委員長報告)

第三十九

(特別報告第九十七號)帝國軍人後援會國庫補助ノ請願

(委員長報告)

第四十

(特別報告第九十八號)官營事業不企畫ノ請願

(委員長報告)

第四十一

(特別報告第九十九號)亞細亞學術探檢協會補助ノ請願

(委員長報告)

第四十二

(特別報告第一百號)郵便物集配事務復舊開始ノ請願

(委員長報告)

第四十三

(特別報告第一百一號)松江監獄西郷分監移轉ニ關スル請願

(委員長報告)

第四十四

(特別報告第一百二號)十津川村折立無集配局ヲ集配局ニ變更ノ請願

(委員長報告)

第四十五

(特別報告第一百三號)區裁判所出張所増設ノ請願

(委員長報告)

第四十六

(特別報告第一百四號)平戸區裁判所御厨出張所設立ノ請願

(委員長報告)

第四十七

(特別報告第一百五號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第四十八

(特別報告第一百七號)區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第四十九

(特別報告第一百八號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第五十

(特別報告第一百九號)區裁判所管轄變更ノ請願

(委員長報告)

第五十一

(特別報告第一百十號)國有土地山林原野地方自治體ニ下附ノ請願外一件

(委員長報告)

第五十二

(特別報告第一百十一號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第五十三

(特別報告第一百十二號)利根川工事改修補修ノ請願外一件

(委員長報告)

第五十四

(特別報告第一百十四號)區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十五

(特別報告第一百十五號)醫術開業試驗ニ關スル請願

(委員長報告)

第五十六

(特別報告第一百十六號)登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第五十七

(特別報告第一百十七號)圓山川同支川出石川ノ河身改修ノ請願

(委員長報告)

第五十八

(特別報告第一百十八號)登記所増設ノ請願

(委員長報告)

第五十九

(特別報告第一百十九號)發明事業獎勵補助金下附ノ請願

(委員長報告)

第六十

(特別報告第一百二十號)產牛獎勵資金貸下ノ請願

(委員長報告)

第六十一

(特別報告第一百二十一號)種牛場増設ノ請願

(委員長報告)

第六十二

(特別報告第一百二十三號)牛疫血清製造機關擴張ノ請願

(委員長報告)

第六十三

(特別報告第二百二十四號)静岡監獄濱松分監移轉ノ請願

(委員長報告)

第六十四

(特別報告第二百五號)別派公稱ノ請願外一件

(委員長報告)

第六十五

(特別報告第二百六號)皇后陛下御誕生日即チ地久節ヲ國家ノ祝日ニ加ヘテ國民一般ニ奉祝セムコトノ上奏ノ請願

(委員長報告)

第六十六

(特別報告第二百七號)鐵道建設ノ請願

(委員長報告)

第六十七

(特別報告第二百九號)日高國海岸線鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第六十八

(特別報告第三十號)補助航路ノ請願

(委員長報告)

第六十九

(特別報告第三十一號)鐵道建設ノ請願

(委員長報告)

第七十

(特別報告第三十二號)船川大久保間鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第七十一

(特別報告第三十三號)壽都黑松内間國有鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第七十二

(特別報告第三十四號)鐵道敷設ノ請願

(委員長報告)

第七十三

(特別報告第三十五號)紀勢鐵道敷設速成ノ請願外百五十二件

(委員長報告)

第七十四

(特別報告第三十六號)退隱料下附ノ請願

(委員長報告)

第七十五

(特別報告第三十七號)稅務署位置變更ニ關スル請願

(委員長報告)

第七十六

(特別報告第三十八號)地價修正ノ請願

(委員長報告)

第七十七

(特別報告第三十九號)裁判事務開始ノ請願

(委員長報告)

第七十八

(特別報告第四十號)商法改正案中約束手形自署ニ關スル請願

(委員長報告)

第七十九

(特別報告第四十一號)銚子港國費築港ノ請願

(委員長報告)

第八十

(特別報告第四十二號)區裁判所事務復舊ノ請願

(委員長報告)

第八十一

(特別報告第四十三號)利根川浚渫工事繰上ノ請願

(委員長報告)

第八十二

(特別報告第四十五號)區裁判所出張所設置ノ請願

(委員長報告)

第八十三

(特別報告第四十七號)出雲國三澤郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第八十四

(特別報告第四十八號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第八十五

(特別報告第四十九號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第八十六

(特別報告第五十號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第八十七

(特別報告第五十一號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第八十八

(特別報告第五十二號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第八十九

(特別報告第五十三號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

○副議長(肥塚龍君) 議長差支ニ付、暫時私が此席ヲ濱シマス——警告ヲ致シマス
(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
新田神社昇格ノ建議案

提出者 武藤 金 吉君 日向 輝 武君 根岸 峯太郎君

一鈴木力君ヨリ南滿洲鐵道經營ノ現狀ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一手塚正次君ヨリ稅務官吏ノ不法行為ニ對スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一高柳覺太郎君ヨリ國民ノ宗教ニ對スル政府ノ方針ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一請願委員ノ補缺選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

第五部請願委員 森 秀 次君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案

西谷 金藏君 長 島 繁太郎君 井上 敏夫君

吉植庄一郎君 坂元 英 俊君 佐野 春五君

藤代市之輔君 齋藤 巳三郎君 清水市太郎君

治安警察法中改正法律案

矢 島 中君 花村 覺三郎君 向 坂 弘君

山岡 國 吉君 翠川 鐵三君 村松 龜一郎君

長場龍太郎君 高木 益太郎君 阪本 彌一郎君

印紙稅法中改正法律案外二件

岡田 泰藏君 山本 悌二郎君 黃金井 爲造君

田邊 熊一君 高久 倉藏君 森田 勇次郎君

高木 益太郎君 木村 良君 飯田 精一君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律委員會

委員長 吉植庄一郎君 理事 清水市太郎君

印紙稅法中改正法律案外二件委員會

委員長 岡田 泰藏君 理事 田邊 熊一君

○副議長(肥塚龍君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、明治二十三年法律第百三號廢止法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長高久倉藏君

三號廢止法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長高久倉藏君

第一 明治二十三年法律第百三號廢止法 第一讀會ノ續(委員長報告)

○高久倉藏君 聽取レマセメシタガ、明治二十三年法律第百三號ノ廢止案デスカ

○副議長(肥塚龍君) サウデス

官報號外 明治四十四年三月十九日 衆議院議事速記錄第二十四號 副議長ノ報告 議事日程第一乃至第四ノ件

(高久倉藏君登壇)

○高久倉藏君 諸君、委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此案ハ從來沖繩縣下ニ施行セラレテアリマス、然レニ現今同縣下ニ於テ人文ノ發達ニ伴ヒ漸次會社ノ設立ガ多クナッタノデアリマス、從ッテ仕拂停止等ニ關シテ本法施行ノ必要ヲ生ジタノデアリマス、故ニ新ニ本法ヲ施行スルノデアッテ、委員會ハ是ガ必要ヲ認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマス、此段御報告ニ及ビマス

○副議長(肥塚龍君) 委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○菅原通敏君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 菅原君ノ動議、委員長報告通リ讀會省略ニ御異議ハアリマセヌカ

明治二十三年法律第百三號廢止法律案 確定讀

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ讀會ヲ省略シテ確定致シマス、日程第二ヨリ第四マデハ同一委員ニ付託ニナッテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ一括シテ議題トスルニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ一括シテ議題トナシ、決議ハ別々ニ採ルコトニ致シマス、委員長鳩山和夫君

第二 商法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 商法施行法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 非訴事件手續法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(法學博士鳩山和夫君登壇)

(拍手起ル)

○法學博士鳩山和夫君 商法中改正法律案外二件ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ報告致シマス、此三件ノ中ニ重ナルモノハ商法中改正法律案デッカ、併シニ三件共ニ特別委員會ハ二十七名デアリマス、其中ニ九名ノ特別調查會ヲ置キマシテ、此特別調查會ニ於テ審議討論シテ修正ヲ加ヘタ結果ヲ委員會總會ニ報告シテ、委員長總會ニ於テ決定シタルコロモノハ諸君ノ御手許ニ配付シタル如クデアリマス、尤モ特別調查會ニ委託スル以前ニ委員會總會ニ於テ四回ホド大體ニ付テ種々ノ質問ガアリマシタ、是等ノコトヲ一々此所御報告致シマス、十二時マデハ少シ時間ガ足りナイヤウニ考ヘマスカラシテ、或ハ今日皆掛ルカモ知レナイノデ、他ノ議案ノ都合モアリマス、カラ總テ是ハ委員會ニ於ケル經過ハ委員會ノ速記錄ニ依ッテ御承知ヲ願ヒマス、又委員會ニ於テノ修正ノ箇條モ多クアリマス、併ナガラ其多クハ或一箇條ヲ直シタメニ其影響

五二九

スルトコロニ依テ整理ノ結果トシテ他ノ條文ヲモ直サナケレバナラナイト云フヤウナ順序ニナツテ直シテアリマシテ、餘リ詳シク茲ニ御報告ヲ致ス必要ノナイモノガアルノデス、ソレ故ニ私ハ唯御報告トシテハ極メテ簡單ニ一二點修正ノ重ナルモノト思料スルトコロノモノヲ茲ニ御報告致サウト考ヘマス、商法ノ第五章ニ於キマシテ二七條ノ二トシテ商業帳簿ノ提出ヲ訴訟ノ當事者ニ命スルコトヲ得ルト云フ條文ヲ設ケマシタノガ一ツ、ソレカラ第四百四十五條第二項但書ヲ削ルト云フコトハ現行法ニ依リマスル株式會社ノ重役ハ株主中ヨリ之ヲ選任スルト云フコトニナツテ居ルノデアッデ、此度ノ貴族院送付ノ政府案ニ於テハ株主以外ノ人ヲモ亦重役ニ選任スルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居ル、委員會ニ於キマシテハ種々討論ノ末ニ、ヤハリ現行法ノ方ガ宜イト云フ結果ニナリマシテ、即チ重役ハ株主中ヨリ之ヲ選任スルト云フ主義ヲ執ルコトニナリマシタ、其次ニ特ニ御報告致シタイト思フノハ第二百六十一條以下即チ重役ニ對スル罰則デアリマス、是ハ改正案ニ於キマシテ現行法ト大ニ異ルトコロデアッデ、今日マデノ商法ニ於キマシテハ重役ノ不正行為ニ對シテ、自由刑若クハ罰金刑ヲ科スルト云フコトハ刑法ノ規定以外ニハナクカダノデアアル、此度ハ商法中ニ綿密ナル罰則ヲ掲ゲテ重キハ五年以下ノ自由刑、輕キモ一年以下ノ自由刑、罰金ニ於テハ三千圓ノ罰金ト云フヤウナ規定ガアルノデアリマスガ、委員會ニ於キマシテハ此二百六十一條以下罰則ニ關スル改正案ハ否認スルヲ相當トスルト云フコトニナツタノデアリマス、此點ニ付テハ大分議論ガアルノデアリマスケレドモ、ソレハ反對贊成ノ通告ガアルヲ考ヘマスカラ、委員長トシテ茲ニ報告ヲ省キマシテ、後ニ贊成並ニ反對論者ノ口カラ詳細ナルコトヲ御聽ニナル方ガ却テ便利デアルト存ジマス、尙其他ニモ整理ノ結果ニアラザル修正ノ點ガアリマスケレドモ、是ハ書面ニ依ツテ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ此施行法中ノ改正案ハ今ノ商法中改正案ノ二百六十一條以下ノ罰則ヲ削ツタ結果デアリマス、ソレカラ非訟事件手續法中ニモ極ク僅ノ修正ガアリマスケレドモ、是モ實質ノ修正ニアラズシテ商法中改正法律案ノ修正ノ結果デアリマスカラ、別段ニ茲ニ理由ヲ具シテ報告ヲ致シマセヌ

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

商法中改正法律案中左ノ通修正ス

(小字及ハ委員會修正)

第二十七條ノ二 裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ當事者ニ其商業帳簿ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第五十一條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

七 數人ノ社員カ共同シ ○又ハ社員カ支配人ト共同シ

代表ニ關スル規定

第六十一條ノ二 會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ數人ノ社員カ共同シ

○又ハ社員カ支配人ト共同シ

第三十條ノ二 第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十條中第五號ヲ削リ第六號ヲ第五號トシ以下順次繰上ク

第二百二十一條中第五號乃至第七號ヲ第五號及ヒ第六號ニ改ム

第四百四十一條中第七號ヲ第六號ニ改メ第一項ニ左ノ二號ヲ加フ

八 會社ヲ代表スヘキ取締役ヲ定メタルトキハ其氏名

九 數人ノ取締役カ共同シ ○又ハ取締役カ支配人ト共同シ

其代表ニ關スル規定

第四百四十五條第二項但書ヲ削ル

第四百六十四條 取締役ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

會社ト取締役トノ間ノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從フ

第六十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

會社ト取締役トノ間ノ關係ハ委任ニ關スル規定ニ從フ

第六十八條 定款ヲ以テ取締役カ有スヘキ株式ノ數ヲ定メタルトキハ取締役ハ其員數ノ株券ヲ監査役ニ供託スルコトヲ要ス

第七十條 定款又ハ株主總會ノ決議ヲ以テ取締役中會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メス又ハ數人ノ取締役カ共同シ ○若クハ取締役カ支配人ト共同シ

若クハ取締役カ代表スヘキコトヲ定メサルコトキハ取締役ハ各自會社ヲ代表ス

第三十條ノ二 第二項及ヒ第六十二條ノ規定ハ取締役ニ之ヲ準用ス

第七十六條ノ末ニ此場合ニ於テハ民法第八條ノ規定ヲ適用セスヲ加フ

第九十條ノ二 繼續シテ會社ノ營業ノ用ニ供スル財産ヲ財産目録ニ記載スルニハ其取得價額又ハ製作價額ヨリ相當ノ減損額ヲ控除シタル價額ヲ附スルコトヲ得

第九十一條中「前條ヲ」第百九十條ニ改ム

第九十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

會社ハ損失ヲ填補スル爲メ其資本ノ四分ノ一二達スルマテ準備金トシテ利益ノ二十分ノ一以上ヲ積立ツルコトヲ要ス

第九十四條ノ二 第二十六條第二項ノ規定ニ依リテ會社ノ財産ニ附スル價格カ取得價額又ハ製作價額ニ超ユルトキハ其差額ハ利益トシテ之ヲ處分スルコトヲ得

第九十五條 會社カ前二條ノ規定ニ違反シテ配當ヲ爲シタルトキハ會社ノ債權者ハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

第二百一十條中「二十圓ヲ」五十圓ニ改ム

第二百三十七條中第四號、第六號及ヒ第七號ヲ「第四號乃至第六號」ニ改ム

第二百四十二條中「第七號ヲ」第六號ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ加フ

七 數人ノ無限責任社員カ共同シ ○又ハ無限責任社員カ支配人ト共同シ

トキハ其代表ニ關スル規定

○又ハ無限責任社員カ支配人ト共同シ

第二百六十一條 取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役又ハ株式會社若クハ株式合資會社ノ清算人若クハ支配人カ會員ニ損害ヲ生スヘキコトヲ知リテ其任務ニ背キタル行為ヲ爲シ會社ノ財産上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百六十一條中「第二百六十六條第二項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ反シ株式申込證ヲ作ラ

スヲ第二百二十六條第二項、第二百三條第二項、第二百十二條ノ三第一項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ反シ株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラスニ、第二百十七條第二項ヲ、第二百十七條第三項ニ改メ、營業報告書、ノ下ニ事務報告書ヲ加フ

第二百六十一條ノ二 發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役又ハ検査役カ會社ノ設立若クハ資本ノ増加又ハ其登記ヲ爲シ若クハ之ヲ爲サシムル目的ヲ以テ裁判所又ハ總會ニ對シ左ニ掲ケタル事項ニ付キ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽セタルトキハ五年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 會社ノ設立又ハ資本増加ノ場合ニ於ケル株式總數ノ引受
- 二 會社ノ設立又ハ資本増加ノ場合ニ於ケル第二百二十九條ノ拂込
- 三 第二百二十二條第三號乃至第五號又ハ第二百十二條ノ二ニ掲ケタル事項

第二百六十一條ノ三 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役、清算人又ハ検査役ハ左ノ場合ニ於テハ三年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 會社ノ業務又ハ會社財産ノ狀況ニ付キ裁判所又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽セタルトキ
- 二 會社ノ業務又ハ會社財産ノ狀況ニ付キ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
- 三 會社ノ業務又ハ會社財産ノ狀況ニ付キ會社ノ帳簿又ハ書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ
- 四 法令ノ規定ニ依リ會社ニ備ヘ置クヘキ帳簿又ハ書類ヲ本店又ハ支店ニ備ヘ置カサルトキ
- 五 法令ノ規定ニ違反シテ株券ヲ發行セタルトキ、株券ニ第四百四十八條第二項ノ金額ヲ記載セス若クハ其金額ニ付キ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ第五百五十五條第一項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ無記名式ト爲シタルトキ

六 法令ノ規定ニ違反シテ社債ヲ募集シ又ハ債券ヲ發行シタルトキ
社債募集ノ委託アリタル場合ニ於テ受託者、受託會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役又ハ受託外國會社ノ代表者カ前項第二號ニ掲ケタル行爲ヲ爲シタルトキ亦同シ
前二項ノ行爲カ過失ニ出テタルトキハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十一條ノ四 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ二年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 第七十八條乃至第八十條ノ規定ニ違反シテ合併、會社財産ノ處分、資本ノ減少又ハ組織ノ變更ヲ爲シタルトキ
- 二 第七十四條第二項又ハ民法第八十一條ノ規定ニ依リ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘキ場合ニ於テ其請求ヲ爲サシメテ會社財産ヲ處分シタルトキ
- 三 検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキ
- 四 會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散セタル場合ニ於テ清算人ニ事務

官報號外 明治四十四年三月十九日 衆議院議事速記錄第二十四號 商法中改正法律案

ノ引渡ヲ爲ササルトキ
五 清算ノ了了ヲ遲延セシムル目的ヲ以テ民法第七十九條ノ期間ヲ不當ニ定メタルトキ

六 一部ノ債權者ヲ利スル目的ヲ以テ民法第七十九條ノ期間内ニ之ニ辨濟ヲ爲シタルトキ
七 債權者ヲ害スル目的ヲ以テ第九十五條ノ規定ニ違反シ會社財産ヲ分配シタルトキ

八 第二百六十條ノ規定ニ依リ裁判所ノ命令ニ違反シタルトキ
前項ノ行爲カ過失ニ出テタルトキハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十一條ノ五 他人ノ株券ヲ使用シ其他詐欺ノ所爲ニ因リ議決權ヲ行ヒ又ハ第九十九條ノ二、第一百六十條、第六十三條、第七十八條、第八十七條、第九十八條第一項若クハ第二百二十八條第二項ノ規定ニ依リ株式引受人若クハ株主ノ權利ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役又ハ株式會社若クハ株式合資會社ノ清算人若クハ支配人カ前項ノ行爲ヲ爲シ又ハ之ニ加功シタルトキハ三年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十一條ノ六 議決權ノ行使ニ關シ不正ノ利益ヲ收受若クハ要求シ又ハ之ヲ收受スルコトヲ約束シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
不正ノ利益ヲ交付若クハ提供シ又ハ之ヲ交付スルコトヲ約束シタル者亦同シ
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役又ハ株式會社若クハ株式合資會社ノ清算人若クハ支配人カ第一項若クハ第二項ノ行爲ヲ爲シ又ハ之ニ加功シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六十一條ノ七 發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役、株式會社若クハ株式合資會社ノ清算人若クハ支配人又ハ検査役カ職務ノ執行ニ關シ不正ノ利益ヲ收受若クハ要求シ又ハ之ヲ收受スルコトヲ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ニ掲ケタル者ニ不正ノ利益ヲ交付若クハ提供シ又ハ之ヲ交付スルコトヲ約束シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二百六十一條ノ八 前二條ノ場合ニ於テ收受シタル利益ハ之ヲ沒收ス若シ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其價額ヲ追徵ス
第二百六十二條 發起人、會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、外國會社ノ

代表者、監査役又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上十圓以下ノ過料ニ處ス但其行為ニ付キ刑ヲ科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 本編ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三 本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告若クハ通知ヲ爲シタルトキ

四 本編ノ規定ニ依リ閱覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閱覽セシメザリシトキ

五 本編ノ規定ニ依リ檢査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ

六 本編ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ召集セザリシトキ

七 第四百六十六條ノ規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ

八 第四百七十四條第二項又ハ民法第八十一條ノ規定ニ違反シ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

九 第四百九十四條ノ規定ニ違反シ準備金ヲ積立テザルトキ

十 株式申込證又ハ社債申込證ヲ作ラス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

十一 株券又ハ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セズ又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

十二 其他重要ナル義務ヲ盡サザルトキ

第二百六十二條中「社債ヲ募集シタルトキ」ヲ「社債ヲ募集シ又ハ第二百五條第一項ノ規定ニ違反シテ債券ヲ發行シタルトキ」ニ改ム

第二百六十七條中「運送取扱人カ委託者ノ請求ニ因リテ貨物引換證ヲ作リタルトキ」ハ自ラ運送ヲ爲スモノト看做ス

第二百六十七條中「質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十七條中「質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニ當タリ裏書人カ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ預證券及ビ質入證券ニ記載セザリシトキ」ハ倉庫營業者ヲ支拂擔當者ト看做ス

第三百八十三條中「倉庫證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アルトキ」ハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ヲ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ビ數量ヲ倉庫證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第四百四十三條中「六月」ヲ「一年」ニ改ム

第四百五十二條中「支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ハ之ヲ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第四百五十三條中「住所」ヲ「營業所又ハ住所ノ所在地」ニ改ム

第四百五十三條中「振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂擔當者トシテ爲替手形ニ記載スルコトヲ得

第四百七十二條中「住所」ヲ「營業所又ハ住所ノ所在地」ニ改ム

第四百七十七條中「住所」ヲ「營業所又ハ住所ノ所在地」ニ改ム

第五百三十六條 振出人カ支拂人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得ル金額ヲ超エテ小切手ヲ振出シタルトキハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

第五百三十七條 第四百四十六條、第四百四十七條、第四百四十九條ノ二、第四百五十二條、第四百五十三條ノ二、第四百五十五條、第四百五十七條、第四百五十九條乃至第四百六十四條、第四百八十三條、第四百八十四條、第四百八十六條乃至第四百八十九條ノ二、第四百九十一條、第四百九十二條、第四百九十五條、第五百十四條乃至第五百十五條ノ二、第五百十五條ノ五及ヒ第五百十七條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

第七條 本法施行前ニ株式會社ノ發行人カ定款ヲ作リタル場合ニ於テハ其設立ニハ從前ノ規定ヲ適用ス但定款ニ取締役カ有スヘキ株式ノ數ヲ記載セザリシトキハ取締役ハ株式引受人又ハ株主ニ非サル者ノ中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ規定ハ第四百二十六條ノ二及ヒ第四百四十二條ノ二乃至第四百四十二條ノ四ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第八條 本法施行前ニ株式會社ヲ設立シ又ハ發起人カ定款ヲ作リタル場合ニ於テハ株式ノ金額カ第四百四十五條第二項ノ規定ニ反スルモ定款ノ定ムル所ニ依ルコトヲ得本法施行後ニ新株ヲ發行スルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ本法施行後ニ株式ノ金額ヲ變更スル場合ニハ之ヲ適用セス

第九條 第五百五十二條第三項及ヒ第五百五十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ第五百五十二條第一項ノ催告ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十條 第六百六十三條及ヒ第六百六十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル事由ニ基キ其施行後ニ決議無効ノ訴ヲ提起スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十一條 第九十九條ノ三第二項、第九十九條ノ四及ヒ第六百六十三條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル決議無効ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但其訴ニ付キ爲シタル判決カ本法施行前ニ確定シタルトキハ此限ニ在ラス

第十二條 前二條ノ規定ハ創立總會ノ決議無効ノ訴ニ之ヲ準用ス

第一百六十三條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル創立總會ノ決議無効ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス

第十三條 第六百六十七條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ノ任務カ本法施行後ニ終了シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十四條 第七百七十七條及ヒ第八百八十六條ノ規定ハ本法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ノ行為カ本法施行後ニ在リタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十五條 本法施行前ノ最終ノ財産目錄ニ掲ケタル財産ニ附シタル價額ハ第四百九十九條ノ二及ヒ第五百九十四條ノ二ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ其取得價額又ハ製作價額ト看做ス但取得價額又ハ製作價額カ其價額ニ超ユルト

キハ此限ニ在ラス

第十六條 本法施行前ニ株式會社カ社債募集ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ從前ノ規定ニ從ヒテ其募集ヲ爲スコトヲ得但未タ社債募集ノ公告ヲ爲ササルトキハ第二百三條、第二百三條ノ二、第二百四條ノ二及ヒ第二百七條ノ二ノ規定ヲ適用ス

第十七條 本法施行前ニ株式會社カ資本増加ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ從前ノ規定ニ從ヒテ其増加ヲ爲スコトヲ得

第十八條 第二百二十條ノ二乃至第二百二十條ノ五ノ規定ハ本法施行前ニ資本減少ノ決議ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス但株主總會ノ決議ニ反スルトキハ此限ニ在ラス

第十九條 第二百二十條ノ二乃至第二百二十條ノ五ノ規定ハ券面額五十圓未満ノ株式ヲ併合スル場合ニ之ヲ適用ス

第二十條 本法施行前ニ株式會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テモ株主ハ其記名株式ヲ讓渡スコトヲ得

第二十一條 附則第十八條ノ規定ハ會社ノ合併ニ因ル株式併合ノ場合ニ之ヲ適用ス

第二十二條 附則第三項ノ規定ハ本法施行前ニ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第二十三條 本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無効ナルコトヲ發見シタル場合ニ於テ裁判所カ未タ清算人ヲ選任セサリシトキハ設立無効ノ主張ニ付テハ本法ノ規定ヲ適用ス

第二十四條 附則第十條、第十一條、第十三條及ヒ第十四條ノ規定ハ株式會社ノ清算ノ場合ニ之ヲ適用ス

第二十五條 附則第四條及ヒ第五條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ適用ス

第二十六條 前十八條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ適用ス

第二十七條 本法施行前ニ會社ニ關スル罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其罰則ヲ適用ス

第二十八條 第四百八十七條乃至第四百八十八條ノ二及ヒ第四百八十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ第一ノ質入裏書アリタル質入證券ノ所持人カ本法施行後ニ支拂ヲ求ムル爲メ其證券ヲ呈示スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條 質入證券所持人ノ裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日カ本法施行前ニ在リタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ六個月ヲ經過シ在ル場合ニ於テハ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六個月ヲ經過シ

タルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

質入證券裏書人ノ其前者ニ對スル請求權ハ本法施行前ニ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其施行ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス於テハ其償還ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三十條 第三百六十七條ノ三、第三百八十條ノ二及ヒ第三百八十條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル預證券又ハ質入證券ニモ亦之ヲ適用ス但其證券ニ別段ノ意思表示アルトキハ此限ニ在ラス

第三十一條 第四百十七條ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル保險料返還ノ義務ニ付キ其施行後ニ時効カ進行ヲ始ムル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第三十二條 本法施行前ニ進行ヲ始メタル時効ノ殘期カ其施行ノ日ヨリ起算シテ二年ヨリ長キトキハ其殘期ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第三十三條 第四百二十八條乃至第四百二十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ爲シタル保險契約ニハ之ヲ適用セス

第三十四條 本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ其施行後ニ引受拒絕證書ヲ作ラシメタル場合ニ於テハ擔保請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要セス

第三十五條 本法施行後ニ擔保ヲ供セサル爲メ拒絕證書ヲ作ラシメタル場合亦同シ

第三十六條 第四百八十七條乃至第四百八十八條ノ二、第四百八十八條ノ四及ヒ第四百八十九條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ所持人カ本法施行後ニ支拂ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第三十七條 第五百十五條乃至第五百十五條ノ五及ヒ第五百十七條第一項ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル爲替手形ニ付キ其施行後ニ拒絕證書ヲ作ル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第三十八條 前三條ノ規定ハ約束手形ニ之ヲ適用ス

第三十九條 第五百三十三條ノ三及ヒ第五百三十四條第二項ノ規定ハ本法施行前ニ振出シタル小切手ニ付キ所持人カ本法施行後ニ支拂ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第四十條 本法施行前ニ小切手ニ關スル罰則ヲ適用スヘキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ其罰則ヲ適用ス

第四十一條 第五百四十四條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル原因ニ基キ其施行後ニ委付ヲ爲ス場合ニモ亦之ヲ適用ス

第四十二條 第五百四十四條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル原因ニ基キ其施行後ニ委付ヲ爲ス場合ニモ亦之ヲ適用ス

〔司法大臣子爵岡部長職君登壇〕

○司法大臣(子爵岡部長職君) 唯今委員長ヨリ報告相成リマシタル商法改正案委員會ノ修正ニ付キマシテモ一言申述ベ置キマス必要ヲ認メマス、前日來委員會ニ於キマシテハ政府ハ詳細ニ其意見ノアルトコロヲ説明致シマシタル次第アリマス、而シテ委員會ニ於キマシテハ唯今委員長ヨリ報告ナリマシタル通りノ修正ノ議ヲ決セラレマシタル次第アリマス、政府ニ於キマシテハ既ニ再三各條ニ付キマシテ意見ノアルトコロヲ辯明致シマシタル結果デアリマシテ、此修正ニ付キマシテハ強テ其全部一字一句ノコトマデモ政府ノ意見ヲ固持スルコト云フ譯デアリマセヌケレドモ、其大體ニ於キマシテハ政府ニ於テ修正意見ニ同意ヲ致シマシタルコト云フ譯ニ參リマセヌノハ、甚ダ遺憾ト致ストコロデアリマス、就中支拂擔當者ニ關スル規定、取締役ノ資格ニ關スル規定、財産目錄ニ關スル規定、會社罰則ニ關スル規定ノ如キニ至リマシテハ、修正中ノ主ナルモノデアリマシテ、殊ニ同意ヲ表スルニ難シトスルコトデアリマス、滿場諸君ニ於カレマシテハドウカ政府ノ意見ノ在ルトコロヲ諒セラレテ、審議ノ上宜シク議定アラント希望致シマス

○高柳覺太郎君 質疑ガアリマス、委員長ニ簡單ナル質問ガアリマス、委員會ニ於キマシテハ本案ニ對シテ延期ノ意見ハ出ナカッタデアリマス、本案大體ノ修正ニ付キマシテハ本員等決シテ異議ハゴザイマセヌ、併ナガラ尙他ノ箇條ニ互リマシテハ大ニ修正ヲ要スベキ箇條モマダ多アルヤウニ信ジマス、無論商法全部ニ互テ十分ナル御調査ヲ遂ゲラレタ上、委員會ノ結果ハ唯今御報告ナッタモノデアリタルハ信ジマス、其委員會ノ經過中ニ於テ一部ノ意見ニ致シマシテ、免角此商法修正ニ付テノ大體ノ意見トシテ一年若クハ二年尙調査ヲ重ネテ然レ後修正スルモ敢テ遲クナイト云フヤウナ理由ヲ以テ延期ノ意見等ハナカッタデアリマス、其延期ニ付キマシテハ御攻究等ハナカッタデアリマス、殊ニ東京辯護士組合ハ此商法ニ付キマシテハ延期ノ意見ヲ發表シテ居ル譯デアリマス、之ニ緣故ノアルトコロハ特別委員長ハ是等ノ說ニ付キマシテ私ニ或ハ公ニ其說者ハ其意見ヲ御參酌ニナツテノ上デアリマス、コレ等ニ付テノ調査會ニ於キマシテハ經過ヲ尙伺ヒタウゴザイマス

○法學博士鳩山和夫君 高柳君ノ質問ニ答ヘル前ニチヨット報告書ニ誤ガアリマス、コレヲ訂正シテ置キマス、第五百二十六條 振出人カ支拂人ヲシテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得ル金額ヲ超エテ小切手ヲ振出シタル時ハ五圓以上十圓以下ノ科料ニ處ス、此科料ノ「科」ノ字ガ違テ居ル「過料」トナルノデス、コレカラ高柳君ノ質問ハ委員會ニ於テ商法ノ延期ト云フ議論ガ出タカト云フノガ骨子ノヤウデアリマス、其議論ハ出マセヌデシタ、委員會ノ筆記ヲ御覽ニナルト能ク分ツテ居リマス

○小川平吉君 チヨット司法大臣ノ今ノ御話ニ付テ質問ヲ致シタイ、支拂擔當者ノ規定ニ付テ反對デアルト云ハレタノハ、ドノ支拂擔當者ノコトニ付テ御反對ニナルノデアリマス、支拂擔當者ノ規定ニ付テ反對ト云フノハ質入證券ノ場合ノ支拂擔當者ノ意味カ、爲替手形ニ關係スルモノト兩方アル、ドチラノ方ニ御反對デアルカ

〔政府委員法學博士齋藤十一郎君登壇〕

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 兩點共ニ反對デアリマス

○菅原傳君 本案ニ對シ直ニ二讀會ヲ開カレシコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ直ニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、念ノタメニ御報告ヲ致シテ置キマスガ、議案全部ヲ議題ト致シマス、花井卓藏君

〔法學博士花井卓藏君登壇〕

○法學博士花井卓藏君 諸君 本員ノ委員長報告ニ反對致シマスル點ハ、第六十四條、及第二百六十一條、第二百六十一條ノ五、六、七、八デアリマス、第六百六十四條ニハ「取締役ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス」、ト定メラレテゴザイマス、其レヲ委員會ハ現行法ノ如ク株主ニ限ルト云フコトニセラレタノデアリマス、此點ニ關シテ本員ハ立法ノ退歩ナリトシテ反對ヲ致スノデアリマス、取締役ヲ株主ニ限ルトスル說ハ佛蘭西ノ商法ニ於テ認メラレタルトコロデアリマシテ、今日文明ノ諸國ニ於キマシテハ、殆ト採用セル處ハゴザイマセヌ、取締役ハ會社ヲ代表致シマシテ業務ヲ執行スルトコロノ通常ノ機關デアリマス、而シテ會社ノ最高機關タル株主總會ノ意思ニ基キテ行動スルコトノモノデアリマス、株主總會ハ意思ノ機關デアル、即チ立法ノ機關デアル、取締役ハ執行ノ機關デアル、即チ行政ノ機關デアル、故ニ取締役自ラガ單獨ニ隨意ニ業務ヲ執行スルノ權ハナイノデアリマス、常ニ總會ノ下ニ働カナケレバ相成ラヌモノデアリマス、コレ故ニ株主總會ニ於テ認メマシタル以上ハ、必シモ之ヲ株主ニ限ルベキ必要ハナイノデアリマス、株主總會ニ於テ取締役ヲ選ムニ當リマシテ株主然レベシト認メマシタラバ、株主ヲ選任スベシ、株主以外ノ人然レベシト認メマシタラバ、株主以外ノ人ヲ選任スベシデアリマス、此ノ如キ權能ハ一ニ株主總會ノ決スルコトコロニ委セテ然レベキモノト信ズルノデアリマス、而シテ之ヲ必シモ株主ニ限定スルコト云フ理論上ノ根據ハナイノデアリマス、事實上ノ根據モナイノデアリマス、加之株主ニ取締役ヲ選任セラルベキ當然ノ義務ヲ負擔セシムルコト云フガ如キ理由ハ萬キヤナイト信ジテ居リマス、御承知ノ如ク取締役ハ會社ノ業務ヲ執行スル者デアリマシテ、業務ノ執行ハ商業上ノ知識經驗並ニ技能ヲ有スル者ニシテ初メテ完全ニ爲シ得ラルベキモノデアリマス、唯單ニ株主ヲ支拂ヒマシテ會社ニ加入ヲ致シマスルコト云フダケノ理由ニ於テ、決シテ業務ヲ執行ノ完全ニ爲シ得ラルベキモノデアリナイノデアリマス、商業上ノ知識經驗ヲ有セズ、又技術ヲ有セズ、然レドモ株主タルガ故ニ業務ヲ執行ノ機關ニ與カラザルベカラズト云フガ如キ義務ニ類スル強制ヲ法律ガ爲スト云フ事柄ハ頗ル穩當ヲ缺クモノナリト信ジテ居ルノデアリマス、株主ニ限ルト云フ說ハ一面ニ於テ會社ノ事業ト沒交渉トナリ、又他ノ一面ニ於テ商法ノ精神ト沒交渉デアリマス、而シテ原案ハ株主ヨリ選任スルコトヲモ妨ゲテハ居ラヌノデアリマス、株主總會ニ於テ然レベキモノト認ムレバ株主中ヨリモ選任シ得ラルベク株主中ニ於テ業務ヲ執行上ニ關スル知識經驗技能アル者ヲ見出スコト能ハザル場合ニ於テハ株主以外ノ人ヲ選任スルコトヲモ妨ゲテハ居ナイノデアリマス、二者ニ涉リテ宜シキニ適從スル選擇ノ自由ヲ授ケタル最モ進歩シタル立法デアルノデアリマス、要スルニ事業ノ經營ニ關シマシテ人ヲ得ル方法トシテ原案ハ理論上シテ、又進歩シタル立法例トシテ最モ多クノ諸國ニ於テ採用セルトコロノモノデアリマス、而モ百七十五條百七十六條ノ制限、百七十七條ノ責任ハアリマス、株主外ナリトテ心配ハ入リマセヌ、從テ本員ハ之ヲ現行法ノ如ク株主ニ限定スベシトセラルル委員長ノ報告ニ對シマシテハ本員ハ劈頭ニ申上ゲマシタル如ク立法ノ退歩トシテ反對セザルヲ得ナイノデアリマス、會社ノ監督機關タル監査役、彼ハ業務ヲ執行ナサザル者デアリマス、商業上ノ知識經驗モ技能モ要リマセヌ、而シテ已ノ株主タル權利ヲ守ルガタメニ、取締役ノ爲メタル行爲ヲ監査スル性質ヲ有スルモノデアリマス、是ハ或ハ株主ニ限ルト云フコトハ相當ノ論デアラウト思フノデアリマス、然ルニ、先年以來監査役ハ株主以外ヨリ選任スベキモノナリトノ說盛ニ行ハレ却テ、取締役ヲ株主以外ヨリ選任スベシトノ說ニ對シテ世人ノ攻究

第二讀會

熟セザル本員ハ寧ロ遺憾トシテ居ルノデアリマス、本員ハ政府提出ノ原案ニ對シテ反對スベキ點ハ多クアルト信シテ居ルノデアリマス、然ルニ多クナル反對事項ニ對シ、其重大ナルモノヲ提アルコト能ハズシテ、比較的立法ノ進歩ト見ラレベキ本條ヲ削除シテ退歩ノ現行法ニ立戻ルト云フコトハ帝國議會ノ面目トシテ誠ニ考慮ヲ費スベキ點ナリト信ズルノデアリマス、此理由ニ依リマシテ百六十四條ノ原案ノ如ク決定セラレンコトヲ希望致シマス、諸君、第二百六十一條ニ付キマシテ委員長ノ報告ニ反對スル理由ヲ述ベマス、第二百六十一條ハ取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル社員、監査役、又ハ株式會社若ハ株式合資會社ノ清算人若ハ支配人ハ會社ニ損害ヲ生ズベキコトヲ知リテ、其任務ニ背キタル行爲ヲナシ、會社ニ財產上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス、前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰スル規定セラレテアリマス、改正商法案ノ世間ニ公布セラレ、亞イテ本院ノ議ニ上ルニ當リマシテ、最モ議論ノ焦點ト相成リマシタルコロノモノハ即チ此第二百六十一條ノ規定デゴザイマス、本員ハ改正商法案ノ一大生命トシテ本條ノ規定ヲ固ク保持スルノデアリマス、諸君、本條ハ日糖事件、水産事件、日糖事件、炭礦事件、東洋汽船事件ニ依リテ國論ノ要求セシコロノ立法デアリマス、輿論ノ要求セシコロノ立法ニ係ルノデアリマス、即チ本條ノ罰則ハ事實ノ產ミタルコロノ立法デアリマス、唯今申述ベシタルコロノ諸會社ガ破綻ヲ爲シ、失敗ヲナシ、不始末ニ陥リマシタル事實ハ本條ノ立法ヲ促シタル所以デアリマス、故ニ本條ハ國民ノ要求ニ基キ、救済セザルベカラザル事實ノ產ミ出サレタルモノデアリ、而シテ之ヲ大ニシテハ財產ノ安全ヲ保障シ、之ヲ小ニシテハ株主ノ權利ヲ擁護スルコロノ精神ヲ法ノ上ニ發揮シタルモノデアリマス、刑法第二百四十七條ト本條トノ關係ニ付テ此所ニ一言スベキ必要ヲ認メマス、刑法第二百四十七條ハ他人ノタメ其事務ヲ處理スル者、自己若ハ第三者ノ利益ヲ圖リ、又ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ云フ文字ガゴザイマスルガ故ニ、此文字ニ遮ラレテ此刑法ノ規定ヲ以テシテハ二百六十一條ノ行爲ヲ罰スルコトハ能ハザル次第デアリマス、例ヘバ日糖事件ニ於ケル預合ノ問題デアリマス、守屋君其他ノ諸君ニ依リマシテ、屢々攻撃セラレタルコロノ大問題デアリマス、然ルニ預合ノ如キモノハ刑法規定ノ下ニ刑罰ヲ施スコト能ハザルガ故ニ、改正案ハ其缺點ヲ補ヒツレノ危險ヲ防ガタメニ本條ヲ規定シタル次第デゴザイマス、第二百六十一條ハ即チツレニ該當致スルデアリマス、本員ハ甚ダ憂フ、預合ハ當院ノ問題トシテ守屋君其他ニ依リテ盛ニ攻撃セラレタル所ノモノデアリ、偶ニ其ノ危險ヲ防ガタメニ、立法ヲ企ツレバツレニモ亦反對論ヲ立テタル、ノデアリ、誠ニ憂フベキノ限リト信ズルノデアリ、即チ立法ニ對スル不親切ニ向テ本員ハ憂懼ノ念ニ耐ヘヌノデアリマス、事實ガ產ミタル立法デアリ、國論ノ要求ニ係ル立法デアリ、刑罰ヲ課スルニアラザレバ、預合ノ如キ不正行爲ヲ屢々繰返シテ株主ノ利益ヲ顧ミヌノデアリ故ニ、此立法ヲ爲シタルノデアリ、然ルニ其レニ反對セラレ、諸君ノ態度ハ甚ダ親切ナル立法部ノ態度トシテハ本員之ヲ受取ルコトガ出來ナイノデアリマス（拍手起ル）預合ノ如キモノハ刑法ノ所謂詐僞ノ罪デナイ、刑法ノ所謂横領ノ罪トモナラヌノデアリ、刑法ノ所謂背任ノ罪ニモ當ラナイノデアリマス、果シテ然リト致シタラバ、第二百六十一條ヲ削リテ刑法ノ支配ニ委ネント欲スルモ刑法之ヲ受取リマセヌ、而シテ彼ガ如キ背法行爲ハ當然無罪ト相成ルノデアリ、之ニ依リテ財界ノ擾亂ハ益々甚カルベク株主ノ不安ハ愈々大ナルベシト固ク信ズルノデアリマス、換言スレバ商法ハ背任ノ行爲ニ關シテ重役ノ人、ニ犯罪ノ免許ヲ與ヘシト同シ結果ニ相成ルモノト斷言スルヲ憚ラナイノデアリ、會社ノ重役ハ罪ノ前ニ横行邁歩シテ治外法權ヲ有スルコト云フコトヲ立法部ガ是認スルコトニ相

成ルノデアリ、會社ノ重役ハ犯罪ノ前ニ神聖不可侵ノ權ヲ有スルコトヲ立法部ガ容認シタルコトニ相成ルノデアリマス、而シテ此立法ハ當ニ事實ノ產ミ出シタルモノナルニ止ラズ、國論ノ要求セシコロタルニ止ラズ、諸國ノ立法例ニ於キマシテモ何レモ採用シテ居ルトコロデアリマス、英吉利ハ勿論、亞米利加ニ於キマシテハ紐育「カリホルニア」其他獨逸、奧地利、匈牙利、凡ソ商法ヲ有スル國ニ於テ本條ノ如キ規定ヲ設ケナイ所ハナイノデアリマス、露國ノ如キヲ以テシテ尙且此規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、而シテ其刑期ハ或ハ七年或ハ五年或ハ三年或ハ二年ト云フガ如クニ定メラレタルノデアリマス、必シモ自由刑ヲ排斥致シテ居ルノデアリマセヌ、必ズシモ財產刑ニミ限ラレテ居ルノデアリマシマセヌ、況ヤ現行法ノ如ク過料ノ制裁ニ満足シテ居ル立法例ハ一モ無イノデアリマス、而シテ何レモ商法若クハ會社法ノ上ニ規定セラレテ居ルノデアリマシテ、刑法ノ條規ニ讓リテハ居リマセヌ、本員ハ此ノ如キ規定ヲ設ケマシテ善良ナル會社ノ重役及株主ヲ保護シ而シテ世ニ所謂不正行爲ヲ働クトコロノ惡重役ナルモノヲ懲懲シ依テ以テ財界ノ整調ヲ保持シテ以テ株主ノ利益ヲ保護スル精神ヲ貫キタイノデアリマス、之ヲ貫クノ道ハ本條ノ規定ニ據ルノ外、斷シテ無イト信ズルノデアリ、次ニ第二百六十一條ノ五デゴザイマス、同條ニハ他人ノ株券ヲ使用シ其他詐僞ノ所爲ニ依リテ議決權ヲ行ヒタル者ヲ處罰スルノ規定デアリマス、次ハ第二百六十一條ノ六デアリマス、竝ニ第二百六十一條ノ七、第二百六十一條ノ八デアリマス、此三箇條ハ議決權ノ行使ニ關シテ不正ノ利益ヲ收受シ若ハ要求シ又ハ之ヲ收受スルコトヲ約束シタル者ヲ罰スルノ規定デアリマス、乃チ賄賂ノ規定デアリマス、諸君、他人ノ株券ヲ使用シテ詐欺ノ所爲ニ依リテ議決權ヲ行フト云フコトハ商法ハ容認スルノデアリマス、當然ノ處爲ナリト認メルノデアリマス、又議決權ノ行使ニ關シテ賄賂ヲ授受スル行爲ヲ以テ當然ノ行爲ナリトシテ許スノデゴザイマス、詐僞ノ行爲ハ刑法ノ上ニ於テ之ヲ罰スルノデアリマス、賄賂ノ行爲ハ刑法ノ上ニ於テ之ヲ罰スルノデアリマス、即チ刑法第九十七條及第九十八條ヲ御覽ニ相成レバ本員ノ論旨ハ甚ダ明瞭ヲ加フルノデアリマス、本員ガ是等ノ數箇條ニ對シマシテ委員長ノ報告ニ反對スル所以ハ商法ノ立法トシテ商事事項ヲ保護スル精神トシテ此刑罰規定ノ援助アルニアラザレバ、到底商法ノ生命ヲ保護スルコト能ハズト信ズルガ故デアリマス、諸君、背任ノ行爲ト云ヒ、詐僞ノ行爲ト云ヒ、賄賂ノ行爲ト云ヒ、是ハ公務員モ一私人モ共ニ罰スルコト云フコトハ刑法ノ規定スルコロデアリマス、公務員ナレバ之ヲ罰スル、一私人ト雖モ之ヲ罰スル、然ルニ獨リ會社ノ重役ニ至リテハ之ヲ罰セズト云フコトハ如何ナル理由ニ基クノデゴザイマセウカ、公ノ機關ニ與リタル者ハ官吏ト致シマシテモ、官吏ト致シマシテモ、議員ト致シマシテモ、町村長ニ致シマシテモ、町村會議員ニ致シマシテモ、皆罰セラレ、ノデアリ、而シテ一私人ト雖モ罰セラレ、場合ガアルノデアリ、然ルニ會社ノ重役ノミハ公務員ナレバ罰セラレベキモノモ罰セズ、一私人ナレバ罰セラレベキモノヲ罰セズト云フ理窟ハ何レノ所ニアルノデアリマス、本員ハ委員長ノ報告ニ對シテ先刻商法ハ犯罪ノ免許ヲ重役ニ與ヘタルモノデアリ、會社重役ノ不正行爲ノ責任ニ關シテハ刑事制裁ニ於テ治外法權デアリ、更ニ進ンデハ惡重役ニ對シテ罪ノ前ニ神聖不可侵ノ權ヲ認ムルノデアリト云フコトヲ絶叫致シマシタガ、必シモ酷ナル批評デハナイト思ヒマス、本員ハ是等ノ條文ニ於ケル刑罰規定ヲ創設セラレンコトヲ以テ斷シテ國家民人ノ眞ノ聲ナリトハ認メマセヌ、經濟界ハ之ヲ迎ヘテ當然ナリトハ致シテ居リマセヌ、眞ノ株主ハ喜ンデ重役ノ不正行爲ニ對シテ犯罪無責任ノ立法ヲ迎ヘテハ居ラヌト信ジテ居リマス、諸君、今日ノ財界ガ極メテ沈滞不振ノ狀況ニ在リマス、所以ハ其原因トシテハ種々數々フルコトガ出來ルノデゴザイマセウ、行政ノ宜シキヲ得ザルモ其原因デゴ

テ既ニ背信罪ノ規定アリ、文書偽造罪ノ規定アリ、横領罪ノ規定アリ、詐偽罪ノ規定アリ、是以外ニ商法ニ於キマシテ總令會社ノ重役ト雖モ、刑法以外ノ事實ヲ以テ犯罪ナリトシテ之ヲ罰スルコトコノ必要ハナシトモ思フデガザリマス(拍手スル者アリ)御承知ノ通り刑法ニ於キマシテハ二百四十七條ニ他人ノタメ共事務ヲ處理スルモノ自己若ハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フルノ目的ヲ以テ其任務ニ背キタル行為ヲ爲シ本人ニ財産上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處スト云フ、新刑法ニハ背信罪ノ規定ヲ新ニ設ケラレテ居ルノデガザリマス、此背信罪ノ規定ヲ擴張致シマシテ、刑法ノ認メテ以テ背信ノ行為デナイト云フコトヲ商法ニ新ニ規定シテ之ヲ罰スルコト云フコトハ、經濟社會ノ實際ノ狀況ニ本員ハ反シタモノト考ヘルノデガザリマス(拍手起ル)凡ソ正不正、正不正ト云フモノハ簡單ナル問題デハナイノデガザリマス、甲ガ見テ正ナリトスルコトモ乙ガ見レバ不正トスルノデガザリマス、商法及其他ノ法典ヲ編纂スルニ付キマシテハ學理學說ノミ據ルコトハ出來ナイノデガザリマス、井君ノ申シマシタル重役ヲ刑法ノ背信罪以外ノ背信行為ヲシタ時分ニ罰スル必要ガアリヤ否ヤト云フタナラバ、或ハ學說トシテ理論トシテ罰スル必要ガアルカモ知レマセヌケレドモ、法典ヲ編纂スルニ付テハ日本全國ノ社會上ノ實際狀況ヲ加味シテ理論ニ偏セズ、實際ニ偏セズ、實際ト理論ト折衷シテ情理兼備ヘタルコトヲ立法ヲシナケレバナラヌト本員ハ考ヘルノデガザリマス、殊ニ現今ノ裁判所ノ狀態ヲ鑑ミナケレバナラヌコト、考ヘルノデガザリマス、現今ノ裁判所ノ狀態ハ如何デガザリマス、犯罪ノ嫌疑ガアルモノトシタナラバ證據ノ湮滅逃走ノ惧ナキモノヲ直ニ未決監ニ拘留シマシテ、長日月ノ間之ヲ審問シ、長キハ一年、二年、三年以上モ未決監ニ收監シテ居ルト云フ實際ノ狀態ニナッテ居ルノデアル、然ラバ新ニ規定シマシタルコトノ商法第二百六十一條ノ如キ刑罰法規ガ成立スルモノト致シマシタ時分ニ於テハ、或裁判所ニ於テハ善意ヲ以テ重役ノヤッタ行為、毫モ二百六十一條ノ規定ニ反シナイコトモ、形ノミヲ見マシテ直ニ此未決拘留ニ收監スルト云フコトニナッタ時分ニハ、實業社會ハ却テ危惧ノ念ヲ生ズラウト思フノデガザリマス、犯罪ト云フモノガ決シテ容易ニ確定スベキ問題デナイト、即チ事實ハ甲ノ見テ不正ナモノモ、乙ガ見レバ正當ナルコトガアリマスカラシテ、現今ノ裁判官ノ如キ形ノミヲ見マシテ意思ヲ見ナイヤナル裁判官ハ、形ガ或不正行為ノヤウニ見レバ、直ニ之ヲ未決監ニ收監スルト云フヤウナ狀態ハ此商法ノ立法ヲ爲ス時分ニハ斟酌シナケレバナラヌ行為ト思フノデガザリマス、總テ刑罰ヲ以テ人ヲ正直タラシメ、刑罰ヲ以テ生産ノ發達ヲ圖リ、刑罰ヲ以テ産業ヲ發達セシメルト云フコトハ、決シテ出來ナイモノト考ヘルノデガザリマス、是ハ自然的ノ制裁教育ノ狀態或ハ德教ノ感化ヲ以テ自然ノ趨勢ニ依ッテ改良シテ往クヨリ外ハナイノデガザリマス、子第ノ教育ヲスルノミモ、纏繞ヒ責ヲ以テ其能トスルコトハ出來ナイノデガザリマス、重役ヲ取締ルニ苛法嚴罰ヲ以テ臨ムト云フコトハ、却テ反對ノ現象ヲ生ジマシテ健實ナル實業家、著名ナル實業家、技倆アル實業家ハ却テ重役タルコトヲ肯シナイ、丁度新聞社ノ如キ發行人編輯人ハ實際ノ發行人、編輯人ニアラザルモノヲ使フガ、今後同一ナル現象ハ實業社會ヲ通テ之ニカブレルト思フノデガザリマス、(公務人ハ如何ニ、一人如何ニト呼ブ者アリ)(拍手起ル)段々ヤリマス、先デ御聽キナサイ、私モ默ッテ聽キマシタ——新刑法ヲ發布致シマシテ裁判所ニ於テハ新刑法ノ或ハ主義ヲ取違ヘテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、舊刑法時代ヨリモ非常ナルトコロノ期間ヲ以テ嚴重ニ罰スル統計表ヲ見マシタラドウデガザリマス、此度果シテ刑法ナル法典ニ威嚇サレマシテ、犯罪ガ減ッテ居ルデアリマセウカドウデアリマセウカ、本員此統計ヲ見マスレバ、強盜罪ニ於テ刑法前ハ一年二千九十二人デアッタノヲ刑法ガ行ハレテ

千百六十八人ニナッテ居ル、ツレカラ詐欺取財ニ於キマシテハ、刑法前ニハ、二万六千三百十九人デアッタガ、二万六千六百五十六人ニナッテ居ル、又其他ノ犯罪ニ致シマシテモ刑法ガ行ハレタ以來殖エテ居ルノデガザリマス、之ヲ統計シマスレバ刑法ノ行ハレナイ以前ノ一年ト、刑法ガ行ハレタ後ノ一年トハ、法刑ノ行ハレタ後ガ二万九千九百九十六人ノ犯罪人ガ殖エテ居ルノデガザリマス、嚴罰苛法ヲ以テ人ヲ正直タラシムルコトノ出來ナイノハ、此統計表ヲ見テモ私ハ明カデアルト思フノデガザリマス、因テ本員ハ商法ヲ以テ重役ヲ取締ルニ向ッテ苛罰嚴法ヲ以テ臨ムト云フコトハ、却テ犯罪人ヲ製造スルヤウナル嫌ガアルト思フノデガザリマス、花井君ハ豫算委員會ニ於キマシテモ、日本程犯罪人ノ多イ國ハナイ、一万ニ付キ十二人トカ十三人トカアル、然ルニ此刑法デ罰シテ宜キ即チ刑法ニ規定シテ居ルトコロノ其以外ノ輕イ罪ハ罰スル必要ガナイモ拘ラズ商法デ罰スルヤウニナッタナラバ、花井君ノ希望スルヤウナル犯罪人ハ減少セズシテ、益々増加スルヤウナルコトニナリハシナイカト云フコトヲ本員ハ疑フノデアリマス、又商法ニ新ニ設ケタル刑罰ノ規定ヲ削除スレバ、重役ハ犯罪免許デアル、重役ハ犯罪ニ付テハ神聖侵スベカラザルモノデアルト云フ奇論ヲ唱ヘマシタガ、是ハ法律學校ノ一年生デモ明カニナルコトデアラウト思フ、總テ法律ニ規定シナイ、法律ガ罰シナイ以上ハ、犯罪デハナイノデアリマスカラシテ、重役ガ犯罪免許デアルトカ、重役ガ犯罪ノ免許ヲ取ッテ居ルト云フヤウナルコトハ、是ハドウモ私ハ花井君ノタメニ惜ムノデガザリマス、即チ法典ガ規定シテ罰シナイ以上ハ、犯罪デハナイノデアリマス、吾々ハ商法ノ如キ罰則ハ不必要デアルト云フコトヲ以テ主論トスルノデガザリマスカラシテ、商法ニ規定シテアルコトノ行為ハ犯罪行為ト見ナイノデアリマスカラ、花井君ノ犯罪免許論、重役ノ犯罪ハ神聖侵スベカラザルナリト云フコトヲ議論ハ、毫モ貫徹セザルモノト私ハ考ヘルノデガザリマス、又公ケタル機關或ハ官吏公吏ニモ賄賂ノ規定、收賄ノ規定ガアルデハナイカ、然ルニ二百六十一條ノ七、八ヲ削ルト云フト、重役ハ收賄ヲシテモ罰スルコトハ出來ナイヤウナルト云フ御論デガザリマスカレドモ、本員ハ現今ノ社會ヲ重役ガ縱令賄賂ヲ取りマシテモ、之ヲ罰スル必要ガナイト云フコトヲ主張スル論者デハアリマセヌケレドモ、其他民事社會ニ於キマシテモ、ヤハリ同一ナル組合財團法人、社團法人ガアルノデガザリマス、ソレハ四十二條ノ二項ニ新ニ規定ヲ設ケタカラ其中ニ入ルト申シマセケレドモ、四十二條ノ二項ハ營利ヲ以テ目的トスル社團法人ニシテ云々ト云フコトガ冠セラレテ居リマスカラ、營利ヲ以テ目的トセザルトコロノ社團、財團ハ此中ニ入ラナイノデガザリマスカラシテ、ヤハリ民事社會ト同一ナル民事ノ營利ヲ目的トセザル社團、財團ノ役員ガ不正行為ヲシタ時分ニ於テハ罰スルコトハ出來ナイト云フ不權衡ヲ生ズル以上ハ、數年間ノ研究ヲ俟ッテ斯ル事實ヲ同一ノ法律ノ下ニ之ヲ統一スルト云フコトハ、最モ必要デアラウト本員ハ考ヘルノデアリマス、況ヤ本員等ノ主張シ、花井君ノ贊成スルトコロノ陪審制度ガ實施ニナリマシテ、適當ナル社會ノ實際狀態ヲ知ッテ居ル人ガ、陪審官トナッテ、犯罪ヲ審理スルヤウナル時代ガ來マシタナラバ、或ハ斯ル規定ヲ以テ臨ムモ決シテ危慮ノ念ヲ生ジナイカモ知レヌト思フノデガザリマスカラシテ、重役ノ賄賂ニ關スルコトハ他ノ民事社會社ノ營利ヲ目的トセザル社團、社團其他ノ組合等ノ權衡ヲ取ル必要モアリマスカラ、之ヲ一括致シテ數年ノ研究ヲ俟ッテ徐ロ立法シタ方ガ過ナカラウト本員ハ考ヘルノデガザリマス、又二百六十一條ノ第五、第六ニ於キマシテハ、是ハドウモ「他人ノ株券ヲ使用シ其他詐欺ノ所爲ニ因リ決議權ヲ行ヒ」ト云フコトガアリマスカラ、詐欺取財ニ觸レルヤウナル場合ハ罰スベシ、詐欺取財ニ觸レナイヤウナル場合ハ之ヲ罰スルノ必要ハナイト本員ハ考ヘルノデアリマス、又二百六十一條ノ六ニ「決議

權ノ行使ニ關シ不正ノ利益ヲ收受若クハ要求シ又ハ之ヲ收受スルコトヲ約束シタルモノハ云々トアル、是ハ概ネ刑法ノ恐喝取財ニ當ル場合モアルノデアリマスカラシテ、刑法ノ恐喝取財ニ當ル場合ハ恐喝取財ヲ罰スベシ、恐喝取財ニ當ラナイノハ態々法典ヲ指ヘテ犯罪人ヲ製造スル必要ハナイト私ハ考ヘルノデアリマス（ヒヤク）「ノウ」ト呼フ者アリ此ノ如ク刑法ヲ以テ刑罰ノ法規ヲ以テ人ヲ正シ、人ヲ正直ナラシムルコト云フコトハ、世界各國ニ於テモ其失敗ニ終ラズ居ルノデゴザイマス、吾々ハ刑法以外ノ輕キ罰、刑法以外ノ輕キ事實ハ之ヲ罰スル必要ハナイ、是ハ社會ノ教育及德育ニ放任シテ自然ノ制裁ヲ以テ満足シナケレバナラヌト云フコトヲ主張スルノデアリマス、之ヲ要スルニ法典ハ理論ノミニ偏スル譯ニハ行カナイ、社會ノ實際狀態ヲ見マシテ今日ノ日本ノ經濟界ハ如何ナル、日本ノ實業社會ハ如何ナルカト云フコトヲ實際ノ狀態ヲ考ヘ、又一方ニハ日本ノ裁判制度、日本ノ裁判官ノ狀態等モ考ヘマシテ、而シテ立法スルガ適當ナル處置ト考ヘマスカラシテ、斯ル政府ノ出シタルコトヲ商法ノ嚴罰苛法ハ吾々ノ欲セザルトコロデアリマシテ、又是ハ日本ノ實業社會ノ輿論日本經濟界ノ輿論ナリト私ハ斷言スルノデアリマス（拍手スル者アリ）其次ニ花井君ノ述ベラレタルコトコロ百六十四條——百六十四條ノ取締役ハ株主以外ノモノデモ宜シト云フ論、此論據ニ向ヒマシテハ本員ハ反對セザルヲ得ナイノデゴザイマス、花井君ハ立法ノ退歩ナリト申サレマシタ、吾々ハ決シテ立法ノ退歩デハナイト考ヘルノデアリマス、取締役ヲ株主ニ限ルモ、株主ニ限ラザルモ、是ハ各ノ利害ノアルコトデアリマシテ、株主ニ限ラナイト云フコトヲ主ナル論點ハ人オヲ天下ニ求メタイト云フノガ、重ナル論點ニテ居リマスケレドモ、重役ト云フモノハ絶大ナル權利ヲ持テ居ルノデアリマス、縱令株主總會ニ於テ選ハレ、株主總會ヲ種々ノ決議ハ致シマスケレドモ、其決議ヲ實行スルニ付テハ絕對ナル或場合ニハ絕對ナル重大ナル任務ヲナスコトコロモノデゴザイマス、是ハ會社ト利害關係ノ直接密接ナル人ヲ選バズンバ、種々ノ弊害モ生ズルノデアリマス、例ヘバ株主ニアラザル者ヲ取締役ニ選舉ラシタナラバ、株ノ拂込ヲシテ命ジテ來テ株ヲ持テ居ル人ハ非常ニ困ル場合モ生ズルノデアラウト本員ハ考ヘルノデアリマス、是ハ寧ろ現行法ニ於キマシテ決シテ人オヲ得ルト云フコトヲ向テハ不備ナル點ハアリマス、人オヲ迎ヘルナラバ株ヲ貸シテモ宜イ、株ヲ買テモ宜イ、其人ガ株ヲ現ニ持テ居ラスデモ、現今ノ狀態ト致シマシテ人オヲ歡迎スルトコロニ於テ缺ケテ居ラスノデアリマス、現行ノ商法毫モ缺點ガナイ、毫モ不便ヲ感ジテ居ラストコロノ商法ヲ改正致シマシテ、突飛ニモ取締役ハ株主以外ノ人オヲ宜イト云フコトニナリマスレバ、會社ハ直接ノ關係ノナイ、利害ノ關係ノナイトコロノ取締役ガ選バレテ取締役トナルト云フコト、如何ナル株主ノ不利ヲ計ルカ、私ハ憂慮ニ堪ヘナイ次第デアルト思フノデアリマス、況ヤ本員ノ主張スル罰則ノ規定ガ削除セラル、以上ハ、幾度取締役ヲ株主以外ノ者カラ選舉スルコト云フ論ハ立タナイ議論ニナルト、本員ハ考ヘルノデアリマシテ、旁々取締役ハ株主ニ致シマシテ會社ト直接ノ利害關係アル會社ノ利害ヲ思フ念ノ強キ人ヨリ選舉スルヲ以テ、最も當ラ得タルモノト本員ハ考ヘルノデアリマス、終リニ臨ミシテ花井君ハ商法ヲ改正スルナラバ、罰則ノ規定ヲ削除スルガ如キ財産目錄ヲ復活スルガ如キ止メズ、尙以外ニ改正スルコトヲ修正スルコトコロハ澤山アルト云フノ御論デアリマシタ、ドウモ花井君ハ商法委員デアッタラウト考ヘマス、商法ノ特別委員ヲ將タ商法特別委員會ニ精勵致シマシテ、特別委員會ニ於テ花井君ガ修正動議ヲ出セバ宜イノデアル、花井君ハ特別委員會ニ未ダ修正動議ヲ出サズ、此壇上ニ立テテ而シテ斯ウ云フ改正ヲスル、修正ヲスル點ガアルト云フコトハ（法學博士花井卓藏君「ノウ」既ニ其修正ハ出シテアル」ト呼フ）實ニ花井君ノタメニ寧ろ惜マナケレ

バナラヌノデアリマス、特別委員ナラバ特別委員會ニ於テ正々堂々修正ノ意見ヲ出スベシ、然ルニ花井君ノ修正意見ハ澤山ナシ、或ハ「一ツ位アツタカモ知レヌガ毫モ私ハ花井君ガ修正意見ヲ出シタト云フコトハドウモ考ヘ出サヌノデアリマス（此時副議長肥塚龍君退席、議長長谷場純孝君議長席ニ著ク）

○松田源治君 花井君ハ特別委員デナケレバ此壇上ニ立ッテ申スノハ宜イケレドモ、特別委員デアル以上ハ斯ルコトハ此壇上デ遠慮シタ方ガ花井君ノ人格ノタメ宜イト思フノデアリマス、之ヲ要スルニ刑罰法規ヲ以テ商法ニ規定スルコトハ法典ノ體裁トシテモ宜クナイ、又刑罰法規ヲ以テ重役ヲ威嚇スルハ日本ノ法典ヲ紊亂シテ健全ナル發達ヲスルコトガ出來ナイノデアル、今日ノ司法制度及裁判狀態カラ決シテ當ラ得タルモノデナイ、又取締役ヲ株主中ヨリ選舉致シマシテモ、最も利害關係ノ密接ナル株主カラ取締役ヲ選ブト云フコトハ今日ノ狀態ニ適シタルモノト本員ハ考ヘルノデアリマスカラ、ドウカ委員長報告通リ可決シ、花井君ノ修正意見ヲ否決セラレンコトヲ望ムノデアリマス（拍手）

〔書記朗讀〕

商法第百六十五條ニ左ノ條項ヲ加フ

取締役ハ三以上ノ商社會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ス
專務取締役ハ他ノ商社會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ス
但シ株主全員ノ承認ト政府ノ許可アルトキハ此限ニアラス

相談役、監督、理事、其他何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス取締役會議ニ出席シテ其協議ニ與リ又ハ會社ノ發行スル文書ニ取締役ト共ニ署名シ若クハ會社ノ樞要ナル業務ニ關與シタル者ハ取締役ト同一ノ責任ヲ負フ

○議長（長谷場純孝君） 高木益太郎君

（高木益太郎君登壇）

○高木益太郎君 本員ハ商法ノ百六十五條ノ第二項ニ重役ノ兼務ノ弊害ニ付キマシテ之ヲ矯正スル法則ヲ加ヘタイト云フ考デアリマス、即チ專務取締役ト云フモノハ他ノ會社ノ重役ヲ兼ネルコトガ出來ナイト云フ規定ト、普通ノ取締役ハ三會社以上ノ會社ノ役員トナルコトガ出來ナイト云フ規定デアリマス、若シ其人ガ非常ナル精力家デアッデ、且信用ガアルト云フコトデアリマスレバ、但書ニ株主全體ノ承諾ト政府ノ許可アルトキニハ之ヲ許ス、斯ウ云フコトニシタナラバ、實際ノ事情ニモ適ッテ不都合ハナカラウト考ヘルノデアリマス、是ハ本員ガ二十五議會ニ於テ商社會社ニ關スル法律案トシテ一旦本院ニ提出致シマシタルデアリマシテ、其當時日糖事件ナルモノガ起ッテ、惡重役ヲ懲役ニ抛リマシタル何カシタケレドモ、一旦懲役ニ入ッテ以上ハ會社並ニ株主又會社ト取引スル債權者ハ損害回復ヲ受ケタカト云フコトヲ考ヘテ見ルト、懲役ニ入ッテ刑罰ハ科シタケレドモ、其損害ノ賠償ト云フコトハ幾ドナイノデアリマス、故ニ唯罰則則バカリヲ重クシテ間違ッタ場合ニ懲役ニ入ルト云フ考ガアルバカリデ、之ガ原因ニ付テノ療法ヲ十分注意シナケレバ何ニモナラヌノデアル、商社會社ノ役員ト云フモノガ數箇ノ會社ヲ兼帶シテ幾ド會社ノ辨當ノミヲ食ッテ歩ルクト云フ實況デアル、今日デハ現ニ一人ノ重役ガ三十二ノ商社會社ヲ兼ネテ居ル者ガアル、サウ云フヤウナ具合デハ其部下ノ役員ニ對シテ監督ガ不行届デアルト云フコトハ無論デアル、一朝過失ノアツタ場合ニ責任ヲ盡スコトガ出來ナイト云フコトモ疑ナイコトデアリマス、滋澤男爵ハ實業界ノ泰斗デ最も尊敬スベキ御方デアッタガ、日糖事件ニ於テ聰明ナル鑑識力ヲ持チ、絶倫ナル精力ヲ持タル滋澤男爵

スラモ、害ヲ防ケコトガ出來ナイデ、株主及債權者ニ損害ヲ懸ケラレタノミナラズ、政府モ亦日糖會社ノ株券ヲ保證代用ニ充テ、居ッタモノデアリカラ、多大ノ損害ヲ被ッタコトハ諸君ノ親シク知ルトコロデアリマス、濫澤男ニシテ然リ、況ヤ「コンマ」以下ノ重役ハ何ヲスルカ分ラヌデアリマス、故ニ、既ニ罰ノ規定ヲ重クスルノモ急務カモ知ラヌガ、ソレヨリ弊害ガ起ラヌヤウニ、無責任ノコトヲシナイヤウニ、商業道德ヲ破ラヌヤウニスル必要ガアル、人間ノ精力ト云フモノハ、大抵限リガアルモノデアラシテ、先ヅ普通ノ取締役ニ向ッテハ三會社以上兼ヌルコトハ出來ヌ、事務取締役ニ向ッテ他ノ會社ノ重役ヲ兼ヌルコトガ出來ヌヤウニシテ、其責任ヲ重クスルト云フコトハ最モ必要デアルト信ジマス、モウ一ツハ何デアアルコト云フト、取締役、監督、理事其他何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラズ、取締役會議ニ出席シテ其協議ニ與リ又會社ノ發行スル文書ニ取締役ト共ニ署名シ若ハ會社ノ重要ナル事業ニ干與シタルモノハ、取締役ト同一ノ責任ヲ負フ、是ハ詰リ看板バカリノ重役ヲ竝ベテ置イテ、サウシテ監督デアルトカ、相談役デアルトヤウナ名義ヲ以テス、其會社ノ内部デハ取締役、事務取締役ヨリ非常ナル勢力ヲ持ッテ居ルモノガアル、所謂財閥界ニ於ケル元老ト云フモノガアル、此元老ト云フモノ、責任ヲ規定スル必要ガアルと思フデアリマス、現ニ例ヘバ日糖會社ノ如キドウデアアルコト云ヘバ、株主總會ヲ開イタ場合ニ誰ガ總會ノ會長ニナルコト云フト、普通ノ取締役ガ會長ニナラナイ、相談役ノ濫澤男爵ガ會長ニナル、濫澤男爵ハ何デアアルカ、取締役デモ何デモナイ、一朝是ガ破綻ガ起ッテ株主及債權者ガ損害ヲ被ルト云フト、濫澤男爵ガ辨償シタコト云ヘバ、辨償シタコト云フ事實ヲ吾々曾テ聞カナリデアアル、ソレ故ニ詰リ法律ヲ持ヘタコトガ紙ノ上ノミデ、實際ノ事實ニ副ハヌ法律ヲ持ヘタハ、何ニモナラヌ、今度ノ商法ノ改正ハ實際上ノ必要カラ起ッテ以上ハ、現ニ起ッテ居ル弊害ニ對シテ適切ナ救済ノ法律ヲ作ルノガ、最モ必要ト信ジマスカラ、本員ハ此二點ニ付テ諸君ガ御同意アラント切ニ御願スルデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 濫澤男爵

〔法學博士濫澤男爵登壇〕

〔拍手起ル〕

○法學博士濫澤男爵 諸君、本員ハ此罰則ニ付キマシテ委員長報告通りノ意見ヲ持ッテ居ルデアリマスガ、若シ花井君ノ御説ガナケレバ此處ニ出ル必要ハナカッタと思フデアリマス、併ナガラ多少私ノ見解ヲ誤解サレテ居リマスカラシテ聊辯シテ置ク必要ガアルと思フデアリマス(諸君々々「呼フ者アリ」)今マデ現レテ居リマス議論ヲ承リマスルト、商事會社及經濟上ノコトニ付キマシテ一々商鞅酷好ノ法ヲ適用シテ、之ヲ取締ルベキデアアルカ、或ハ大體ノ經濟觀念若クハ德義上或ハ利益上ノ考ニ訴ヘテ取締ラベキモノデアアルコト云フ一ツノ議論ニ分レテ居ルと思フデアリマス、此問題ハ決シテ小サイ問題デナカラウト思フデアリマス、隨分重大ナル問題デアアル、花井君ハ此罰則ノ規定ノ出來タノハ是ハ國民ノ聲デアアル、輿論ノ希望スルトコロデアアル、斯ウ云ハレテ居リマス、株式會社ニ付キマシテ二三ノ會社ノ破綻ガアリ、一時天下ヲ騒ガシテ感情ニ激シ易イトコロノ人ハ會社ノ重役ヲ咎メ、或ハ商法ノ罰則ナカリシガタメニ斯様ナル問題ガ起ッタモノデアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル人モアリマスケレドモ、斯ノ如ク感情ノ議論ニ制セラレテ直ニ之ヲ輿論ノ聲トシテ而シテ此大法官ニ從來此ノ如キ規定ナクシテ差支ナイト信ジテ居ッタモノニ非常ナ重キ罰則ヲ設ケルト云フコトハ立法者ト致シマシテ、直ニ熟慮致サナケレバナラヌト私ハ思フデアリマス、尙又此規定ノ事態ヲ見マスト大體ハ

獨逸商法ノ株式會社或ハ株式合資會社ト云フモノ、重役ノ取締ニ關スル法案ニ則ッタモノデアッデ、總テノ財團社團若ハ會社ト云フモノ、取締ニ關スル廣ク行渡ッタル綿密ニ調査シタルコロノ規定デナイト云フコトヲ甚ダ遺憾ト致シテ居ルデアリマス、政府ノ出シマシタコロノ理由ノ説明ニ依リマシテモ、二百六十一條ト云フモノハ本條ニ依ッテ新ニ株式會社、株式合資會社ノ發起人云々ト書イテアリマシテ、大體株式會社若クハ株式合資會社ノミニ關スルモノデアアル、然ルニ天下ニ於キマシテハ此會社ノ外ニイロノ會社ガアル、其イロノ會社ガ共ニヤハリ天下ノ經濟上ノ問題或ハ商業道德上ノ問題ニ對シマシテ非常ナ影響ヲ持ッテ居ルデアリマス、ソレカラ民事ノ法人ト致シマシテ營利法人モアリマスケレドモ、營利法人以外ニ或ハ慈善、宗教、教育ト云フヤウナ幾多ノ法人ガアルデアリマス、是等ニモ各々相當ノ人ヲ得シケレバナラヌデアアル、私ハ元來日本ニ於テ從來何故ニ慈善、宗教、教育ノ如キ團體ガ大ニ發達シナカッタノデアラウカト云フコトヲ憂ヘテ居ッタ一人デアアル、其原因ハ何レニアアルコト云フコトモ考ヘテ居ッタ一人デアアルデアリマス、若モ是等ノコトニ付テ等シク此刑法ノ罰ニ依ッテ團體ノコトヲ取締ルト云フ必要ガアリマシタナラバ、單ニ商法ノ株式會社ノミナラズ、株式合資會社ノミナラズ、總テニ行渡ッテ原則ヲ同クスル規定ヲ設ケテ未ダ遲クナイト思フデアリマス、決シテ人ヲ罰スル規則ヲ設ケルニ大ニ急グ必要ハナイト思フデアリマス、殊ニ或感情ニ激セラレ、或ハ國家戰後ノ經濟界ノ大騷ギノ後ニ起ッタ會社ガアッテ、三ツヤ四ツ破産スルモノガアッデモ、是ヨリ大ニ發展セントスルトコロノ日本ノ將來ノ國ノ商法ヲ考ヘル場合ニ於テハ、餘程慎重ニ考慮シナケレバナラヌト思フデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラシテ、此罰則ノ規定ヲ今マデ少シク會社ガ破綻シタガタメニ驚イテ此規定ヲ設ケル必要ハナイデアアルガ、花井君ノ言ハレマスニ、是ハ重役ヲ罰スルモノニアラズシテ、犯罪ヲ罰スルデアアル、若シ千里眼ガアッテ此重役ハ犯罪デナイ重役ダ、此重役ハ犯罪重役デアルト云フコトガ見エレバ、何デモナイデアリマスガ、一度犯罪ノ嫌疑アル以上ハ忽チ入檻ト云フコトガ起ッテ來ルコトガアル、其メニ會社ノ信用ヲ落シ、株主其他利害ノ關係者ガ僅カノ重役ノメニ非常ニ損害ヲ被ルトガアリマスカラ、其結果ハ餘程注意シナケレバナラヌト思ヒマス、若シ此ノ如キ刑罰ヲ設ケテ是ト共ニ簡易ナル刑事訴訟ノ手續デモ作ルト云フコトデアレバ、是又格別デアリマスケレドモ、今日ノヤウニヤハリ一度犯罪者ノ名前ヲ被ルト共ニ、一審裁判、二審裁判ニ於テ無罪トナッデモ、忽チ世間ノ人ハ其人格ヲ疑フト云フヤウナ有様ニ於テ、此會社ノ重役ト云フモノヲ單ニ取締シテ、眞ニ手腕ヲ發展セシメルコトノ出來ナイト云フコトハ、甚ダ私ハ遺憾ト思フデアリマス、サウ云フヤウナ理由カラ論ジマスレバ、先ヅ刑罰ノ規定ニハ私ハ反對シナケレバナラヌト思フデアアル、ソレカラ議決權ノ規定或ハ收賄ノ規定デアリマス、此事ニ付デモ能ク考ヘナケレバナラヌデアリマス、尤モ此議決權ヲ行使スルモノニシテ公法人若ハ政府ノ外ニ於テ、イロノ私ノ法人ニ於テモ同様ノヲ持ッテ居ルモノガ澤山アル、法人デナクテモ組合トカ、或ハ親族會トカ、重要物產組合トカ、イロノ議決權ノ行使ヲヤルベキ組織ガ出來テ居ルデアリマスカラ、斯様ナ場合ニ於テ其議決權ノ神聖ヲ保ツタメ規定ヲ設ケルトナレバ、同ク同一原則ニ基ク全部ニ行渡ッテ罰セラレテ差支ナイト思フデアリマス、次ニ此收賄ノコトニ付テ他ノ國家デアルトカ、或ハ官吏デアルトカ、公吏デアルトカ云フモノデアルト、何レモ收賄ノ規定ニ依ッテ罰セラレルニ拘ラズ、獨リ會社ノ重役ノミハ罰セラレルデアアル故ニ、會社ノ重役ト云フモノハ犯罪ニ對シテ神聖ナ不可侵ナ狀況ニ立ッテ居ルト云ハレテ居リマスケレドモ、是モ能ク考ヘナケレバナラヌデアリマス、公法ト私法トノ區別ト云フモノハ羅馬ノ法律カラ出テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマ

スガ、其幾ラカ系統ヲ引イテ日本ナドニ於キマシテモ、ヤハリ公ト私ト云フコトニ付テ區別ヲ立テ、居ルノデアリマス、尤モ亞米利加デアルトカ、英吉利デアルトカ云フヤウナ國ハ必シモ此公ノ機關タルト、私ノ機關タルニ依ッテ區別ハナイノデアリマシテ、此職務ニ從事スルトコノ人ハ、殆ド同一ノ觀念ヲ持ッテ仕事ヲシテ居リマスカラシテ、非常ナ過ハ無イノデアリマスケレドモ、日本ニ於キマシテハ未ダ此點ニ付テハ遺憾ナガラ私ノ會社ニ從事スル者ヲ遇スルニ、公ノ法人若ハ國家ノ職務ヲ執ル者ト同一ノ待遇ヲ與ヘルコトハ出來ナイト云フコトガ、實際ノ狀況デアリマス、斯様ナル場合ニ於テ他ノ官吏公吏ト云フ者ニハ收賄ノ規定ヲ設ケルガ、會社ノ重役ニハ之ヲ設ケナイト云フコトハ、會社重役グケガ犯罪ノ埒外ニ出テ居ルデハナイカト云フ議論ハ、或場合ニ至ッテ時分ニ於テハ尤デアリマスケレドモ、今日ノ實情ニ於テハ直ニ是ニ贊成スルコトガ出來ヌノデアリマス、ソレカラシテ他ノ點カラ見マシテモ尙此株式會社又ハ株式合資會社ノミニ限ル必要ハナイノデアリマスカラ、若シサウ云フ必要ガアレバ、廣ク他ノモノニ互ッテ同一ノ規定ヲ設ケル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、旁々此點則ノ規定ト云フモノハ十分ニ審議ヲ重ネラレテ居ルニモ拘ラズ、不完全ナ點ガアル、又日本ニ此ノ如キ規定ヲ設ケル場合ニ全體ノ原則カラ考ヘテ、モウ少シ熟慮ヲシナケレバナラヌ點ガアルト云フコトカラ本員ハ反對ヲ致スノデアリマス、尙高木君ノ修正意見ガ出テ居リマスガ、成程御議論ヲ承リマスト一應御尤ナヤウデアリマスケレドモ、此ノ如キ問題ハヤハリ重役ノ德義、會社ノ株主ノ德義及經濟上ノ觀念ニ委ネテ居リテ私ハ差支ナイト思フノデアリマシテ、此修正意見ニ對シテモ反對ヲ致スノデアリマス（拍手起ル）

○菅原傳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ討論ハ是ニテ終結致シマス、是ヨリ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告、ソレカラ高木益太郎君ノ修正動議、ソレカラ花井君ノ原案復活論、或條項ニ付テ即チ百六十四條ト二百六十一條ト二百六十一條ノ五六、七、八はダケニ付テ動議ガ出テ居リマスカラ、花井君及高木君ノ修正動議ニ付テ採決ヲ致シマス、先ヅ高木君ノ修正動議ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

〔餘リ少イ、モウ少シ立テト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 少數、ソレカラ花井君ノ動議ハ即チ原案復活論デアリマスカラ、是ハ委員長ノ報告ニ付テ採決ヲ致シマス、第百六十四條第二、二百六十一條、第二百六十一條ノ五、六、七、八はハ原案復活ト云フ 動議ガ出テ居リマスガ、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長（長谷場純孝君） 多數、委員長ノ報告ニ決シマス、其他委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ全部委員長ノ報告通り第二讀會ニ於テ決定致シマス

○菅原傳君 直ニ三讀會ヲ開キ、第二讀會ニ於テ決定セラレタル通り確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 直ニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ直ニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ、第二讀會ニ於テ決定ノ通り商法中改正法律案ハ是ニテ確定致シマス

〔拍手起ル〕

○議長（長谷場純孝君） 日程第三商法施行法中改正法律案ヲ議題ニ致シマス

○菅原傳君 本案ニ對シテハ別ニ御議論モナイヤウデアリマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 唯今ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キマス——委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ、……本案ハ否決致シマス、即チ二讀會ヲ開カザルコトニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 日程第四、非訟事件手續法中改正法律案ヲ議題ト致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 唯今ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り第二讀會ニ於テ決定シ、第三讀會ヲ省略シテ本案ハ是ニテ確定致シマス——日程第五、砂糖消費稅法中改正法律案ヲ議題ト爲シ、其朗讀ハ之ヲ省略致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ委員長報告通り第二讀會ニ於テ決定シ、砂糖消費稅法中改正法律案（本院提出貴族院回付）

第五 砂糖消費稅法中改正法律案

砂糖消費稅法中改正法律案 右貴院提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治四十四年三月十六日

衆議院議長長谷場純孝殿

貴族院議長公爵德川家達

(小字及一ハ)
(貴族院修正)

砂糖消費稅法中左ノ通改正ス
第三條中第一種ヲ左ノ如ク改ム

第一種 砂糖色相和蘭標本第十一號未滿ノ砂糖

甲 樽入黑糖同白下糖

乙 樽入白下糖但シ分密シタルモノ、白下糖以外ノ砂糖ニ加工シテ製造シタルモノ及全
部又ハ一部ヲ新式機械ニ依リ製造シタルモノヲ除ク
百斤ニ付金二圓
百斤ニ付金二圓五十錢

丙 其ノ他ノモノ
百斤ニ付金三圓

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○菅原傳君 貴族院ノ修正ハ全然吾々ノ意志ニ適ヘリト申スコトハ出來マセヌガ、併
シ本案ノ成立ノタメニ幾分讓歩ヲ致シ之ヲ是認スルコトヲ相當ト信ズルノデアリマス、此
意味ニ於テ貴族院ノ修正ニ本院ハ同意アラント望ムノデアリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 唯今ノ勸諭、即チ貴族院ノ修正ハ多少意味ハ違フケレド
モ幾分讓歩ヲ致シテ、貴族院ノ修正ニ同意ラスルト云フコトニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メスカラ貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ
決定致シマス(拍手起ル)暫ク休憩致シマス
午後零時十八分休憩

午後一時十九分開議

○議長(長谷場純孝君) 午前ノ會議ニ引續キ、是ヨリ會議ヲ開キマス、其前ニ報告
ヲ致シマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

高野山國寶中古書畫古器物保存ニ關スル建議案

提出者 千田 軍之助君

名勝地維持保存ニ關スル建議案

提出者 森 國 造君 手塚 正次君 清 釜 太郎君

○議長(長谷場純孝君) 日程第六、民事爭訟勸解法案ノ第一讀會ヲ開キ、議案
ノ朗讀ハ省略シマス、提出者高木益太郎君

第六 民事爭訟勸解法案(高木益太郎君提出)

第一讀會

第一章 勸解吏ノ職務

第一條 民事上ノ爭訟ヲ調和スル爲各省市町村ニ勸解吏ヲ置ク但シ町村ノ小
ナルモノハ他ノ町村ト合シテ一人ノ勸解吏ヲ置クコトヲ得ヘク大ナルモ

ノハ之ヲ數箇ノ勸解區劃ニ分ツコトヲ得

第二條 勸解吏ハ名譽職トス左ニ記載スル者ハ勸解吏タルコトヲ得ス
一 滿三十歳ニ達セサル者

(二五)

二 任命セラルヘキ勸解區域内ニ住居セサル者

三 刑罰ニ因リ公職ニ就ク權ヲ失ヒタル者

四 裁判上ノ命令ニ因リ自己ノ財産ヲ處分スルノ權ヲ制限セラレタル者

官吏並有給ノ市町村ノ吏員カ勸解吏ト爲ルニハ管轄官廳ノ認可ヲ要ス

第三條 勸解吏ハ市町村會ニ於テ之ヲ選舉ス、任期ハ二年トス但シ新被選
者ノ就職スル迄ハ從來ノ勸解吏其ノ職ヲ行フヘキモノトス

第四條 勸解吏ニ選舉セラレタル者ハ住所地方裁判所長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五條 勸解吏ハ其ノ住所地方裁判所ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ付左ノ宣
誓ヲ爲スコトヲ要ス

予ハ誠實熱心ニ勸解吏タル義務ヲ履行スルコトヲ誓フ

第六條 勸解吏ハ其ノ職務ノ執行ニ付テハ官吏タルノ權利ヲ有ス

第七條 勸解吏ノ監督權ハ左ノ者ニ屬ス

一 勸解吏總員ニ付テハ司法大臣

二 控訴院管内居住ノ勸解吏ニ付テハ控訴院長

三 地方裁判所管内ノ勸解吏ニ付テハ地方裁判所長

勸解吏カ職務執行上違法アルトキハ監督官之ヲ責問スルノ權ヲ有ス

勸解吏ノ職務ノ執行又ハ其ノ遲滯ニ對スル抗告ハ監督官ニ之ヲ申立ツヘ
キモノトス

第八條 勸解吏ハ左ノ事由アルトキニ限り就任ヲ拒絕シ又ハ任期満了前辭
任ヲ爲スコトヲ得

一 滿六十歳ニ達シタルトキ

二 既ニ三年間勸解吏タリシトキ

三 長期ノ疾病ニ罹リタルトキ

四 職業ノ爲長時間又ハ屢住所ヲ離レサルヲ得サル者

五 官吏タル者

六 其ノ他正當ノ事由アル者

就任拒絕ノ當否ハ勸解吏ノ選舉權ヲ有スル團體ニ於テ辭任ノ當否ハ地方
裁判所長終局ノニ之ヲ裁決ス

第九條 勸解吏ハ在職ヲ許スヘカラサル事由ノ發生シタルトキ其ノ他重大
ナル事由アルトキハ其ノ職ヲ免セラルヘキモノトス

職ヲ免スルハ勸解吏ノ住所ヲ管轄スル控訴院ノ第一民事部ニ於テ本人ヲ
訊問シタル後之ヲ決ス

第十條 第八條所定ノ事由ナキニ勸解吏ノ職ニ就クコトヲ拒絕シ又ハ規定
ノ在職期間中職務ヲ拒ム者ニ對シテハ三年以上六年以下ノ期間内其ノ市
町村ノ代表並管理ノ權ヲ喪失セシメ且他ノ市町村民ヨリモ八分一以上四
分一以下ノ市町村稅ヲ増徴スル旨ヲ宣告スルコトヲ得

此ノ宣告ハ市町村會之ヲ決議シ市町村會ヲ管轄スル官廳ノ認可ヲ要スル
モノトス

第十一條 各勸解吏ニ一名ノ副勸解吏ヲ附置ス但シ勸解吏間ニ於テ交互代
理スルモノヲ定ムルコトヲ妨ケス

勸解吏並副勸解吏カ共ニ一時職務ニ妨アルトキ又ハ同時ニ任ヲ終リタル

トキハ監督官廳ハ隣區ノ勸解吏又ハ副勸解吏ヲシテ一時執務セシムルコトヲ得

副勸解吏ニハ第二條乃至第十條ヲ準用ス

第二章 民事上ノ爭訟ニ關スル勸解手續

第十二條 勸解手續ハ民事上ノ爭訟中財產權上ノ請求ニ付テノミ之ヲ行フ當事者ノ一方又ハ雙方ヨリ求メアルトキハ勸解ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス但シ當事者ノ孰レモ此ノ申立ヲ爲スノ義務ナキモノトス

第十三條 申立人ノ相手方ノ住所ヲ管轄スル勸解吏ニ於テ該事件ヲ管轄ス當事者ハ明示又ハ默示ノ合意ヲ以テ本來管轄權ナキ勸解吏ニ事件ヲ管轄セシムルコトヲ得

第十四條 勸解吏ハ代理ノ場合ニ限リ其ノ管轄區域外ニ於テ職務ヲ行フコトヲ得

第十五條 左ノ場合ニ於テハ勸解吏ハ法律上其ノ職務ヲ行フコトヲ許サレサルモノトス

一 自身カ當事者タル事件、當事者ノ一方ト共同權利者共同義務者又ハ債還義務者タル事件

二 自己ノ妻ニ關スル事件、婚姻ノ解消シタルトキ亦同シ

三 自己カ直系ノ血族、姻族又ハ養子縁組ノ關係ヲ有スル者ノ事件、傍系ノ三等親迄又ハ傍系ニ等親迄ノ姻族ノ事件但シ離婚縁組シタルトキ亦同シ

四 自己カ當事者ノ一方ノ訴訟代理人又ハ輔佐人タルカ又ハ然リシ事件又ハ法定代理人タルカ又ハ然リシ事件

第十六條 勸解吏ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ職務ノ執行ヲ拒絕スルコトヲ要ス

一 當事者ノ用フル言語ニ通セサルトキ

二 當事者ノ意思表示カ有效ト爲ルニハ必裁判上又ハ公證ノ形式ヲ經ルコトヲ要スル事件ナルトキ

三 當事者カ其ノ主張通ノ者ナルコトヲ證明シ得サルトキ

四 當事者ノ行為能力又ハ處分能力ニ付又ハ法定代理ノ權限ニ付疑ノ存スルトキ

五 當事者ノ一方カ盲者又ハ瘡痼者ナルトキ

六 當事者ノ一方カ聾者又ハ啞者ニシテ且書面ヲ以テ了解セシムルコト能ハサルモノナルトキ

第十七條 勸解吏ハ左ノ場合ニ於テハ職務ノ執行ヲ拒絕スルコトヲ得

一 單ニ當事者ノ合意ニ依リ管轄ヲ生シタルトキ

第十八條 當事者ハ代理人ヲ用ウルコトヲ得サルモノトス但シ市町村其ノ他法人ハ其ノ内部ヨリ代人ヲ任スルコトヲ得

第十九條 當事者ノ輔佐人ハ勸解手續中何時ニテモ勸解吏之ヲ拒否スルコトヲ得但シ讀ミ又ハ書クコトヲ得サル者ノ輔佐人ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 勸解手續ノ申立ハ書面ヲ以テ又ハ口頭ヲ以テ調書ニ筆記セシメ

之ヲ爲スコトヲ得、申立ニハ當事者ノ氏名身分職業住所係爭事件ノ表示並申立人ノ署名捺印ヲ要ス

第二十一條 申立アリタルトキハ勸解吏ハ之ニ辯論ノ期日並場所及正當ノ事由ナクシテ出頭セサルトキハ處罰ヲ受クヘキ旨ヲ記載シ且相手方ニ送付セシムル爲書類ヲ申立人ニ交付スルカ又ハ相當ノ方法ニ依リテ相手方ニ送達シ其ノ旨ヲ申立人ニ通知スヘキモノトス

第二十二條 當事者ノ一方カ指定ノ期日ニ管轄勸解吏ノ面前ニ出頭スルコトヲ欲セサルカ又ハ能ハサルトキハ遅クモ期日ノ前日迄ニ其ノ旨ヲ勸解吏ニ届出ツルコトヲ要ス此ノ届出ナカリシトキハ勸解吏ハ期日ニ出頭セサル當事者ヲ五十錢以上百圓以下ノ料ニ處スルコトヲ得

第二十三條 勸解吏ノ面前ニ於ケル當事者ノ辯論ハ口頭ニ依ル、勸解吏ハ辯論ヲ問斷ナク之ヲ終結セシムル様注意スヘキモノトス、必要アルトキハ辯論續行ノ期日ヲ即時ニ指定スルコトヲ要ス

第二十四條 勸解吏ハ任意ニ出頭シタル證人並鑑定人ヲ當事者ノ同意ヲ得テ訊問スルコトヲ得

勸解吏ハ證人又ハ鑑定人ヲシテ宣誓セシメ又當事者ヲシテ宣誓セシムルノ權ナキモノトス

第二十五條 和解カ成立シタルトキハ調書ヲ以テ之ヲ明確ニスルコトヲ要ス

調書ハ日本語ニ依リ之ヲ作成スヘキモノトス

調書ニ記載スヘキ事項左ノ如シ

一 辯論ノ場所、日時

二 出頭シタル當事者、法定代理人、委任代理人及輔佐人ノ氏名並其ノ權限ヲ證明シタル根據ノ表示

三 爭訟ノ目的物

四 當事者ノ約束

若和解カ成立セサルトキハ勸解吏ハ此ノ點ニ付要領ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十六條 調書ハ之ヲ當事者ニ讀聞カセ又ハ閱覽セシムルコトヲ要ス、調書ニハ此ノ手續ヲ終リタルコト並當事者ノ承認ヲ經タルコトヲ附記スルコトヲ要ス

第二十七條 調書ノ末尾ニハ當事者並勸解吏ニ於テ署名スルコトヲ要ス、署名スルコト能ハサル當事者ハ輔佐人ヲ選任シテ之ヲシテ調書ニ署名セシムルコトヲ要ス

勸解吏ハ當事者ノ孰レカ又如何ナル事由ニ依リ自署スル能ハサルカヲ附記スルコトヲ要ス

第二十八條 調書ハ時ノ順ヲ追ヒ之カ專用ノ簿冊ニ記入シ且之ニ事件番號ヲ附スルコトヲ要ス

餘白ナキニ至リタル調書簿冊ハ勸解吏ノ住所ヲ管轄スル區裁判所ニ保管ノ爲ニ交付スルコトヲ要ス

第二十九條 當事者又ハ其ノ承繼人ハ調書ノ謄本又ハ正本ノ交付ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 正本ハ調書ノ謄本ニ正本ナル旨ヲ附記シタルモノ依リ成ル
正本ノ附記ニハ正本作成ノ場所並日時ヲ記載シ正本ノ交付ヲ受クル當事
者ヲ表示シ勸解吏之ニ署名シ職印ヲ捺捺スルコトヲ要ス
第三十一條 正本ハ調書ノ原本ヲ保管スル勸解吏之ヲ交付ス
勸解吏ハ正本交付前交付ノ日時及受領者ノ何人ナルカヲ調書ノ原本ニ附
記スルコトヲ要ス
調書簿冊カ區裁判所ノ保管ニ係ルトキハ其ノ裁判所書記正本ヲ交付スヘ
キモノトス

第三十二條 勸解吏ノ面前ニ於テ成立シタル和解ニ依リ裁判上ノ強制執行
ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニハ公正證書ニ基ク強制執行ニ關スル規定ヲ準用ス
第三章 名譽毀損及身體傷害ニ關スル調停手續
第三十三條 告訴ヲ待テ訴追スヘキ名譽毀損及身體傷害ニ在リテハ勸解吏
ハ和解ヲ試ムル權アルモノトス

第三十四條 名譽毀損及身體傷害ニ關スル勸解手續ハ本章ニ別段ノ規定ア
ル場合ヲ除ク外第二章ノ規定ヲ準用ス
第四章 費用及印紙
第三十五條 勸解吏ノ命令其ノ辯論手續及正本ノ交付ニ付テハ費用、印紙
ヲ要セス但シ辯論手續ニ印紙ヲ要セサル規定ハ次ノ場合ヲ包含セス
一 本來印紙貼用ノ義務アル法律行為カ和解ノ一部トシテ其ノ中ニ包含
セラルルトキ
二 和解カ從來當事者間ニ於テ印紙貼用ノ義務ナキ形式ニ依リ成立セル
法律行為ヲ認諾シ又ハ大體ニ於テ維持スルトキ

第三十六條 勸解吏ハ自己ノ管掌ニ係ル辯論手續ニ法律所定ノ印紙ヲ貼用
スル義務ナキモ當事者ハ印紙稅ノ定ムル所ニ從ヒ相當ノ時期ニ印紙ヲ貼
用スルコトヲ要ス印紙ハ辯論アリタル日ヨリ一週間内ニ其ノ原本ニ貼用
スヘキモノトス但シ辯論調書ノ正本ハ未タ原本ニ印紙ノ貼用ナキ場合ニ
於テモ之ヲ付與スルコトヲ妨ケス
勸解吏ハ調書ノ正本ヲ交付スルニ當リ既ニ原本ニ印紙ノ貼用アリタルヤ
否並如何ナル印紙貼用アリタルカヲ各正本ニ附記スルコトヲ要ス

第三十七條 筆記ノ手數料並現金ノ支出ハ即時ニ勸解吏ニ支拂フヘキモノ
トス勸解吏ハ前拂ヲ受ケタル後勸解ノ手續ヲ始ムルコトヲ妨ケス
第三十八條 勸解ノ申立書ノ作成辯論調書ノ正本謄本及證明書作成ノ爲ノ
筆記手數料ハ其ノ支拂ヲ受クヘキモノニシテ一枚金二十錢トス一枚ニ滿
タサルモノハ一枚ト看做ス

第三十九條 筆記手數料並現金ノ支出ハ之ヲ惹起シタル當事者ノ負擔ニ歸
ス和解カ成立シタルトキ又ハ當事者雙方ニ於テ勸解ヲ求メタル場合ニ於
テハ手續ノ完結迄ニ生シタル筆記手數料並現金ノ支出ハ各當事者之ヲ負
擔スヘキモノトス
必要ナル場合ニ於テハ勸解吏ノ申立ニ基キ此ノ手數料並費用ヲ市町村稅
徵收ノ手續ニ依リ當事者ヨリ取立ツルコトヲ得

第四十條 勸解吏ノ職務ヲ行フニ要スル經費ハ市町村之ヲ負擔ス
數箇ノ町村相合シテ一人ノ勸解吏ヲ置クトキハ經費ハ關係町村ニ於テ人
口數ニ應ジテ之ヲ分擔ス
第四十一條 本法ノ規定ニ依リ徵收セラルル科料ハ經費ヲ負擔スル市町村
ノ收入ニ歸ス
〔高木益太郎君登壇〕

○高木益太郎君 本案ハ社會政策上ノ必要カラ致シテ個人ト個人ト利害ノ衝
突ヲ致シマスル事柄ニ付キマシテ、其結果ハ國家ノ平和ト國民ノ美風ヲ破リ隨テ國力
ノ發展ヲ阻害スルヤウナ次第デアリマス、殊ニ今日ノ實況ハ多額ノ訴訟入費ト重激ナル
トコロノ印紙稅ノ負擔其他各般ノ費用ノ負擔ガアルノデゴザイマスルミナラズ、裁判ハ
三、四年ヲ費シテ漸ク勝チマシテモ、其勝ツタト云フコトハ唯名前ハカリデアツテ、其費ス
トコロヲ償フニ足ラヌヤウナ次第デアリマス、當事者雙方ハ金錢ヲ抛チ、互ニ名譽ヲ傷ケ
テ裁判上名ハ勝ツテモ其實負ケタ同様な狀態ガ多イデアリマス、政友會ノ諸君ハ刑
事ニ付キマシテハ社會政策上ノ必要其外ノ事情ニ鑑ミラレテ、陪審制度ノ案ト云フモ
ノヲ出サレタ、本員ノ如キハ是非非常ナ贊成アルノデアリマス、併ナガラ民事ノ上ニ於
テモ亦政策ヲ施ス必要ガアルノデアツテ、裁判ヲスル前ニ爭フシヤウニ勸解ノ制度ヲ
設ケルコトハ、刑事ニ於テ陪審ノ制度ガ必要ナルト共ニ又民事上必要ナルコト、存ジマ
ス、是ニ依ッテ當事者ヲ融和シ、入費ノ無駄ト時間ノ徒費ト云フモノヲ防イデ、非常
ニ私ハ必要ナル案デアルト信ジテ居ルノデアリマス、ケレドモ我司法當局者ハ此點ニ付
テハ何等研究ヲシテ居ラヌヤウデアリマスルカラ、本員ハ茲ニ此法案ヲ提出ラシテ、十分
諸君ト政府ニ御熟議ヲ煩ハシタイ積リデアリマス、日本ニ於ケルトコロノ最高ノ法院タル
大審院長ノ横田國臣ト云フ方ガ今日ノ日本ノ裁判ノ實況ヲ見テ、トモ此法律裁判
所ダケハ國家ノ治安ヲ保ソコトガ出來ナイ、ドウシテモ情實裁判所ト云フモノヲ設ケ
ケレバナラヌト云フ議論ヲ公ニセラレタデアリマス、即チ法律ハカリテハイケンナイ、道德ト
情實ヲ參照シテ情實裁判所ノ設置ガ必要デアルト云フコトヲバ公ニセラレタデアリマ
ス、我國ニ於キマシテハ舊幕時代ノ東京ノ慣習ハ、我々ガ申上ゲルマデモナク、諸君モ能
ク御承知ノ次第デアリマスケレドモ、裁判ヲスル前ニハ五人組ト大屋ト云フモノガ干
與シテ、成ベク個人ト個人ト問ニ裁判ヲサセヌヤウナ仕組デアリマシタシ、又一朝破レ
テ奉行所ヘ出頭スル場合ニ於テモ、必ズ五人組ト大屋ト云フモノガ附添ハナケレバ訴訟
ヲサセヌトコロノ仕組デアリマシタシ、又田舎ニ於キマシテハ村民ノ衝突ト云フモノハ名主ノ
處ヘ參リマシテ、十中ノ八九ト云フモノハ調和ガ付イタト云フコトハ諸君モ能ク御承知ノ
次第デアリマス、維新後ニ於キマシテモ明治九年ノ甲第十七號ノ達ヲ以テ民事ノ訴訟
ハ成ベク區區裁判所ノ勸解ヲ請フベキモノデアルト云フ規則ガアリマシタシ、明治二十三
年マデ其規則ヲ實行シタデアリマス、然ルニ此制度ト云フモノハ非常ニ貧富ノ衝突ヲ防
イデ、彼ノ妻ハ病床ニ臥シ、子ハ飢ニ泣クト云フヤウナ貧民ノ債務者ニ向ッテ高利貸ガ
壓迫ヲ加ヘル、斯ル憫ムベキ者ヲ訴ヘルノハ必ズ勸解ヲ經ナケレバナラヌ、勸解ヘ願出ル
ト勸解吏ガ之ニ恩惠期限ヲ與ヘテ、サウシテ惡嫌ナルトコロノ債權ノ執行ニ向ッテハ、相
當ナル調和策ヲ講ジテ居ッタデアリマス、然ルニ一朝勸解制度ハ民事訴訟法ノ實施ト
共ニ廢止セラレテ、今日マデ殆ド二十年間勸解ハゴザイマセヌケレドモ、是ハ甚ダ殘念ナ
次第デアリマシテ、權利者義務者ノ衝突ト云フモノヲ總テ法律ハカリテ以テヤルト云フコ
トハ面白クナイデアリマス、現ニ佛蘭西ノ如キハ個人主義ノ發達シタル共和國デアリマ
スケレドモ、勸解ハ必ズ町村役場ニ於テ公開ラシナイ場所デ、勸解吏ガ調和ヲ圖ルト云

ツ方策ヲ講ジテ居リ、獨逸ニ於テハ喧嘩ノ事件アルトカ、名譽毀損ノ事件アルトカ、其外ノイロ／＼ナ衝突問題ニ付テハ、ヤハリ勸解ノ制度ト云フモノガアツテ、惡イ人間ハ一方ノ人間ニ向テ謝罪金ヲ出ス、其謝罪金ハ何ニ使フカト云フニ、其町村ノ慈善事業ニ使フ、アルカラ町村ハ喧嘩シタ人間カラハ勸解ヲシテヤツテ、其差出ス金ヲ町村ノ慈善事業ノ費用ニ充ツルコトが出来テ、個人トシテハ當事者雙方調和スルコトが出来、同時ニ其費用ヲ以テ國家ノ公益ニ關スル事業ヲ助ケルト云フヤウナ現行ノ制度デアリマス、我國ニ於テハ家族主義ノ國デアリマスカラ、個人主義ノ國ヨリハ國民ノ圓滿調和ヲ圖ルト云コトガ最も必要ト存シマシテ、茲ニ本案ヲ提出シタデアリマスカラ、十分本案ニ付テハ御慎重ナル御審議アラシコトヲ願ヒタイデアリマス(拍手起ル)

(參照)

臺灣ニ於ケル民事爭訟調停件數

年次	受理	處理	未濟	指數	百分比
明治三十二年	五、五二二	三、九二二	一、六〇〇	一〇〇	一〇〇
同三十三	三、三六三	二、九〇五	四、五八	六一	七四
同三十四	二、五一八	二、〇五一	四、六七	四六	五二
同三十五	二、三二五	一、五七二	七、五三	四二	四〇
同三十六	三、一八二	二、六九一	五、〇九	五七	三七
同三十七	三、〇三四	二、八九三	一、四一	五五	四二
同三十八	三、三四五	三、二〇〇	一、四九	六一	八二
同三十九	四、八八九	四、七一〇	一、七九	八九	一一〇
同四十	四、九六四	四、八二九	一、三五	九〇	一二三
同四十一	四、七五八	四、五五六	二、〇二	八六	一一一
同四十二	五、三〇六	五、一七八	九六	一一一	一一一

○管原傳君 時日モ切迫シ斯ウ云フ法案ヲ委員ニ付託シテモ調査ノ時ガアルカナイカ、殆ト疑ハシイコトデアリマスケレドモ、兎モ角モ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 菅原君ノ勸議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ本案ハ付託致シマス

第七

貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案(福井三郎君外四 第一讀會ノ續(委員長名提出))

(福井三郎君登壇)

○福井三郎君 本案ハ大體ニ於テ政府モ大ナル反對デハナカッタデアリマスケレドモ、其言明セラレトコロニ依ルト、原案ノ儘デハ反對デアル、縱シ是ガ貴衆兩院ヲ通過致シタ場合ニモアル、其儘デハ差支ヘル、何故差支ヘルト云フノニ原案ノ儘デ若シ法律ニナラシメト云フ、衆議院貴族院ノ速記ヲ勤メテ居ッテ、而シテ今ハ既ニ死ンダリ或ハ辭職シタリシテ現ニ居ラナイ人マデモ追掛ケテ行ッテ恩惠ヲ付與スルト云フヤウナ結果ニナル、左様ナコトハ底止スルトコロハ知ラナイカラ、事實ノ上ニ於テ因ルト云フ理由ヲ以テ反對

シナケレバナラヌ、愈々反對ヲシナケレバナラヌト云フ政府ハ意見デアッタデアリマス、ツレニ付テ委員中ノ一人ヨリ丁度ツレト同様ナル點ヲ憂慮シタル修正案ガ出タデアリマス、其修正案ハ國民黨出身ノ委員中ノ中島君ヨリ出マシテ、御手許ニ回シテアル通りニ修正ヲ致シマシタデアリマス、其修正ニ依リマスルト當テ貴衆兩院ノ速記ノ雇デアツテ、而シテ明治三十二年ノ法律第三百四十九號、同第三百五十號ニ依ッテ速記技手ニ任用セラレテ現在ニ引續イテ居ルモノハ、ツレハ皆恩給ノ恩典ヲ蒙ルニナルデアリマス、サウ致シマシタナラバ事實ニ於テ差支ハナカラウト云フ考デアルト云フ修正デアリマス、此修正案ニハ滿場一致ヲ以テ同意ヲ致シマシタ、而シテ政府ノ意思ヲ尙確メマシタコロガ、ツレデモ政府ハ表面上反對ト言ハナケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、其反對ト言ハレル言葉並ニ顏付等ヲ裏面カラ段々模樣ヲ見マスルト、貴族院(同ッテ行ッタナラバ、決シテ反對ノ運動モセズ、否決ノ運動モシナイシ、希クハ此案ノ通過スルヤウニ竊ニ祈ッテ居ルト云フ意味ニ受取レタデアリマス故ニ、口デ反對セラレテモ、内實ハ贊成セラレタモノ、ヤウニ存シマシタ、言換ヘレバ政府モ委員會モ一致テ修正可決致シタト申上ゲテ大ナル誤リハナカラウト信ツマス

○管原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 少數——本案ハ二讀會ヲ開クベカラズト云フコトニ決シマス、即チ否決致シマス、日程第九、酒造稅法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長武藤金吉君

○菅原傳君 是ハ委員長ノ都合ニ依リ延期ノコトヲ通告シテ置イタダキアリマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長ヨリ都合ニ依リ延期ノコトニシタイト云フ動議が出マシテ、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○野添宗三君 延期ノ動議ニ反對ノ意見ヲ述ベマス

○議長(長谷場純孝君) 延期ニ反對ト云フ方ハ贊成者ガ無イヤウデアリマスガ、ドウデス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 贊成ガアルナラバ採決致シマス

○野添宗三君 延期ノ理由ヲ承ラヌデスガ、此會期切迫ノ際ニ於テ徒ラニ是ハ延期スルトスレバ甚ダ不當デアルト思フ、本案ハ政友會ノ諸君ノ御提案デアリマス、我黨モ亦之ニ贊成ヲ致シテ全會一致ヲ以テ可決致シタル案デアリマス、何ガ故ニ本案ヲ延期致スノデアリマス、延期ノ理由ヲ詳シク承ツテ相當ト認メシタラバ、私ハ贊成ヲスルニ吝ナラザルモノデアリマス、會期切迫ノ際ニ當テ徒ラニ之ヲ延期スルト云フコトハ、私ハ不贊成デアリマス、故ニ委員長ガ居ラレナケレバ、相當ノ人ノ報告ヲ聽イテ議題ニ供セラレシコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 是マデノ例ニ於テモ委員長ノ都合ニ依リ延期ト云フコトヲ御諮リシテ悉ク許シテ居リマス、ソレデハ採決致シマス、延期ヲシナイト云フコトニ付テ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數——即チ本案ハ延期ニ決シマス、日程第十、港灣改良ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者松田正久君外七名——大岡育造君

第十 港灣改良ニ關スル建議案(松田正久君外七名提出)

港灣改良ニ關スル建議案

港灣改良ニ關スル建議案

港灣ノ修築改良ハ鐵道ノ敷設ト相俟テ産業及貿易發展ノ爲ニ最急務トスル所ナリ政府ハ宜シク將來ニ互ニ相當ノ計畫ヲ定メ國家カ主トシテ經營スヘキ港灣ハ勿論其ノ他重要ナル港灣ニ對シテモ必要ニ應ジ相當補助ヲ與ヘ以テ速ニ其ノ改良事業ノ完成ヲ計ルヘシト第二十六回議會ニ於テ本院ヨリ建議シ政府大體ニ於テ同意ヲ聲明セシニ拘ラス今日ニ至ルモ其ノ實行ニ著手セサルハ願フニ財政上ノ都合ニ外ナラサルヘシト雖既ニ河川ニ關シ治水費資金特別會計ヲ設置セシカ如ク港灣ニ對シテモ亦同一方法ヲ取ルニ於テハ必スシモ之カ修築改良ヲ完成スルコト難キニ非サルヘシ政府ハ速ニ此等ノ方法ヲ參酌シ港灣ニ對スル適當ノ計畫ヲ定メ次期議會ニ之ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(大岡育造君登壇)
○大岡育造君 港灣改良ニ關スル建議案ヲ說明致シマス、我政府ノ當局ガ世界ノ軍事ノ壓迫ニ對スル用意ハ頗ル周到ナモノデアリマスガ、僅テ生産的ノ競争用意ニ

至リマシテハ、未ダ十分ナリト云フコトハ出來マセヌ、是ニ於テ我々ハ昨年本院ノ院議ヲ以テ建議致シマス、即チ鐵道ノ普及及港灣ノ改築此二ツガ最モ生産ノ發達ヲ助ケルニ要用ナルモノト致シタデアリマス、幸ニシテ政府ハ之ニ大體同意ヲ表シマシテ、即チ鐵道ノ如キ十分ナリト云フコトハ出來マセヌケレドモ、稍其歩ヲ進ムルコトヲ得マシテ、本年ノ議會ニ見ルベキモノモアツタデアリマスガ、港灣改修ノコトニ至リマシテハ僅ニ四日市、鹽釜、船川、此三港灣ヲ內務省ノ港灣調査會ニ於テ決定致シマシタルノミデアツテ、而シテ地方ハ各其縣會ニ於テ多額ノ費用ヲ支辨シテ此港灣改修ニ著手致シテ居ルデアリマスガ、未ダ政府ニ於テ之ヲ補助スルノ途ヲ立テラレナイデアリマス、此事ハ頗ル本議會ニ於テ我々ノ遺憾トスルコトデアリマス、今茲ニ重ネテ建議ヲ致スノデアリマス、勿論財政ノ事情容易ニ此ノ如キ計畫ヲ立テ難イト云フコトハ昨年ノ委員會ニ於テモ政府ハ同意ヲ表シシ、此意ヲ述ベタコトデアリマス、容易デハナカラウト思ヒマス、其上年ハ意外ノ水害ガアツテ、多大ノ國費ヲ支出スルノ已ムヲ得ザルニ立至マデス、事情モゴザイマシタカラ、一概ニ之ヲ責ムル譯デハゴザイマセヌ、幸ニシテ水害ノ豫後ハ政府モ非常ナ工夫ヲシテ特別會計ノ法ヲ立テ、河川改修山林ノ整理等ニ途ヲ開イテ居リマス、即チ特別會計ヲ立テ、公債ノ便ヲ藉リテ、此目ノ遂行致シテ居ルデアリマス、即チ特別會計ノ事情ハ容易ナラズトスルモ、尙此途ヲ辿リサヘスレバ出來ナイコトデアリマス、財政ノ事情ハ容易ナラズトスルモ、尙此途ヲ辿リサヘスレバ出來ナイコトデアリマス、即チ特別會計ヲ立テ、公債ヲ補助スルヲ以テ致シマス、出來ナイ相談ハナイコト、特別會計ノ法ニ依ツテ、公債支辨ノ途ヲ以テ致シマス、河川改修ヲ助ケル方法ト同ク、私共ハ確信ヲ致シテ居ルデアリマス、港灣ノ改修ヲ補助スルメニ左様ノ方法ヲ立テルコトハ、或ハ如何ト云フ御考ノ御方ガアルカモ知レマセヌケレドモ、斯ル生産的ノ事業ニ對シテ公債支辨ノ途ヲ立テルコトハ、必シモ不當ノコトデハナカラウ、現ニ亞米利加ノ如キ、彼ノ富裕ナル國ニシテ「パナマ」ヲ運河ヲ改築スルニ公債支辨ノ途ヲ立テ、ヤツ居ルデアリマス、初メハ日本ノ貨幣ニ直シテ僅ニ四億以內ニ公債ヲ發シテ了マシタモノガ、今ヤ八億ヲ要スルメニ至ツテ居リマス、併ナガラ其事業ハ既ニ七分ヲ越エテ再來年ニハ小汽船ハ通航スルコトガ出來、四年目ニハ大汽船モ通過スルメニ完成スルコト云フコトデアリマス、此途ガ一度開ケマシタラバ、從來比較的生産業ノ發達ナル國ニシテ、而シテ我工業ニ肉薄スルコトノ少ナカリシトコロノ亞米利加即チ彼ノ東部ノ亞米利加ガ大ナル便利ヲ得ルコト共ニ我貿易ニ及ボストコロノ影響モ亦甚ダ大ナルモノデアラウト思フデアリマス、無論彼ガ我ニ多ク送ルコト云フ便アレハ、我モ亦彼ニ多ク送ルノ便利ヲ得ル譯デアリマスガ、併テ併ナガラ我國ノ之ニ對スル用意如何ト云ヘバ種々アリマセウケレドモ、先以テ港灣ヲ改修スルコトガ最モ必要デアラウト信ズルデアリマス、殊ニ日本ノ東北ノ海岸ハ其東ノ面ニ於キキマシテモ、又ハ西ノ面ニ於キマシテモ、隨分不便ヲ極メテ居ルノデ、明治政府ノ先輩ハ夙ニ此處ニ著眼ヲシテ其事業ハ失敗ヲ致シマシタケレドモ、明治ノ初年ニ野蒜ノ築港ヲ計畫シタコトモアルノデ、場所ハ選マナケレバナリマセヌケレドモ、彼ノ方面ニ於テ吞吐ノ口ヲ求メナケレバナラヌコトハ、疾ニ定メタル問題デアリマス、今ヤ其方角ニ於テ吞吐ノ口ヲ求メナケレバナラヌコトハ、疾ニ定メタル問題デアリマス、選マレテ、事業ニ地方デハ著手致シマスルケレドモ、隨分多クノ費用ヲ要スルノデアリマシテ、地方ノ費用ヲ要スルコト論ヲ俟タズ、中央部ニ於テ申シマシテモ四日市モ同デアアルデアリマス、ドウガ此運送ヲ鐵道ノ一方ニ依リガ如キ片寄リヲ爲サズシテ、鐵道ト船舶ト兩方ヲ能用ユルコトニ致シタイト思フデアリマス、今日デハ日本ノ海運業ガ頗ル不振ヲ極メテ居ル、併ナガテ大ナル船舶ヲ非常ニ數多ク持ツテ居ルニ依ツテ持餘シテ居ルカト云ヒマス、ソレ程多クハナイデアリマス、我同盟國ノ船舶ガ、較ベテ

見マスレバ、殆ど話ニナラス、僅二十分ノ一シカ持ッテ居ラヌデアリマス、英吉利デハ確
カ八千四百六十艘ノ汽船ヲ有シテ居ル、日本ニ於キマシテハ八百四十六艘、十分ノ一
シカナイ位ノモノデアアル、此僅カナル船舶ガ尙荷物、貨客ノ不足ニ苦シテ居ルト云フ
ガ如キハ、餘程後レタル次第デアッテ、其一ハ良港灣ガゴザイマセヌメニ、船舶ノ交通
ニ不便多イコトモ原因シテ居ルニ違ヒナイト思フデアリマス、殊ニ法ヲ立テ、港灣ノ改
良ヲ致シマスレバ、内地ノ產物ガ長距離ノ鐵道ヲ經ズシテ近キ道ニ於テ直ニ海ニ出テ、
而シテ船舶モ之ニ依ッテ大ナル便利ヲ得マスルカラ一舉兩得デアラウト考ヘラレ、故ニ
政府ニ於テハ治水ニ立テタルコトノ特別會計ノ法ヲ以テ財政ノ都合ヲ付ケテ、來年度
ニ於テハ必ズ此港灣ヲ改修スルコトニ意ヲ注ガレテ提案セラレシコトヲ希望スルデアリ
マス、幸ニ總理大臣御出席ノコトデアリマスカラ、之ヲ委員ニ付シテ日ヲ重ヌルノ暇モナ
イノテ直ニ可否ノ御答辯ヲ得マスレバ、満足ノ至リデゴザイマス

〔内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇〕

○内閣總理大臣(侯爵桂太郎君) 唯今問題ニ相成ッテ居リマス港灣ノ建議案ニ
付キマシテ唯今大岡君ヨリ喋々建議ノ趣旨ヲ御演說ニナリマシタ、此港灣ノコトニ付キ
マシテハ政府モ年來注意ヲ致シ、其必要ナルコトヲ認メテ居ルデアリマス、横濱並ニ
神戸等ニ於キマシテモ既ニ政府ハ著手ヲ致シテ居ル、又關門海峽ノ如キニ至リマシテモ、
政府ハ計畫ヲ致シテ居ルデアリマス、併シ其他ノ港灣ニ付キマシテハ、大岡君モ唯今
申サレマシタ如ク、政府ノ必要ト認ムルニモ拘ラズ財政ノ都合ニ依リマシテ、今日完全ナ
ル計畫ヲ立テ、補助ノ途ヲ講ジテ居ラヌデアリマス、此事ハ先キニ述ブル如ク政府ニ
於キマシテ固ヨリ其必要ヲ感シテ居ル次第デゴザイマス、相當ノ計畫ヲ致シテ、此港灣
ノ問題ノ解決ヲ致シ得ルヤウノ方法ヲ講ズル積リデゴザイマス、左様御承知下サイ

○守屋此助君 總理大臣ニ說明ヲ求メマス
○議長(長谷場純孝君) 守屋此助君

〔守屋此助君登壇〕

○守屋此助君 私ハ港灣ノコトニ付キマシテ、唯今ノ總理大臣ノ御答ノコトニ付テ五
ツ程御問ヲ見タ、ソレハ第一ニ御問致シマスノハ、提出者大岡君モ言ハレハ如ク、
今日ヨリ二箇年ト十箇月致シマスレバ、「バナマ」ノ運河事業ハ成功致シマシテ、東亞米
利加ノ船ハ勿論、歐羅巴ノ船モ東洋ニ參リマスル船ハアレハ通過シテ來ルコトニナルノ
デゴザイマス、此「バナマ」ノ運河ガ開ケタ曉、今日ヨリ二箇年ト十箇月ノ先ニ於テハ太平洋
ノ形勢ハ大ニ變ハル事柄ハ、既ニ總理大臣ノ御承知デアルデアアル、サレバコソ昨年モ横
濱ニ於テノ御演說、ソレカラ又大阪ニ於テノ御演說ニ一度ナガラ出テ居ル、横濱ニ於テ
ノ御演說ハ如何ニアルカト云フト、横濱ノ港ハ横濱ノ港ニアラス、日本帝國ノ港ノ
横濱港ニアラス、是ハ東洋ノ横濱港ト人ガ思ウテ居ルガ、又違フ、世界ノ港デアアル、世界的
ニナラケレバナライ、斯様ニ言フテ横濱ノ人ヲ奮勵セシメテ居ラル、デアリマス、是ハ私
其御意見ニ敬服致シテ居ル併シ其言葉ガアツカラ昨年ノ春デアリマスルカラ、必ヤ四十
四年ノ豫算ニ「バナマ」ノ運河ガ開ケテ後ノ日本帝國ノ港ヲ如何ニスルコト云フ御說ガアル
デアラウト待チテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッテ居ッ
於テノ御演說ハ如何ニアルカト云フト、今ヨリ一年バカリスルト「バナマ」ノ運河ガ開ケテ、
東洋ノ形勢大ニ變ル、是ニ至ッテカ其設備ヲ致シテハ日本ニ廣軌鐵道ヲ拓ヘルト云ハレ
タ、廣軌鐵道ガヤハリ「バナマ」運河ト結バレテ居ルデアアル、其通リノコトデゴザイマスガ、
港ノ設備ハ始メテナカノ、半年ヤ一年デ直グニ港ト云フモノハ出來ナイト思ヒマスガ、此
事ニ付テハ此「バナマ」運河ガ今ヨリ二箇年十箇月ニシテ完成シタ曉、帝國ハ如何ナルコ

トラシテ之ニ應ズル御考デアアルカト云フトガ第一ノ問、ソレカラ第二ノ問ト申シスルノハ
此間當議會ニ出マシタコトノ大漢デゴザイマス、此大漢ハ或人ヤ唱ヘラレトコロニ
依レバ、是ガ東洋ニ於ケル「バナマ」運河ノ開通後ノ設備トスベキアツテ二トナイ港デア
ルト、斯様ニ言ウテ居ル、是ハ太平洋五千哩ヲ越シテ日本ニ來テ、支那ノ上海、香港ニ
行クト云フ船舶モ神戸ハ横濱ヲ經過スルヨリハ五百哩若ハ八百哩モ近クナルト云フト
ト唱ヘテ居ル、サウレテ大漢ニ於テスレバ、北海道ノ石炭ヲ供給スル便利ガアル、恐山ノ
良イ水ガアツテ、港ガ深イ、イロノ、説明ヲ齋藤君カラ御出シニナッテ居リマシテ、
ナカノ、覺切レナイ程ヨリ良キモノガアルデアアル、此大漢ニ付テノ政府ノ御意見ハ如何ニ
アルカト云フトガ第二ノ問デス、ソレカラ第三ノ問ハ斯ウ云フトデス、一體日本ノ港ニ付
テハ獨逸ノ漢堡ノ港ヲ始メトシ、歐羅巴並ニ亞米利加等ノノ關稅ノ港ハ一部分
ヲ自由港ニスルデアアル、一部分ガ自由ノ港ニナッテ、一部分ガ關稅ノ港ニナッテ居ル
歐羅巴、亞米利加等ノ先進ノ國ニシテ、サウシテ其國ノ工業ノ原料ヲ入レル、其處デ指
ヘタモノヲ直グ外國ニ輸出スルキニハ關稅ノアル國デモ一部分ノ港ヲ無稅ノ港ニシテ、
自由港ヲ拵ヘル、東洋デハ獨逸ガ支那ノ膠州灣ニ於テ之ヲ致シテ居ル、斯ウ云フヤウナ
方策ヲ帝國ノ將來ノ港ハ御取リニナル考ガアルカナキヤ、是ガ第三ノ問デス、ソレカラ第
四ノ問ハ港ノ設備ハ國ノ力デモナカノ、大金ガ要ル、地方デモ府縣等デスルト云フト
ニ付テ財源問題ガ何時デモ出テ來ルデアリマスガ、之ヲバ斯様ナルコトニシタラハ早ク
出來ルカト云フ愚案ヲ一ツ持ッテ居ルカラ、政府ハドウ云フ御考デアアルカ聽クノハ、之ヲ營
利會社ニ許スト云フトコトハドウデアアル、公法人、國若ハ市、斯ウ云フ國トカ縣トカ云フヤウ
ナ設備バカリデ拵ヘルト云フト、ナカノ、手間取ル、之ヲ早ク造ルト云フトコトナラバ、私ハ
之ニ雙手ヲ舉ゲテ賛成致シマスガ、ナカノ、地方等デモイロノ、府縣ノ費用モ多クテ、港
ノ設備ガ思フヤウニ行カナイ、之ヲ早クスルト云フニハ、私ノ考デハ營利會社ニ之ヲ許シテ
入港稅ヲ此營利會社ニ取ラセ、港ノ附近ノ海ヲ埋メル等ノ事柄ヲバ、又此營利會
社ニ與ヘテ置イテ、幾年先キニカノヲ縣トカ國トカ市トカノ有ニ移ス、二十年デモ五十
年デモ其年限ヲ取テ、サウシテ或相當ニ營利會社ガ利益ヲ收メタト云フトコトニナレバ、
公有ニ移ス、斯ウ云フ方法ニシテ丁度東京ノ鐵道ト云フモノガ五十年ニシテ市ノ有トナ
リマスガ、アレニ似タ如キモノ、斯様ニ致シマシテ、營利會社ニ許シマシタラバ、港ノ設
備ガ早ク出來マシテ害ガナクシテ利益ガアル方法ダカラ斯様ナ方法ニ致シタラバ、港ノ機
宜ノ宜シキモノデナイカト思ッテ居ル一人デアリマスガ、此點ニ付テハ政府ノ御研究ガ
是マデアツカナイカアツタナラバドウアル、斯ウ云フ事柄ガ問デス、是ガ第四ノ問デス、終リニ
第五ノ問ハ、是ハ此間豫算總會ノコトニシヨット申シマシタガ、此點ニ付テハ政府ノ御
答ガ不十分デアツタカラ問フノハ、鐵道ノコトニ付キマシテハ大岡君ノ言ハレハ如ク日本
ハ略、順序ガ定ッテ居リマス、ソレニハ政府ノ方法ハ先ヅドウデアアルカト云フト、行政ノ機
關官制ノ組織ガ先ヅ立ッテ、鐵道院ト云フモノヲ統一スル法ガ付テ居ルカラ、是デ順序
ガ立ッテ行クガ港ノコトハドウナッテ居ルカ、何處ガ主管デアアルカ、主人公デナイ、内務省ガ
主人ノ如クアルケレドモ、何等ノコトモナイノデ、サレバコソ大藏省デ稅關ハ横濱港、神戸
ノ港ノ工事ヲシテ居ラル、デハナイカ、サウシテ見レバ内務省ト云フモノハ之ハ無能ナンデ、
自分ノコトコロ出來ナイカラ大藏省ニ奪ハレテシマッテ居ル、併ナガラ字ノ上デハ何ダカ内
務省ガ主管ラシクモ見エテ居ル、サウシテ港灣調査會ト云フモノガアツテ、濟々タル多士、
是ガ委員デアアル、所ガ是ガ斐然トシテ章ヲ成シ、之ヲ裁スル所以ヲ知ラズデ、アノ調査會
イロノ、ノ材料ヲ集メテ之ヲ裁斷スル人ガ誰モナイデアアル、ソレ故ニアノ港灣ノ調査會
ニハ一個人ニ付テハ立派ナ先生ガ居ラレ、立派ナ學者ガ居ラレ、立派ナ技師ガ居ラレ

ルケレドモ、之ヲ裁斷スル人ガナインデアカラ、丁度文部省デ南北正閏論ガ逆ニ來タヤ
ウナ話デ、唯材料バカリテ、學者物知リガ集テ、グヤノシテ居テ、痴人ノ夢物語ヲシ
テ居ル（國民黨ノ如シ）ト呼フ者アリ）之ヲ裁斷スルモノガ何處カニ主管ノ役所ガナケレ
バナラヌ大藏省デヤテ居ルカト思フト、又船ノ關係デ、管船局モアッテ、遞信省ガ隊ヲ
容レ、ツレカラ又此間申上ゲタ通り各地方府縣モ之ニ隊ヲ容レ、何處ガ主管デア
カ分ラヌデア、是ハ私ノ考デハ何トシテモ、一ツニ御纏メニナッテ然ルベキト思フ、管船
局ガ遞信省ニアルカラ、港ノコトデアカラ、大藏省モ手ヲ引キ、内務省モ手ヲ引イテ、遞信
省ニ移スモ、一策、是ガイヤナラ管船局ヲ内務省ニ移シテ、内務省デ總テヤテ往
カ何トカ、一役所ニ集メテ事務ガ抄取ルヲ思フデア、港ニ關係ノアル、一
例デ申セバ、橫濱鐵道會社ガ橫濱港ノ所ニ海陸聯絡設備ヲスル願ヲ三十八年ニ出
シテ、三十八年ニ出シタ書面ガ何處ノ役所デモ、海軍省モ經過スレバ、方々十幾
ツモ經過シタウデア、何處デモ片ガ付カナイデ、此書類ヲ三十八年カラ足掛ケ七
年土用干テスルコト六度ダト云フ（笑聲起ル）此土用干テ六度モシテ居ル、ツレナラ此
願書ガ惡ルイコトデアカト云ヘバ宜シイ皆、宜シイコトダト云ヒナガラ主管スルガナ
カ、之ヲ裁斷スル所以ヲ知ラズ、裁斷スル人ガナイン、カスウ云フコトニナルカラ出願人ノ
願書ヲ控ヘ六度モ土用干テスラカドウカスウカ濟ンデ居ルガ、政府ニアル分ハ定メシ
ガ蝕デシマッタラウト思フ、是ハ一ノ例デアハルガ、政府ハ港モ鐵道モ偏重偏輕ハナイ、鐵
道モ港モ一視同仁デアルトノ御話デアリマスガ、不同仁デア、私ハ何モ唯政府ヲ非難
攻撃シテ喜ブモノハナイガ、總理大臣ハ失禮ダガ六年モ七年モ一ツノ願書ガ土用干
ノ六度モシタ事實ヲ御承知ハアルマイ、斯ウ云フコトハ能ク取調ベテ港ノコトナドハ共ニ
俱ニ力ヲ入レテ、政友會ノ諸君モ御承知ノ如キ此次ノ議會マデハ政府モ諸君ノ満足
スルヤウニ、即チ政友會ノ諸君、多數國民ノ満足スル案ヲ出スト云フ御話デア、ツレ
ヲスルニハ第一ニ役所カラ定メナケレバモ往カヌト思ヒマスガ、之ヲ付テ政府ノ所見ガ
定テ居ラナケレバ御定メ下サイ、マダ混沌タル中ナラ混沌タルコトヲ知ラセテ戴キタイ、之
ダケノ私ハ御問デス

（内閣總理大臣侯爵桂太郎君登壇）

○内閣總理大臣（侯爵桂太郎君） 守屋君、今ノ一番初メノ問題ヲモウ一遍繰返シ
テ……

○守屋此助君 一番初メハ「バナマ」運河ガ出來タナラバ、ツレニ應ズル國策如何
○内閣總理大臣（侯爵桂太郎君） 分リマシタ、唯今守屋君ヨリ五箇條ヲ舉ゲラレマ
シテ御質問ガゴザイマシタ、第一ハ唯今推シテ御問ヲ致シマシテ、御答ヲ受ケマシタ「バ
ナマ」運河ガ開ケタナラバ、日本ハドウシテ居ルカ、斯ウ云フ御質問デアリマス、ダカラシ
マシテ、橫濱ノコト及神戸ノコトヲ政府ハ致シテ居ルノデゴザイマス、第二ハ
大湊、此問題ハ未ダ決定ヲ致シテ居ラナイノデ、第三ハ自由港、是ハ自由港制度ト云
モノハ置イテナイ、併ナガラ此稅關假置場ノ制度ト云フモノガアルノデアリマス、關稅ヲ
拂ハシメテ外國ノ貨物ヲ假ニ陸上ヲナシテ、仲繼貿易ノ便利ヲ圖ルコトハ今ナシテ居
ノデ、自由貿易云々ト云フコトハ、マダ日本ノ制度デアリマス、ツレカラ第四、是ハ唯今其
方法ヲ執ルカ、或ハ執ラザルカト云フコトニ付テハ、政府ニ於キマシテ考案中デアリマス
（笑聲起ル）第五、官省ノ不統一ト云フ大體ノ御質問デアッタヤウニ承リマシタ、是ハ港
灣築港ノコトハ内務省ガ管轄シテ居ルノデアリマス、決シテ不統一ニナッテ居リマセヌ（守
屋此助君）大藏省ハ如何ニト呼フ（ダカラ稅關ノ關係ニ依リマシテ、大藏省ガ依託ヲ
受ケテヤテ居リマス、決シテ不統一デハナイノデアリマス

○菅原傳君 本案モ建議ノ趣意ハ其說明ノ通り、而シテ又大岡君ノ演說ニ依ッテ明
瞭デアリマス、之ニ對シテ桂總理大臣ハ大體同意ヲ表シ、相當ノ計畫ヲ立テ本問題ノ
解決ヲ圖ルコト云フコトヲ言明セラレタデアリマス、既ニ政府ノ方針明確ナル以上ハ之ヲ
更ニ委員ニ付託シテ調査スルノ必要ナシト認ムルデアリマスカラ、直ニ即決確定アラ
ンコトヲ望ミマス

（贊成々々ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 滿場御異議ガナイト認メマス、御異議ガナケレバ滿場一致
ヲ以テ可決致シマス——日程變更ノ動議ガ提出サレテ居リマス、此場合ニ明治四十
年度歲入歳出總豫算追加案第四號、ツレカラ印紙稅法中改正法律案、煉乳原料
砂糖稅法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此三案ヲ議事ニ上セタイト云フコトニ
御異議ハアリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナケレバ議事日程ヲ追加シテ、此三案ヲ議事ニ付
シマス、先ヅ第一ニ明治四十四年度歲入歳出總豫算追加第四號ヲ議事ニ付シマス、
委員長原敬君

（第四號）明治四十四年度歲入歳出總豫算追加

（原敬君登壇）

○原敬君 明治四十四年度歲入歳出總豫算追加第四號ニ付テ委員會ノ審查並ニ
結果ヲ御報告シマス、此案ハ極メテ簡單ナル案デアリマス、第一ハ先般本院ニ於テ可
決相成マシタ地租徵收手数料千分ノ七ヲ與ヘルト云フコトニナリマシタガ故ニ、其費
用ヲ請求シタデアリマス、次ハ東京ノ西ヶ原ニ於ケル蠶業講習所及農事試驗場附屬
建設物ガ燒失致シマシタニ付テ、再ビ之ヲ建アルトコロノ費用デアリマス、委員會ニ於
テハ何等ノ議論ナク可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○議長（長谷場純孝君） 明治四十四年度歲入歳出總豫算追加第四號——御異
議アリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通り本案ハ是ニテ確定致
シマス、印紙稅法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ議題ト致シマス、委員長岡田泰藏
君——煉乳原料砂糖稅法中改正法律案モ委員長ガ同一デアリマスカラ同時ニ報
告致シマス

○岡田泰藏君 御報告致シマス、印紙稅法中改正法律案ハ審議ノ未政府當局ト
能ク協議ヲ致シマシテ、更ニ修正ヲ致シタ次第デアリマス、其修正ハ現在アリマスル外ニ
印紙ヲ貼用シナイモノトシテ、運送契約ニ據ラナイトコロノ深狀、ツレカラ請取書營業
ニ關係ノナイ請取書ハ印紙ヲ無貼用ノコトニスル、賣買仕切書營業者デナイモノニ對シ
テ發スル場合ノ仕切書ハ印紙ハ貼ラナイ、斯様ニ致シマシテ現在ノ印紙法ノ缺點ヲ先
ヅ補足スルニ足ルト信ジマシタノデ、委員會ハ全會一致テ斯様ニ修正可決致シマシタ、
次ニ煉乳原料砂糖稅法中改正法律案デアリマスガ、是ハ四十一一年ノ四月一日ニ

（岡田泰藏君登壇）
煉乳原料砂糖稅法中改正法律案（山本
第一讀會ノ續（委員長
報告）
第二郎君外三名提出）

（岡田泰藏君登壇）
第一讀會ノ續（委員長
報告）
第二郎君外三名提出）

（岡田泰藏君登壇）
第一讀會ノ續（委員長
報告）
第二郎君外三名提出）

（岡田泰藏君登壇）
第一讀會ノ續（委員長
報告）
第二郎君外三名提出）

（岡田泰藏君登壇）
第一讀會ノ續（委員長
報告）
第二郎君外三名提出）

實施セラレタ法律アリマシテ、本年ノ七月十六日限リ效力ヲ失フアリマス、所ガ是モヤハリ尙保護ヲ要スルノデ、此際此部面ノ補助ヲ致サネバ當該事業家ノ途ガ發展セナト云フ譯アリマス、是モ政府ノ意見ヲ採リマシタ、能ク考テ聽キマシタ末、政府モ異論ノナイコト、シテ此附則ノ第二項ヲ取消シマシタ、尙七月十六日以後ニ效力ヲ持ツト云フコトニ可決致シマシタ、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 先ツ印紙稅法中改正法律案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ議題ニ供シマス

○菅原傳君 本案ニ對シテハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定セラレンコトヲ望ミマスカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

印紙稅法中改正法律案

確定稿

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ委員長ノ報告、即チ修正ノ通リ第二讀會ニ於テ決定致シ、三讀會ハ省略致シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、次ニ煉乳原料砂糖稅法中改正法律案

○菅原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定アラント望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

煉乳原料砂糖稅法中改正法律案

確定稿

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定致シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第十一、南極探檢事業國庫補助ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、提出者小久保喜七君

第十一 南極探檢事業國庫補助ニ關スル建議案(小久保喜七君外二名提出)

南極探檢事業國庫補助ニ關スル建議案

南極探檢事業國庫補助ニ關スル建議案

日本南極探檢隊ニ對シ國庫ヨリ相當ノ補助アラムコトヲ望ム

右建議ス

(小久保喜七君登壇)

(拍手起ル)

○小久保喜七君 會期切迫ノ折柄デゴザイマスルガ、此問題ノ關係者ハ大隈伯デゴザイマスルシ、免ニ角國庫カラ金ヲ出シテ呉レト云フコトデゴザイマスレバ、大體ノ筋ダケハ申上ゲマスルノガ諸君ニ對スル禮ト考ヘマシテ、其大體デケラ數分間申上ゲマスルカラ

御清聴ヲ願ヒマス、此問題ニ私ガ關係致シマシタノハ何時デアッタト云フト、實ハ昨年ノ八月ノ朔日頃デゴザイマシタ、佐々木安五郎君カラ八月三日、四日、五日ト錦輝館ニ於テ是ニ同情ノ演說會ヲ開クカラ出テ呉レト云フコトデ、私ハ出席致シマシタ、其當時ハ丁度豫算ノ四五萬圓ト見テ朝日新聞ガ募集シテ、海軍省カラ磐城艦ガ借リラレルカ、借リラレヌカト云フトキデアッタ、故ニ私ハ此演說會デ磐城艦ガ借リラレヌト云フ場合ニハ、必ズ此冒險者ノ人ミト云フモノハ、磐城艦ガ借リラレナケレバ、何デモ宜イカラ出發スルト云フヤウナ考ヲ起スデアラウ、若シサウ云フコトデアッタナラバ、實ニ氣ノ毒デアルガ故ニ、免ニ角死ヲ決シタ仕事デアルカラ、若シ磐城艦ヲ海軍省デ貸サナカッタラ更ニ四萬圓ノ上ニ五萬圓ナリ、十萬圓ナリ募集シテ、出發ノ日限ヲ延バシテモ宜イカラ十分ノ劃策ヲ爲サルガ宜イト云フコトヲ演說シマシタ、サウ致シマスルト翌日ノ新聞ヲ見マスルト、三宅雄次郎氏ヲ初メ私ノ演說ヲ攻撃致シマシタ、凡ソ事ト云フモノハ用心用心デハイカヌ、決心ガ第一デアル、磐城艦ガ借リラレナケレバ、小舟デモ宜イカラ、今月中ニ出發スルト云フ演說ヲシタト云フコトヲ私ハ聞キマシタ誠ニ悲ミマシタ、後援會ノ人ミガ此ノ如キ議論ニ動かサレテハイカヌ、自分ノ力モ萬一必要ノ場合ニハ勞ヲ惜マズ貸シマスカラ、必ズ磐城艦ヲ貸サナカッタナラバ、日限ヲ延バシテモ十分ノ設備ヲシテ出發セシメルガ宜イト云フ私ハ考ヲ申送リマシタ、其後其儘ニナッテ居タノデゴザイマスルガ、丁度十二月二十九日ニ出發ト云フコトヲ私ハ聞キマシタ、出發ヲ聞キマシタガ、佐々木君カラノ通知ニ據リマスルト僅カ二百噸ノ船デト云フコトデ、私ハ此トキ又心配ヲシタ、二百噸ノ船デ南極マデ能ク往ケルデアラウカ、ドウセ死ヲ決シタノデアラウガ、萬一房州沖トカ、或ハ鹿島沖トカ死ヌヤウナコトガアッテハ誠ニ氣ノ毒デアルト云フ考ヲ持ッテ居リマシタトコログ、二月十三日頃ニナリマシタ、同月八日「ニュージョーランド」ニ著イタト云フ通知ヲ得タトキニハ實ニ私ハ喜ンダ、偕テ之ヲ喜ンデ四五日過ギマスルト、此議員中ノ此事件ニ關係ノアル人ミ、五ハ人ミアリ、私ニ相談ガアッタ、君モ大分心配ヲシタガ、君ノ思フ通り隨分設備ヲシテヤッタ、併ナガラ設備ハシテヤッタガ、實ハ出來ルダケノ仕事ヲシテ出發ヲサセタノデ、此後ノ必要ナ金ト云フモノハ一文モ準備ガナイノデアル、ドウスルトモ出來ナイノデアル、而シテ事業ガ事業デアルガ故ニ、是ハ國家カラ多少ノ補助ヲシテモ宜イト考ヘルガドウデアルト云フコトノ私ハ相談ヲ受ケタ、而シテ初メテ私ハ演說ニ出ルトキニ此考デアッタノデカラシテ大隈伯トモ會見ヲ致シテ、能ク「聽イテ見マスルト、全ク設備ハ十分デアッタノデゴザイマス、ナカク」注意シタ設備デアゴザイマス、ソレデ此船モ十分ニ設備ヲ致シマシタ發セシメタノデアル、而シテ横濱カラ此「ニュージョーランド」マデ五千哩「ニュージョーランド」カラ南極圈內ノ一番近イ「エトリッド」灣マデ二千哩餘ト云フコトデ、此計畫ハ愛マデ行テ此「エトリッド」灣カラ極地マデ行クニ或ハ進ミ、或ハ止ッテ、其往復一年ト見テ來年ノ二月ニナッテ更ニ三船ヲコチカラ迎ヘニヤルト云フ計畫デアゴザイマス、ソレデ此度行ッテ船ト云フノハ氷海ニ入ルノデカラ心ズ破壊スル故ニ、少クトモ今度ダケノ設備ヲ船掛ケナケレバナラヌ、又此間ノ遺族ノ費用ノ外種々費用ガ隨分計算シテ見レバアルノデゴザイマスルガ、實際ノトコログ今日ハ此コトニ對スル費用ト云フモノハナイノデアル、此先ドウシテモ義捐ヲ募ラナケレバナラヌノデアルガ、此義捐ヲ募ルニ付キマシタモ去年ノ水害以來容易ニ募ルコトガ出來ナイ場合デアルト云フコトヲ大隈伯カラ私ハ明カニ聽イタノデアリマス、明カニ聽イテ私ハ此議論ニ贊成ヲ致シタ、贊成ヲ致シタ結果ガ私ガ本問題ヲ提出スルノデゴザイマス、所デ大體此問題ノ性質ガドウデアルト云フコトヲ見マスルト、成程此問題ニ向ッテハ無謀デアル、或ハ輕舉デアル、或ハ虛譽心カラ出タト

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ議長指名ノ特別委員九名ニ本案ハ付託スルコトニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 日程第十二、初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ増加スルノ建議案ヲ議題トナシ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス(提出者村松龜一郎君)

第十二 初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ増加スルノ建議案(村松龜一郎君外三名提出)

初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ増加スルノ建議案

初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ増加スルノ建議案

初等教科書中政治、法律、經濟等ノ事項ヲ増加シ以テ兒童ヲシテ政治的智徳ヲ涵養セシムヘシ

右建議ス

(村松龜一郎君登壇)

○村松龜一郎君 諸君、頗ル會期ガ切迫致シタ場合ニ此ノ如キ問題ヲ提出致シマス。タノハ甚ダ相濟マスノデアリマスガ、實ハ疾カラ考ヘテ居リマスガ、イロ／＼調査モ致シ、又當事者トモ相圖ル等ノ手續ガアリ、若ハイロ／＼ノ差支ガゴザイマシテ、ツイ今日ニ至ツタノデゴザイマス、併ナガラ私ハ重大ノ問題ト考ヘマスカラ、ヤハリ會期ハ切迫致シマスニ拘ラズ、是非今日ハ諸君ノ公平ナル御採決ヲ得タイ、斯様ニ感シマスシテ之ヲ提出致シマス。タノデゴザイマス、本問題ノ内容ハ初等教科書中ニ政治、法律、經濟ニ關スル事項ヲ増加シ、以テ兒童ヲシテ政治的智徳ヲ涵養セシムベシト云フデアリマス、至ッテ簡單ナモノデアリマス。ケレドモ、是ハ今日ノ文部省ノ取ツテ居ラレマスルコトノ教育ノ方針ニ一ノ改革ヲナサウト云フ考ガ、此中ニ籠ッテ居ルデアリマス、今日マデ文部省ノ教育ニ對スル方針申シマスルモノハ、彼ノ小學校ノ教科書若バ修身書即チ教師用ノ修身書、其他等ヲ通讀致シテ見マスルノニ

(此時議長長谷場純孝君退席、副議長肥塚龍君議長席ニ著ク)

○村松龜一郎君 第一軍人ヲ作ルコトガ、頗ル周到綿密ニ出テ居リマス、所謂軍國ノ民ヲ作ルコト云フコトガ、頗ル周到綿密ニ出テ居リマス、是ハ惡ルイコトデナイ、誠ニ結構ナコトデアリマス、ソレカラ家族の親和ヲ計ルコトニ於テ又可ナリ其ク書イデアリマス、是モ誠ニ結構ナコトデアリマス、ソレカラ近頃ニナリマスシテ戊申詔書ノ御發布以來、産業ノ方面ニ民心ヲ向ケ、所謂産業ノ民ヲ作ラントスルコトニ精、力ヲ致サユデアリマス、是ハ獨リ文部省ノミナラズ、内務省其他ニ於テモ盡サレテ居ルヤデアリマス、是又甚ダ結構ナコトデアリマス、本員深クモ稱讃スルコトコロノモデアリマス、所ガ獨リ大ニ缺ケテ居ル、頗ル其方針ガ誤ッテ居ルコト云フノハ、立憲政體ノ治下ニアル國民ニ政治ノコトヲ教ヘルコトガ、甚ダ粗デアル、粗ノミナラズ私ノ見ルトコロデハ寧ロ此方面ニハ國民ノ知識ヲ近ヅカシメナイト云フ位ノヤウニ見エルトデアリマス、是ハイロ／＼歴史ノアルコトデゴザイマスガ、明治政府以前ハ申スマデモナク、全ク民ヲシテ據ラシムベシ知ラシムベカラズト云フ方針デアッタデアリマスガ、其後明治政府ニ至リマシテモ、ヤハリ此意味ヲ襲踏シテ彼ノ明治七年板垣伯ノ民選議院建設ノ建議ノゴザイマシタ以來、一時政治ノ方面ニ民論ガ勃興致シマシテ、終ニ明治十二三年頃ニ至ッテ幾ド其極ニ達シタ、其場合ニ有名ナル集會條例ナルモノヲ發布致シマシテ、ソレカラ終ニ此教育ニ從事シテ居

云フヤウナ、種々ナ非難ヲ致シマスガ、私ハドシテ非難スル人デモ此事業ニ向ッテ否認ノ出來ナイコトガ、數點アラウト考ヘル、第一ガ免ニ角歐米人ガ競ウテヤルトコロノ南極探検ニ向ッテ、大和民族ガ其競爭ノ中へ入ッタト云フ事實ハ決シテ私ハ是ハ否認スルコトハ出來ナイ、又日本ノ名譽デナイト云フコトハ決シテ私ハ出來ナイト考ヘル、又第二ニ此事件ト云フモノハ決シテ冗戲デハ出來ル事件デハナイノデアル、死ヲ決シタ事件デアルト云フコトモ、何人モ否認ハ出來ナイ、又第三ニ縱シ學者ガナイニシタトコロガ、斯ウ云フ道ヲ行ケバ南極ニ行ケルト云フデケラ知ラセムデケデモ、此事件ト云フモノハ國家ニ利益デアル、況ヤ私カラ言ハシムレバ縱令ドシテ此氣象ノ具合、寒氣具合或ハ化石ニナツタモノヲ持ッテ來ルトカ、其所ノ鳥獸ヲ持ッテ來レバ、學術ノ上ニ幾分ノ利益ガナイト云フコトハ斷シテ私ハ出來ナイト考ヘル、又第四ニハ此事件ガ學者ヲシテ跡カラ附カセル原因トナル、實ハ學者程弱イ者ハナイ、今回モ學者ガ一緒ニ行ク積リデアッタガ、二百噸ノ船ト云フノデ額ハ上ッテ學者ガ行カナクナツタ、二百噸ノ船デ南極ヘ行ッテ、而モ一年間掛ッテ生キテ來タト云フナラバ、是カラ怖クナイカラ學者ガ續々研究ニ行クノダラウト思ヒマス、第五ニ日露戰爭以後ノ日本ノ有様ト云フモノハ私ガ言フマデモナク、殆ド人心ト云フモノガ、淫靡ノ風ガ熾シニナツタ、此淫靡ノ風ヲ矯メントスレバ、冒險事業ヲ鼓吹スルト云フコトハ是又決シテ不利デアルト云フ議論ハ出來ナイト信ヒマス、次ニ第六デ、此日本人ハ暖國ヘ行ッテハ大分仕事ヲシタト云フ例ガアルガ、寒國ヘ行ッテ仕事ヲシタト云フ例ハ、僅ニ間宮宗倫ガ樺太ニ行ッタト云フニ過ギナイ、然ルニ此連中ガ方ニモ南極マデ行ッテ歸ッテ來タト云フ場合ニハ、其大和民族ガ寒氣ニ耐エルト云フコトヲ知ラセムデケデモ、私ハ非常ナ利益デアラウト考ヘル(拍手スル者アリ)此ノ如ク南極事件ト云フモノハ國家ノ利益ニナルモノデアル、此際諸君ニ私ガ特ニ御記憶ヲ請ハナケレバナラヌノハ、此問題ハ日本ヨリハ歐米ガ甚ダ評判ガ熾シデアル、ソレハ何故ト云フニ日本ノ偉人ノ大隈伯ガ關係ヲシテ居ルト云フコト、大和民族ガ南極探検而モ近イ所ノ北極探検ニ加入ノ出來ナイ大和民族ガ、南極探検ニ加入シタト云フ上カラ、歐米デハ噴キトシテ居ルノデアリマス、然ルニ來年二月ニ至ッテ日本カラ船ヲ出スコトガ出來ズ、縱シ出シテモ甚ダ其設備ガ惡ルイガタメニ途中デ沈没シテ、英吉利ノ探検隊ニ救助デモサレバヤウナ場合ガアツタナラバ、諸君、實ニ日本ノ面目ハ私ハ潰レタト言ハナケレバナラヌト考ヘル、私ハ幾ラ此費用ヲ出セト云フノデアリナイガ、能ク當事者ノ大隈伯ト協議シテ必要ノ金ハ出スノガ至當ト考ヘル、況ヤ之ガ其世界ニナイ例ナラバ、私ハ此建議案ハ出シマセヌガ、爰ニ二ツノ例ヲ終リニ臨ンデ諸君ノ御參考ニ供シマスノハ、英國デ去年「スコット」ガ南極探検ニ參リマストキニハ、二十萬圓ノ補助金ヲ與ヘ、又善良ナ學術機械ヲ與ヘ、又船ニハ海軍軍人ヲ現職ノ儘船ニ乗セテ之ヲ送ッタト云フ例ガアル、又近頃聞キマスレバ獨逸ニ於テ「フィルヒネル」中尉ガ南極探検ノ企ツ爲メ、獨逸政府ハ、百二十萬馬克ノ補助ヲ與ヘルト云フ承諾ヲ與ヘタト云フコトヲ私共ハ聞イテ居リマス、以上申上ケル如ク、此事件ト云フモノハ關係ノ第一ニ居ルモノガ、日本ノ偉人タル大隈伯ニシテ、其事業ノ性質ガ國家の事業デアッテ、而シテ獨逸デモ英吉利デモ之ニ補助シタト云フ例ガアリマス以上ハ、當然之ニ補助スルノガ至當デアラウト確信致シマシテ、遂ニ御贊成ヲ請フニ至ツタノデゴザイマス

(拍手スル者アリ)

○松田源治君 本案ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

リマスル側ニ向テハ痛ク政論ヲ禁ジテ、學生ハ申スニ及バズ、教員ノ方面ニ至リマスマテ、務メテ政治ノ方面カラ離隔スルコトヲ計タノデアリマス、ソレハ明治十二三年頃ノ政府ハ或ハ多少害ガアツタカモ知リマス、其害ヲ——多少ノ害ヲ及ボシテ其反動ニ痛ク之ヲ禁ジテ、一切口ヲ政治ノ方面ニ禁マセ、及至其方面ニ入レシメザルヤウニシタト云フコトハ、本員ノ喋々後タナノデアリマス、御列席諸君ノ既ニ御經驗ナルコト、信ジマス、其餘波デアツテ、今日此教科書中ニドウ云フコトヲ此政治ノ方面ニ於テ書イテアルカト云フト、僅ニ此尋常小學讀本ノ第十二ノ第二十四課ニ大國民ノ品格ト云フコトガアル、其次ニハ第二十五課ニ自治ノ精神ト云フコトガアル、其次ニ第二十六課ニ帝國議會ト云フコトガアル、是ダケアリマス、其他見當ラヌノデアリマス、土臺教育ノ方針ノ中ニ政治ノ思想ノ涵養ヲスル考ガナクテ作タタコノ教科書デアルガ故ニ、縱令多少ノ政治上ニ關スル事柄ガ多少加味シテアツテモ、教員ノヲ教授スル間ニ一切此精神ト云フモノヲ入レテ教授スルノデアリ、單ニ申譯ノ讀本ノ中ニ書イテアルガタメ、唯教授スルコトニ云フダケニ過ギヌノデアリ、此ノ如キコトハ憲法發布以前ト以後トニ於テタント變リハナシ、即チ今日モ唯今申述ベタ通りノコトデアリ、尙甚シイコトハ或學校ハ年々擬國會ノ如キモノヲ開イテ——是ハ、小學校デアリマス——開イテ、サウシテ辯論ヲ練習シ、若ハ政治上ノ知識ヲ得ヤウト云フ考デ擬國會等ヲ開イタル所ガ隨分アル、民間ノ政治家モ一緒ニナツテアルト云フ如キ例モアツタノデアリ、所ガ昨年文部省ハ之ニ向テ民間ノ政治家ト相寄リテ擬國會ヲ開イテハ相成ラヌ、擬國會ヲ開クト云フナラバ、學校内ニ於テ開クト云フナラバ、時事問題ニ關係セザルモノヲ選ンデ其議題トナセト云フ訓令ヲ發シタト云フコトヲ聞イテ居リマス、實際ハ存ジマセウガ、サウ云フ評判ヲ聞イテ居ル、此ノ如キ譯デ、即チズト高等ノ學生ニ向テモ、此ノ如キ政治上ノ思想ノ涵養ニ向テ、壓迫ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ申スマデモナク、即チ我帝國ハ全ク此立憲國デアツテ、吾ハ立憲國ノ民デアリ、申スマデモナク明治初年ノ御誓文ニ所謂萬機公論ニ決スト云フ、廣ク會議ヲ開キ、萬機公論ニ決スト云フ有名ナル御誓文、是ハ即チ國民ノ輿論ガ直ニ大御心トナツテ、即チ吾々ヲ統治セラルノデアリ、此御精神ヨリ所謂此憲法ヲ發布セラレマシテ、具體的ニ此議會ナルモノヲ開カレタノデアリマス、致シマスレバ國民ノ輿論ト云フモノガ、此議會ノ精神トナレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイガ、其輿論ナルモノガ、若モ薄弱ナル政治ノ思想、淺薄ナル政治ノ智能、輕浮ナルトコロノ政治の道德ノ下ニ開カレマシタナラバ、如何デゴザイマセウ、決シテ此國民ノ輿論ト云フモノヲ根據トスル政治ト云フモノハ健全ニ行ハレナイト云フコトハ申スマデモナイコトデアツテ、之ヲ健全ニ行ハシメントスルニハ、ドウシテモ國民ノ政治的思想ヲシテ飽マデ豐富ナラシメンケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリ、其能智ヲシテ飽マデ豐富ナラシメヌケレバナラヌト思フノデアリ、其政治の道德ニ於テ飽マデ隆盛ナラシメヌケレバナラヌト思フノデアリ、然ルニ今日ノ如キ文部省ノ方針デ、僅ニ是ダケノモノヲ教科書中ニ置イテ、而シテ教員其意ヲ受ケテ誠ニ冷淡ニ唯此處ニ書イテアルトコロダケヲ生徒ニ示スト云フコトデハ、如何ニシテ此日本ノ國民ヲシテ眞ニ立憲國民タラシメルコトガ出來マセウカ、私ハ誓フテ出來ナイコトデアリ、信ズルノデアリマス、若シ文部省ニ於テ眞ニ立憲國民ヲ造ラント致シマシタナラバ、澤山方法ガアルノデアリ、修身ノ中ニ此政治上ノ知識ヲ發達セシムベク之ヲ結合シ、若ハ日本ノ歴史ヲ教ヘル間ニ其歷史的結合ヲシテ之ヲ教ヘテ、或ハ地理若ハ算術其他總テノモノニ向テ、ヤハリ軍國ノ民ヲ造ルコトニ熱心ナルガ如ク、立憲國ノ民ヲ造ルコトニ方針ヲ定メテ、各教科書ニ之ヲ綴リ、各教員ヲシ

テ之ヲ服膺セシメルト云フコトニセンケレバナラヌノデアリ、一例ヲ舉ゲテ申セバ二月十一日、即チ紀元節、此紀元節ハ如何ナル日デアリカト云ヘバ、紀元節ナル賀節ナルト同時ニ、即チ千載不磨ノ大典ヲ布カレタトコロノ賀節デアリ、此ノ如キ日ヲ利用シテ學校ニ生徒ヲ集メ、其他ニ人民ヲ集メテ、憲法發布ノ勅語ヲ朗讀セシメテ、サウシテ聖慮ノアルトコロハ人民若ハ兒童ニ示シテ、徐ロニ之ヲ教養致シマスレバ、是ハ昔年ナラズシテ政治的智徳ガ發達シテ來ルデアラウト思フ、要スルニ今日ノ如キ有様ニ抛擲シテ置キマシテハ、到底完全ナル立憲國民ヲ涵養スル途デアナイト本員ハ確信シテ止マヌノデアリマス、即チ本案ヲ提出致シマシタ所以ハ是デアリマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハアリマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ其通り致シマス、日程第十三、國設模範製絲所創設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス——提出者森國造君

第十三 國設模範製絲所創設ニ關スル建議案(森國造君提出)

國設模範製絲所創設ニ關スル建議案

今ヤ百般ノ工業ニ對シ保護獎勵ノ政策ヲ採ラサルモノナシ然ルニ海外輸出品中最大首班タル生絲ニ限リ工業上殆ト自然ニ放任セラレタルハ實ニ國家ノ一大缺典ト謂ハサルヘカラス斯業ノ消長ハ直ニ國家經濟ニ甚大ノ影響ヲ與フルモノナリ獎勵ノ爲模範製絲所ヲ國設スルノ要ヲ認ム依リテ政府ハ相當ノ計畫ヲ立テ次年度ヲ期シ斯業研鑽ニ至便ナル濱濱港ニ之ヲ創設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔森國造君登壇〕

○森國造君 議題ニナツテ居リマストコロノ此國設模範製絲所ニ關シマスル建議案ヲ簡單ニ說明致シマス、曩ニ本期議會ニ於キマシテ蠶絲業法案ガ議決ニナリマシテゴザイマスガ、彼ノ蠶絲業法案ハ全ク此蠶種ト蠶病豫防ニ關シマシテノ取締ダケヲ規定致シタノデアリマシテ、此製絲業ノ方面ニ對シマシテハ更ニ何等規定ガゴザイマセウ、而シテ此當時我國ノ蠶絲業ハドウ云フ有様デアリカト申シマスニ、實ニ非常ナル進歩ヲ致シテ居ルノデアリマシマス、之ニ對シマシテ勿論中央ニハ蠶業講習所モゴザイマシマス、地方ニ於キマシテハワレト、養蠶學校等ノ設ガゴザイマシテ、凡ソ漸次我國ハ此蠶絲業ノ教育關シマシテハ、百何十箇所ノ教育機關ガ備アテ居ルヤウナ次第デ、隨分國家ト致シマシテハ養蠶業ノ方面ニ非常ニ力ヲ盡サレタルノデアリマシマス、ソレデ養蠶業ノ教育ヲ各國ト對照シマスと云フト、先ヅ本邦ガ世界デ一番盛ンデアルヤウデゴザイマス、斯様ナ一方養蠶業ニ對シマシテ種々ノ設備ガアリマスニ拘ラズ、此製絲業ニ對シマシテハ現時殆ト何等ノ設備ガナイノデアリマシマス、即チ此製絲業ニ對シマシテハ、自然ニ放任致シマシテ更ニ顧ミテナイノデアリマシマス、畢竟製絲業ハ養蠶業ニ對シマシテテダラガ容易イノデアリカ、私ノ信ジマスとコロデハ無論養蠶業ヨリハ製絲業ノ方ガ非常ニ困難デゴザイマス、所謂製絲業者ハ生絲ヲ製シマスと云フ所謂工業上ノ位置ト、又生絲ヲ問屋ヲ介シマシテ外

國人ヲ相手ト致シマシテ、之ヲ販賣シナケレバナラヌ、即チ賣却上ニ付キマシテ幾多ノ困難ガアルノデゴザイマス、斯様ナ次第デゴザイマスカラ、此製絲業家ハ随分此資本トツレドノ知識トヲ要スル點於テハ、遙ニ養蠶業ヨリハズト困難ナモノデアルト、私ハ確信致スモノデゴザイマス、ソナヤウナ次第デゴザイマスカラ、本邦ハ甚ダ此製絲業ノ方ニ對シマシテハ、殆ド自然放任デハゴザイマスガ、佛蘭西ノ國ノ如キハ非常ニ養蠶等ヨリハ製絲業ノ方面ニ對シマシテ非常ニ保護獎勵ヲ厚ク致シテ居ルノデゴザイマス、且本邦ノ此生絲ハドンナ狀況デアアルカト申シマスニ、此佛蘭西ノ絲ニ對シマシテ、非常ニ劣等デアアルノミデゴザイマス、又伊太利ノ絲ニ對シマシテモ、今日非常ニ劣等デ居ルノデゴザイマス、又隣邦ノ支那上海ノ生絲等ニ對シマシテモ、非常ニ我が本邦ノ生絲ノ方ノ價格ガ廉ウゴザイマシテ、殆ド其比較ニナラヌノデゴザイマス、何故ニ斯様ニ廉イカ、何故ニ劣等デアアルカハ、要スルニ製絲所ニ於キマシテノ技術ト云フモノガ甚ダ拙劣デアアルカラデゴザイマス、又製絲業ノ知識ト云フモノガ、甚ダ幼稚デアアルカラデゴザイマス、ソレデ此ノ本邦生絲ガ製絲技術ノ甚ダ幼稚ナルガタメ此賣却上ニ於キマシテ常ニ外國人ニ廉ク賣却セネバナリマセヌガ、凡ソ此損害ヲ普通ニ見積リマシテ——格段廉ク賣却テ居ル結果、ドノ位ヅ、日本ガ損ヲシテ居ルカト云フコトヲ私ガ概算致シテ見マスルノニ、現時約一千三百萬圓位ハ技術ノ拙イガタメニ我邦ハ損ヲ致シテ居ルデアリマス、要スルニ此九貫目一箇ニ對シテ約五十圓程確ニ廉イノデゴザイマス、現時本邦ノ輸出ノ高ハ二十六萬箇デゴザイマスルカラ、一箇五十圓ヅト致シマスレバ、通計一千三百萬圓ノ損トナル次第デゴザイマス、斯様ナ狀況デゴザイマスルカラ國家ハ此製絲業家ノ有様ヲ傍觀シテ居リマシテ構ハスト云フコトガ出來ルデゴザイマセウカ、如何ナルモノデゴザイマセウ、若シ之ヲ構ハスト云フノデゴザイマシタラバ、所謂殖産興業ト云フモノニ向ツテ甚ダ不親切ナルモノト思ヒマス、又國富ノ減損ヲ一向ニ顧慮シナイト云フモノデゴザイマス、私ノ此國設模範製絲場ヲ建議致シマシテ趣意ハ、所謂此一大缺點ヲ補ハウト思フガタメデゴザイマス、私ハ是ヨリ此統計上ト海外ノ市況トヲ簡單ニ陳述致サウト思ヒマス、此本邦ノ生絲輸出ハ明治四十一年度ハ丁度二十萬四千八百三十箇デゴザイマシテ、此代金一億八百六十一萬圓餘デゴザイマス、四十二年度ニ於キマシテハ二十三萬七千餘箇デ此代金一億二千四百二十四萬圓餘、四十三年度ハ二十六萬三千餘箇デ、此代金一億三千八百八十三萬圓餘デアリマス、所謂其有様ハ駭々トシテ増加シテ居リマシテ、將ニ此近キ將來ニハ二億ニ達スルコト云フヤウナ見込ハ先以テ外レナイコトデアラウト私ハ信ジマス、併シ此統計ハ成程金額ハ漸次増加ノ一方デゴザイマス、諸君此生絲其モノハドウデアアルカト云フニ、更ニ進歩發達致シテ居ラヌノデゴザイマス、殊ニ伊佛及上海ノ機械生絲ナドト對照スルコトキハ、大ニ遺憾ノ念ガ浮ブノデゴザイマス、試ニ此海外ノ市況即チ四十二年八月ノ伊太利「ミラン」市場ノ相場ヲ見マスルニ、伊太利生絲優等飛切ハ九貫目一箇ニ對シテ七百七圓ノ相場デゴザイマシテ、本邦ノ細飛切優等ハ八百二十八圓デアリマス、故ニ此減差ハ九貫目一箇ニ對シテ高イト云フノハ、所謂伊太利ノ金黃種ヲ以テ製シマシタ生絲デアリマス、又伊太利デハ本邦ト同様ニ白蘭毛澤山養蠶致シマスガ、此白蘭ヲ以テ原料トシテ作リマシタ生絲デモ伊太利ノハドレ程カト云フト、ヤハリ九貫目一箇ニ對シテ六百七十四圓デゴザイマシテ、ソレニ對シテ本邦ノ細ノ優等ハ六百二十八圓、是ハヤハリ純粹ノ白蘭ノ本邦ノ在來ノ種類デゴザイマスガ、ソレ挽上ゲタ本

邦ノ優等絲ガ六百二十八圓ニシカナリマセヌ、一方伊太利ノ白蘭ヲ以テ製絲致シマシタ機械絲ハ六百七十四圓、本邦デワレト同種類ノモノデモ六百二十八圓ニシカナラヌデアリマス、是亦ヤハリ比較上ニ於テ同種類ノ繭デアアルニモ拘ラズ、四十六圓餘ノ減差ガアルデアリマス、又更ニ支那上海ノ優等製絲ニ付テ比較ヲ致シテ見マスルニ、日本ノ絲ノ飛切ガ六百二十八圓デ、上海ノ機械製絲ノ方ガ七百七圓デアリマスカラ、是亦上海ノ絲ノ方ガ日本ノ絲ヨリハ一箇ニ對シテ七十八圓高イノデゴザイマス、何故ニ此ノ如ク本邦ノ絲ガ廉イカト申シマス、生絲ノ品質ガ全ク伊佛又上海ヨリ劣デ居ルノデゴザイマス、此品質ガ惡ルイガタメニハ羅歐巴ニ於キマシテハ殆ド此經絲ニ用井マセヌノデゴザイマス、現在ノ使用ハ日本ノ絲ハ主ニ經絲ニ用井ラレテ居ルノデゴザイマス、勿論此以前ハ「簡單々々」ト呼ブ者アリ經絲ニ用井ラレテ居リマシタガ、近年生絲ノ需用者即チ機業家ト云フモノガ、大ニ從前トハ其趣ヲ異ニシテ居リマシテ、此機業家ノ機ト云フモノハドウカト申シマス、工費ヲ節減スルガタメニ、從前ノ手織ノ機ト云フモノハ段々廢シマシテ、當今デハ主ニ此蒸氣力ニ依ルトコロノ機械ノ機ヲ用井ルコトニナツタデアリマス、此蒸氣力ノ機械ノ機ハ非常ニ此手織機ヨリハ運轉ガ迅速デアアルガタメニ、絲質ノ優等ナモノデナケレバ、經絲ニ使用スルコトガ出來ヌノデゴザイマス、若モ此品質ガ惡ウゴザイマシテ、本邦ノヤウナ絲ヲ以テ經絲ト致シマスルト非常ニ切斷ガ多イ、此切斷ノ多イトキニハ非常ニ勞力ト時間トヲ徒費スルガタメニ、機業家ハ勿論經絲ニハ使用セヌノデゴザイマス、諸君斯様ナ現況デゴザイマスルノミナラズ、此織物業ト云フモノハ時々變遷ガゴザイマシテ、時々流行ガ異ツテ參ルノデゴザイマス、主ニ目下ハ一本ノ絲即チ生絲ヲ撚ルコトヲ致シマセヌデ、其儘一本デ經絲ニ使フト云フヤウナコトガ、當時流行ッテ參ッテ居ルデアリマス、尙絲トシテハ非常ニ優等ナ絲ヲ要スルヤウニナツタ來タ、ソレカラ一本ノ生絲デモ多少撚ラ掛ケマシテ經絲ニ用井ルコトデアリマスガ、要スルニ斯様ナ機業界ニ於テ變遷ガアルノデゴザイマス、益々絲ト致シテハ經絲ニ用井ルノハ非常ニ結構ナモノデナケレバ使用スルコトガ出來ヌト云フヤウナ風ニナツテ參リマシタ、斯様ナ次第デアアル、伊太利ト佛蘭西ノ優等品ハ益々勉強ヲスルタメニ價格ハ益々高クナルデアリマス（モウヨシテ吳レト呼ブ者アリ）モウ少々デアリマス、ソレデ何故ニ斯様ニ本邦ノ絲ガ惡ルイト申スカト云ヘバ、其原因ハ大ニ研究シナケレバナラヌノデゴザイマス、此惡ルイマシテ、一ツノ原因ハ何デアラウカ、之ヲ研究シテ見マスルニ是ハ一ツノ大原因ガアルノデゴザイマス、一ツノ原因ハ言フマデモナイ本邦ノ原料即チ繭ガ非常ニ伊佛ノソレニ對シマスルト違フノデゴザイマス、即チ伊太利、佛蘭西ノ金黃種ヲ以テ主ニ原料ト致シテ居ル、我國ハドウカト申シマス、ヤハリ總テガ白蘭デゴザイマシテ、大ニ原料ガ違テ居ルコト云フコトガ一ツノ原因デアリマス、又モウ一ツノ大原因ハ本邦ノ機械ガ——生絲ヲ製シマスル機械ガ非常ニ伊佛ニ對シマスルト惡ルイノデアリマス、一方堅牢精巧ノ極メテ居ル機械デアアルニ、本邦ノハ非常ニ粗末ナモノバカリデアリマス、是ガ一大原因ヲ爲シテ居ルモノト私ハ確信シテ居ルノデゴザイマス、ソレガドウ云フ風ノ模様デアアルカト申シマス、御參考トシテ申上ゲヤウト思ヒマスガ「伊佛デハ主ニ四口取ヲ以テ——四口取以上七口取デゴザイマスノミナラズ、附屬鍋ト云フモノガゴザイマシテ、蒸繭ノ分業ト致シタリ絲繼ギモ亦分業トシテ居リマス、工女ハ間斷ナク其絲ヲ取テ始終一定ノ動作ヲ以テ絲ヲ取テ居ルデアリマス、其故ニ優等ノ製絲ヲシテ居リナガラ、工女一人ノ絲ノ量ト云フモノガ、平均八九十匁乃至百匁ニ達シマス、是ニ反シマシテ我國ノ機械ハドウデア

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様致シマス。日程第十四、常設美術展覽會設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ハ省キマス、提出者竹内正志君

第十四 常設美術展覽會設置ニ關スル建議案(竹内正志君外一名提出)

常設美術展覽會設置ニ關スル建議案

常設美術展覽會設置ニ關スル建議案

第二十六回議會ニ於テ衆議院ハ我カ帝國美術ノ發展顯揚ヲ期スルノ目的ヲ以テ常設美術展覽會設立ヲ建議セリ然ルニ政府ハ之ニ關シテ未タ何等計畫スル所アルヲ見ス蓋展覽會設立ノ緊要事タルコトハ愛ニ改メテ陳辯スルヲ要セス特ニ近ク明治五十年ニ開設セラルヘキ大博覽會ニ對シ之ニ資スル所ノモノ決シテ少ナラスト認ム依リテ政府ハ速ニ該建議ノ主旨ヲ實行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(淺羽靖君登壇)

(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○淺羽靖君 簡單ニヤリマス(笑聲起ル)本案ニ付キマシテハ諸君モ御承知ノ如ク數年來年々各派ノ諸君ヨリ一致ヲ以テマシテ、請願ハ通過ヲ致シ、又昨年ニ於キマシテハ尾崎先生、福井先生、其他各派ノ御贊成ヲ得マシテ、此衆議院ニハ建議案ガ通過致シマシタ問題デゴザイマスカラ、本年ハ尾崎先生ノ竹内提出議員ヨリ御話致シマシタガ、御都合上少シ御提出ニ相成兼ネマスルノデ、已ムヲ得ズ出シマシタ次第デゴザイマス、僅カリ此趣意ヲ申上ゲマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)御承知ノ如ク我國ノ美術ハ日本國粹ノ一デゴザイマシテ、歐米列國ノ美術ヲ以テ鳴ルコトハ固ヨリ論ヲ俟タザルトコロデアリマスガ、然ルニ我國ニ於テハ之ニ向テ獎勵ノ方法ガ歐米列國ノ如ク行届イテ居ルヤ否ヤ、之ヲ顧ミマスルト御承知置カレマス通り歐米デハ國トシテ、又其市トシテ、或ハ富豪トシテ美術ニ極力力ヲ盡シ、美術館ヲ設立シテ美術家ニ裨益スルノミナラズ、工藝上ニ利益ヲ與ヘ、是ガタメニ生産ノ發達ト云フモノハ多大ナルコトハ御承知ノ通り、又常設展覽會場ヲ設ケテサウシテ獎勵ヲ致シテ居ル、然ルニ遺憾千萬ナルコトハ我國ニ於キマシテハ如何デゴザイマセウカ、僅々一箇年ニ一萬圓ノ獎勵費ヲ國庫ヨリ支出シテ、サウシテ美術公設展覽會ヲ設ケテ獎勵ヲ致サレテ居リマスガ、此金額ハ暫ク論ゼザルモ、其公設美術展覽會ヲ開クトコロノ場所ハ如何デゴザイマスカ、不潔言フベカラザルトコロノ場所ニ於テ之ヲ公設展覽會場トシテヤッテ居ルデハゴザイマセウカ、之ヲ譬ヘテ見マスレバ恰モ絶世ノ美人ニ破レタル衣ヲ著セテ、公人稠座ノ中ニ引出サユナ有様デハゴザイマセウカ(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)美術界ノタメニ慨嘆セザルヲ得ヌ次第デアリマス、故ニ本案ヲ提出致シマシタ次第、昨年ハ幸ニシテ諸君ノ御同情ニ依テ決ニナリマシタ次第デアリマス、私ノ望ミマスコロハ此案ノ成ルト否決サレルノト左様ナコトヲ望ム本意デハナイノデ、要スルニ此公設美術展覽會場ガ國家ノ力ヲ以テ設立セラレントコトヲ希望スルノデゴザイマスカ、此案ノ成敗ハ姑ク措イテ、滿場ノ諸君ノ御盡力ニ依ツテ、政府ガ此議ヲ容レテ實行セラル、ヤウニ相成ランコトヲ希望スルノガ趣意デゴザイマス、宜シク願ヒマス(拍手起ル)

○松田源治君 淺羽君ノ御演說モアリマシタガ、尙調査ヲ要スルコトガアリマスカ、本案ハ十二回同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

ルカト申シマス、通例二口取デアリマス、又養繭絲ノ繼ギモ、凡テ工女一人ガ絲ヲ取リナガラ致スデアリマスカ、其加減切斷ノ多イ惡ル絲ヲ取リナガラ、一方百奴マデモ取ルト云フノニ、本邦ハ漸クニシテ五六十奴ニ過ギナイノデゴザイマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)想フニ伊佛ハドウ云フ譯デアアルカト云ヘバ「今ノヤウナ機械ノ作用ハドウ云フモノデアアルカト云フコトモ附加ヘテ申上ゲタイト思ヒマスガ、絲ノ廻轉棒ト云フモノガ、詰リ佛蘭西ハ徐々ト靜デアリマス、ソレ故ニ「デニール」ト及絲ノ「ソケ」ト云フモノガ正確ニ致サレテ居ルノデゴザイマス、一方ハ六口、七口取デアリマス、本邦ハ通例二口デアアル、ソレ故ニ絲棒ノ廻轉ト云フモノガ甚ダ迅速デアリマス、迅速デアルガタメニ又工女ガ總テ分業ニナッテ居リマセウカ、起居動作ト云フモノガ誠ニ一定致シマセウ、ソレデ凡テ其結果ト致シマシテ、「ムラ」ヲ絲ヲ製スルコトニナルト信ズルデアリマス、斯様ナ次第デハ主ニ五箇年以前ニ研究調査致シタモノヲ基礎ト致シテ申上ゲタ次第デアリマス、佛蘭西ハ一昨年ノ六月ニ特別ニ製絲業保護獎勵金ヲ法律ヲ發布致シマシタ、此法律ハ日本ノ十六貫目ニ對シマシテ我邦貨デ百五十一圓二十錢ノ獎勵金ヲ出シテ居リマス、殆ド日本ノ製絲業ノ費用ノ全般ニ當ル程ノ獎勵金ヲ佛蘭西ハ出シテ居リマス、而モ其獎勵金ヲ出ス法律ノ趣意ニ斯様ナ理由ヲ明記サレデアリマス、今後二十年此法律ヲ繼續シテ用井ル所以ノモノハ、製絲業ト云フモノハ凡テ精巧ナル機械ノ据付ニ格段ナル費用ヲ要スルデアアル、此費用ト云フモノハ十數年ヲ經過シナケレバ回收スルコトガ出來ヌカラ、イヤデモ二十年ノ間ハ此獎勵ヲ繼續シテ置カケレバナラヌト云フヤウナ理由ヲ明カニシテ居ルデアリマス、斯ウ云フ様ナ譯デ既ニ五箇年前ノ比較デスラ大ニ本邦ヨリ優テ居ルニモ拘ラズ一昨年斯様ナ獎勵ヨリ厚ク致シテ居ルデアリマスカラ、佛蘭西ハ益々此機械ガ精巧ニナッテ生絲ハ益々優等ニナルト云フコトハ誠ニ見易キ道理デアリマス、所デ本邦ハドウカト申シマス、殆ド長夜ノ夢ガ覺メナイト云フ譯デ、舊態ヲ保守シテ、更ニ改良ヲ致シテ居ラスデアリマス、要スルニ本邦ノ生絲ハ現在ハ甚ダ伊佛ニ劣ッテ居ル、又上海ニ比較シテモ劣ッテ居ル、非常ニ劣等ナル絲デアリ、而モ本邦ノ製絲家ハ斯様ナ絲ヲ挽イテ居ルガタメニ、今ハ誠ニ實業家一般ガ困厄ノ地位ニ陥ッテ居ルデアリマス、所ガ此製絲業家ガ衰ヘテ參リマシタナラバ、自然ノ結果トシテ養蠶業ニ及ブト云フ譯デアリマスカ、此間國家ト致シマシテハ製絲業家ニ向テ十分獎勵ヲ發達サセザルヤウナ方法ヲ講ジナケレバナラヌ、即チ是ガ國設模範製絲所ヲ建設シタイト云フ所以デアリマス、詰リ模範製絲所ヲ作りマシテ、サウシテ伊佛ヨリ完全ナル機械ヲ取寄セマシテ、サウシテ十分進歩セルトコロノ製絲方ヲ模範製絲所テ取リ見セマシテ、本邦ノ製絲業家ガ是ニ則ツテ是ニ倣フベキトコロノ範ヲ示シタナラバ、將來益々此改良スベキ方法ヲ明カニ營業者ガ知ルデアリマスカ、此場合ハ是非共模範ノ製絲所ヲ造リマシテ、一大改良ヲ營業者ニ促シタイト私ハ思フノデゴザイマス(拍手起ル)當局ニ對シマシテモ斯様ナル次第デゴザイマスカ、私ノ或ハ調査ノ疎漏ノナイ限リモゴザイマセウカ、十分此製絲業ノ實況ヲ御調査ニナリマシテ是非此模範製絲所ノ必要ナルコトヲ十分御調査デザイマシタナラバ、早速御設備アラシコトヲ希望致ス次第デゴザイマス、本案ハドウゾ委員會ニ於テ御審議アラシコトヲ切望致シマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 議長指名九名ノ委員ニ付託ト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(肥塚龍君) 然ラバ日程第十二同一委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十五、郡城變更ニ關スル建議案ヲ問題ト致シマシテ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、塚田啓太郎君

第十五 郡城變更ニ關スル建議案(塚田啓太郎君提出)

現在ノ郡城ハ全國各地ニ互リテ變更ヲ要スルモノ少カラス政府ハ速ニ精密ノ審査ヲ遂ケ其ノ法案ヲ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ望ム
右建議ス

○塚田啓太郎君 諸君、本案ハ幸ニ委員付託ニナリマスレバ、委員會ニ於テ詳細ノ說明ヲ致ス考アリマス、簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベマス(「登壇々々」「登壇ニ及バズ」ト呼フ者アリ)當議會ニ於キマシテモ、群馬縣ノ山田郡ノ四箇村ヲ分ケテ新田郡ニ編入スルト云フ法案モ出テ居リマシテ、本員等ハ之ニ贊成ヲ表シタモノデアリマスガ、此ノ如キ箇所ハ全國ニ涉リマシテ澤山アルト信ジテ居リマス、諸君モ御承知ノ通り第九帝國議會ニ於キマシテ、彼國ノ獨立經營ヲ強固ニスルタメ大阪府外三十一縣ノ郡廢置分合ヲ致シマシタガ、本員ノ提出致シマシタコロノ此建議案ハ左様ナ大改革ニアラシメテ、郡ノ行政上ノ便利、經濟上ノ節約ヲスルタメニ郡城ヲ變更致スノデアリマス、年々此帝國議會ニ郡城變更ノ請願ガ各地方ヨリ出テ來ルノハ眞ニ必要ナルタメデアリマス、河川ノ側ヤナニナリマスルト、川ヲ隔テ、居テ同郡ノ方トハ更ニ關係ナクシテ他郡ノ方ト最モ關係ノ深イ處ガ澤山アリマス、今同郡ノ郡役所ニ行クト致シマスルノハ三里モ五里モアリマスルケレドモ、他郡ノ郡役所ヘ行クノハ僅カ十町カ十五町、或ハ二十町位デア交通ノ出來ルトコロガアリマス、此ノ如キ處ハ澤山アルノデゴザイマスカラ、之ヲ十分ニ政府ニ於テハ調査シテ地方ノ人民ノ便利ノタメ、地方經濟ノ節約ノタメニ郡城ヲ變更ヲ行ヒタイト云フノガ、此提出ノ趣意デアリマス(「モウ宜イ」ト呼フ者アリ)ドウカ此趣意ヲ述ベテ、諸君ノ御贊成ヲ希望シマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ說ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十六、高等工業學校設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者鷺田土三郎君

第十六 高等工業學校設置ニ關スル建議案(鷺田土三郎君提出)

高等工業學校設置ニ關スル建議案

現世紀ハ工業時代ナリ獨逸ノ如キ最力ヲ斯業ニ致シ以テ國運ノ勃興ヲ期セリ我カ帝國工業ノ發展ハ目下最要急務ニ屬ス福井縣ハ織物製紙等ヲ以テ世ニ著ハル加ノ鐵工木工漆器等ノ名手鉅匠古來輩出シ其ノ遺風今猶熾盛ナリ殊ニ羽二重ハ海外ニ輸出スル年額二千萬圓以上ニ達シタル大工業地ナリ然レニ惜ムヘシ其ノ所

產悉ク白地ノ半製品ニシテ外國ヘ輸出ノ後染捺其ノ他ノ工ヲ加ヘラルナリ苟モ工業ノ進歩貿易ノ發達ヲ謀ラムト欲セハ福井縣ノ如キ工業ノ素養アル土地ニ於テ高等工業ノ知識ヲ與フルノ機關ヲ設置シ以テ國富ヲ増進セサルヘカラス依リテ福井縣ニ國立ノ高等工業學校ヲ設置セラレムコトヲ望ム
右建議ス

○鷺田土三郎君 當席ヨリ申上ゲマス、本案ハ高等工業學校ヲ福井縣ニ設置セラレンコトヲ希望スル建議デアリマス、尙其詳細ナル理由ハ幸ニ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ、委員付託ニナリマシタ場合ニハ、委員會ニ於テ申上ゲタイト存シマス(拍手起ル)

○松田源治君 本案ハ日程第十二同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ提議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ日程第十二同一ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十七、私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案、提出者戸水寛人君

第十七 私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案(戸水寛人君外一名提出)

私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案

一官營鐵道カ私設ノ交通機關ニ對シ競爭ヲ試ミ壓迫ヲ加フルハ直接ニハ斯業ヲ害シ間接ニハ一般資本家ヲシテ危懼ノ念ヲ懷カシメ延テ民業ニ投資ノ途ヲ杜絶シ經濟ノ發展ヲ阻碍スルノ虞少カラズ政府ハ宜シク此ノ弊ヲ除去スルコトニ努ムヘシ
一私設交通機關ニ對スル行政監督ハ繁文縟禮ノ弊甚シキモノアリ此ノ如キハ行政事務ヲ敏活ニスルノ趣旨ト全然相反スルノミナラス當業者其ノ他出願者ヲシテ不便ヲ蒙ラシムルコト少ナラス延テ交通機關ノ改良及速成ヲ阻碍スルノ虞アリ政府ハ此ノ弊ヲ除去スルコトニ努ムヘシ
右建議ス

〔法學博士戸水寛人君登壇〕

○法學博士戸水寛人君 諸君、私設交通機關ニ對スル政府ノ方針ニ關スル建議案、會期切迫ノ折柄簡短ニ申上ゲマス、官營鐵道ガ私設交通機關ニ對シテ時々ハ壓迫ヲ加ヘテ居ルト云フコトヲ本員ハ聞イテ居リマス、例ヘバ同シ場所ニ旅客及貨物ヲ運送スル場合ニ官營鐵道ハ私設ノ交通機關ト競爭スルコト云フノハ已ムヲ得ナイコトカモ知レマセヌカ、其競爭ヲスルニ付テハ官吏ガ時々不都合ナ行爲ヲ敢テスルノデゴザイマス、例ヘバ或時期或場合ニ賃金ヲ引下ケルト云フコトガアル、其割引ヲスルト云フコトガアルノデアアル、官ノ方ハ賃金ヲ引下ケテ置イテ、私設ノ交通機關ノ方カラ同ク割引ヲシヤウトシマスルト、其割引ハ一切許可シナイト云フ譯デアアル、自分ノダケハ下ゲテ置イテ、サウシテ私設ノモノニ對シテ割引ヲ承諾シナイ、カウ云フコトヲシテ競爭ヲ試ミルト云フコトガ、時々アルヤウニ聞イテ居ル、誠ニ兒戲ニ類シタコトデアリマスカラ、上官ノ與リ知ラザルトコロデアアルカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ責任ハヤハリ上官ニ歸スル次第デアアルカラ、上官ノ方デハ十分ニ御調査アッテ、適當ナル訓令ヲスルト云フコトハ必要デアラウカと思フノデゴザイマス、又私設交通機關ノ監督ニ付テ、モウ一ツ申スベキコトガアルノデアアル、行政監督ガ甚ダ複雑デアアル、繁文縟禮ヲ極メテ居ルノデゴザイマス、例ヘバ車輪ノ検査ヲスルニ

付テハ、一ツノ役所ヲ檢査シテ居ル、ソレヲ運轉スルノハ又他ノ所ヲ調査スルト云フヤウナ譯テ、極メテ複雑ナルノデス、今後ハ監督スルニ付テハ極メテ單簡ナリカラシメテ欲シト云フノデゴザイマス、尙委員會ニ於テ問題ニナルナラバ、委員ノ人ト政府トノ間ニハ多少ノ問答ガアラウト思フノデゴザイマスガ、サウ云フノデゴザイマスカラ、委員付託ニ願ヒタイモノデゴザイマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十八、産業組合監督機關設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、西谷金藏君

第十八 産業組合監督機關設置ニ關スル建議案(西谷金藏君提出)

産業組合監督機關設置ニ關スル建議案

産業組合監督機關設置ニ關スル建議案

産業組合法ニ依ル各種組合ノ發達ニ伴ヒ之カ指導監督ヲ行フ上ニ於テ將來一層ノ注意ヲ行フノ必要アルヲ認メ依リテ政府ハ此ノ際速ニ指導監督取締ニ從事スヘキ專任者ヲ定メ其ノ目的ヲ達スヘキ

右建議ス

〔西谷金藏君登壇〕

○西谷金藏君 極ク短ウ言ヒマス、私ガ此場合ニ建議ヲ致シマスルノハ産業組合監督機關設置ニ關スル建議案デゴザイマス、産業組合ハ近來俄ニ其數ガ殖エテ參リマシテ、今日ノトコロデハ約八千ニ達シテ居ル思ヒマス、尙最近ノ狀況ヲ調べ見マスレバ一箇月ニ少クモ百、多クハ百五十位増加シツ、アルト思ヒマス、我産業界ノ發展ノタメニハ頗ル祝スベキコトデゴザイマス、而シテ是等ノ組合ヲ健全ニ發達セシメント欲スレバ、其指導、監督、取締等ニ最モ注意ヲ要スルコトアラウト考ヘマス、政府ハ頻リニ各種組合ノ設立ニ向テ注意獎勵ヲセラルノデアル、所デ其組合ニ對スル取締ハ之ニ或ハ伴フテ居ナイト考ヘマス、産業組合法ノ第五十九條、第六十條等ニハ其方法ハ規定シテゴザイマスガ、實地ニ就テ見マスレバ此法ハ實際ニ適用セラレテ居ナイノデアル、所デ此産業組合員ノ多數ハ地方ニ在ルコトノ中農小農ニシテ極メテ程度ノ低イ人デアアル、組合長ノ何レモ爲スガ儘ニ任シテアルノデ、組合長ガ敢テ惡事ヲ爲ストハ申サヌノデアル、然レドモ之ヲ若シ自然ニ放任シテ置クトキハ、近キ將來ニ於テ如何ナル間違ガ生ズルカモ知レヌ、或ハ種々ナル罪人ヲ出スコトガアルカモ知レナイ、或ハ又ツレガタメニ産業ノ發達ヲ害スルコトガアルカモ知レナイ、右ノ次第デゴザイマスガ故ニ、政府ハ此際相當ノ專任者ヲ定メテ指導、監督、取締ニ從事シテ、各種ノ産業組合ヲ健全ニ發達セシムルヤウニ努ムベシ、斯ウ云フノガ私ノ建議致シマシタ要旨デゴザイマス、幸ニ御審議ノ上御贊成ヲ得マシタラ仕合セニ存シマス

○松田源治君 本案ハ産業組合法ニ指導、監督、取締ノ機關ヲ設置シヤウト云フ、至ッテ簡單ナル案デゴザイマシテ、西谷君ノ説明ニ依ッテ其要旨モ盡キテ居ルト思ヒマスカラ、委員付託ニ至ラズシテ直ニ即決可決アラント希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 松田君ノ說ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ確定ト致シマス、次ハ日程第十九、官立精神病院設置ニ關スル建議案山根正次君

第十九 官立精神病院設置ニ關スル建議案(山根正次君提出)

官立精神病院設置ニ關スル建議案

我カ同胞中五百分ノ一則十數萬人ノ精神病者アルコトハ統計ノ示ス所ニ依リテ明ナリ而シテ是等精神病者ハ生存競争ノ劇甚ナルニ從ヒ一層其ノ數ヲ多カラシムルハ歎スヘキノ現象ナリトス蓋精神病者ハ其ノ境遇ニ於テ最モ憂ムヘキモノアルノミナラス病勢比較的長期ニ涉リ且公安ヲ害スヘキ危險ナル症狀アルカ故ニ之ヲ一定ノ場所ニ收容加療セシムルハ極メテ緊急ナル要務トス現ニ歐米各國ニ於テハ國家又ハ公共團體ニ於テ之カ救済保護ヲ設備アリ我カ帝國ハ已ニ精神病監護法アリト雖之ニ依リテ保護セラルヘキ病者ハ少數ナル私立病院ニ收容セシムルノ外國家トシテ何等ノ設備ヲ有セサルハ 聖代ノ一大缺點ナリト認ム故ニ政府ハ宜シク國費ヲ以テ樞要ナル地ヨリ漸次地方ニ及ホシ之カ病院ヲ設置シ以テ憐ムヘキ同胞ヲ救護シ併セテ公安維持ノ良策ニ出テラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔山根正次君登壇〕

○山根正次君 諸君、本員ハ精神病院官設ノ必要ニ關スル所見ヲ述ベテ諸君ノ御協賛ヲ請フハント致シマスルカ僅カ五分間バカリ御清聴ヲ願ヒマス、明治二十三年三月法律第三十八號ヲ以テ精神病患者監護法制定セラレシヨリ既二十年ヲ經テ居リマス、此間ニ於テ我日本帝國ノ國勢、民情ハ多大ナル進歩ヲ呈シテ居リマス、國民ノ生活狀態、生存ノ競争ノ景況カラシテ頗ル複雜窮迫ヲ加ヘ來リマシテ、精神病ノ患者ガ非常ニ増シテ居ルノデアリマス、是ハ一學問ノ進歩ニ依リマシテ此病氣ヲ見出ストコロノ結果デモアリマセウガ、實際ニ於テ社會ノ生活ノ窮迫ニ伴ヒマシテ、自殺者ト精神病者ノ増加スルハ免ルベカラザルトコロノ數デアリマス、精神病者ノ増加ハ國家ヲシテ多大ナル損害ト危險トヲ被ラシムルモノデアリマス、是ハ何人モ御存ジデアリマス、本患者ヲ若モ放置シテ置クトキハ、ドウ云フ事ガアルカ、虐殺ガ行ハレマスル、或ハ僅カノ刺激ニ依ッテ爭鬭スルガ如キ、或ハ火ヲ放ツガ如キ、或ハ決水スルガ如キ、一見實ニ寒心スベキトコロノ犯罪ヲ行フコトガ少クナイノデアリマス、社會ニ對シテ是等ノ損害ヲ受ケシムルノミナラズ、患者自己ハ憐ムヘキ狀況ニ陥リ、悲慘ナル最後ヲ遂ゲシムルコトガ常デアアルノデアリマス、然ルニ我帝國ニ於キマシテハ是等ノ患者ヲ收容シ、治療ヲ加ヘベキトコロノ機關ナルモノガ、即チ精神病院ノ數ト云フモノガ非常ニ少ナイ、少數ノ患者ホカニハ監護治療ヲ受ケルコトガ出來ナイト云フヤウナ實況デアアルノデアリマス、全國ヲ通ジマシテ精神病院ノ數ハ合計三十一箇所デアリマシテ、内官公立ノモノハ僅ニ八箇アルノミデアリマス、其他ハ皆私立病院デアリマシテ、是等ノ病院ニ收容セベキ病室ハ大約二千五百四十二人ホカ入ラヌデアリマス、サウシテ既ニ收容セラレテ居ルモノガ二千四百人デアリマス、然ルニ去ル二十九年末ノ調査ニ依リマスルニ、法律ニ依ッテ監置セラレタル患者ガ、四千六百五十八人デ、其他假監置者百十六人、監置ヲ要セサルモノガ一万

メニアリマシテハ此陶磁器ノ製造上特ニ見ルベキモノハナカッタノデアリマス、近時ニ至
マシテ、美術ノ獎勵ノ盛ンニ唱道サレル時代ニナリマシテ、陶磁器モヤハリ美術工藝品
スベキ筈ノモノデアリマシタノニ、惜ムベシ段々退歩ノ傾向ヲ示シテ參リマシテ、明治ノ

ノ一ツデアルト云フコトカラ致シマシテ、又我國ノ國粹ヲ保存ヲ致シマスルニ云フ上ニ於テ、特ニ此陶磁器ヲ獎勵スルニ云フ必要アル上カラ致シマシテ、更ニ近時ニ至リマシテハ一層輸出品ヲ獎勵スルニ云フ趣意ヨリ致シマシテ、漸次此陶磁器製造ニ付キマシテハ國家ガ注意ヲ拂フコトニナリ、國家ガ之ヲ獎勵スルニ云フ傾向ヲ生ジタノデアリマス、現ニ我日本中ニ於キマシテ一道三府四十三縣何レノ處ニ到リマシテモ、陶磁器ノ製造所ノナイ處ハナイノデアリマス、明治四十二年ノ末ニ於ケル統計ニハ全國ニ於キマシテ製造家ガ五千四百二十九戸アル、而シテ其生産額ガドレ程アルカト言ヘバ、千二百二十五万七千六百七十七圓デアルト云フコトデアリマス、此模様ニ依リマシテモ、日本ハ古ヨリ陶磁器製造ニ適シテ居ル國デアアル、又同時ニ製造ニ付テハ特ニ趣味ヲ持テ居ル國デアルト云フコトガ十分ニ分ルデアラウト思ヒマス、唯遺憾ナルコトハ其一千二百三十五万圓ノ生産ガアルニモ拘リマセズ、今日輸出致シテ居リマスルコトハ其一千二百三十五万圓ノ半分ニモ達シマセズ、五百二十五万七千八百三十圓デアリマス、此狀態デゴザイマスカラシテ、我國ノ現時ニ於キマシテハ是ヨリ以上ノ生産、是ヨリ以上ノ輸出ヲ爲サシムル必要カラ之ヲ獎勵シナケレバナラヌデアリマスガ、之ニ對スル國家ノ施設ハ如何カト願ヒマスルニ國家ニ於キマシテハ何等ノ施設ガナイノデアリマス、此陶磁器製造ニ付キマシテ、又之ヲ獎勵致シマスル上ニ於テ、極メテ必要デアアル、機關ト致シマシテハ必ズ少クモ其試驗場ヲ置カナケレバナラヌデアアルニ、陶磁器製造ノ試驗場ト云フモノガ、國家ガ設ケタモノハ一ツモナイノデアリマス、唯現時ニ於キマシテ日本國中ニハ僅ニ京都市市立陶磁器試驗場ナルモノガアルデゴザイマシテ、日本ニ於キマシテソレヨリ以上ノ施設ノモノガナイノデアリマス、此京都市市立試驗場ヲ私ハ農商務省ノ管轄ニ移シタイト云フノガ、本建議案ノ趣意デアリマスカラシテ、少シク此市立試驗場ノ模様ヲ申シマスル、諄イコトハ申シマセヌガ、其大要ヲ申シマスレバ、此市立試驗場ガ如何ナル仕事ヲシテ居ルカト言ヘバ、第一ニ此市立試驗場ハ試驗ヲ致シテ居ルノデアリマス、試驗ニハ直接實地ノ試驗ト、間接理論ノ試驗トガゴザイマスガ、此試驗ニ對シ全國各方面カラシテ尋ネテ、即チ陶磁器ノ試驗ノ依頼シテ參リマスモノガ、二百餘件ニ達シテ居ルデアリマス、二百餘件ト云フ數ハ、決シテ多イ數デハゴザイマセヌガ、此試驗ハ餘程ノ手數ヲ要スルモノデゴザイマスガ故ニ、此二百餘件ノ試驗ヲ完全ニ行ヒマスルニハ、餘程ノ時日ヲ要スルノデアアル、若シ此試驗場ヲ大規模ノモノニ致シマスレバ、必ズ短イ月日ヲ以チマシテ、満足ナル結果ヲ示スコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、此陶磁器製造上ニ付キマシテハ、多大ナル貢獻ヲスルニ相違ナイコト、考ヘルノデアリマス、先ヅ試驗ハ其様ナコトニナッテ居リマスガ、其外ニ於キマシテハ圖案ノ調製、ソレカラ設計ノ調製、ソレカラ質疑ノ應答、ソレカラ生徒ノ養成及機械又窯ノ貸付、講話——同時ニ製造上ニ關スル講話、是ダケノ事柄ヲ試驗場ガヤッテ居ルノデアリマス、サウシテ其仕事ヲヤッテ居ル此試驗場ガ、今日マデニ使ヒマシテコロノ費用ハ十七万何千圓デゴザイマスガ、其功績ハドウデアアルカト言ヘバ、半磁器ト云フモノヲ製造シタノガ、此試驗場ノ效能デアアル、元來栗田焼ト云フモノハ、誠ニ綺麗ナ品物デハゴザイマスケレドモ、其品質ガ甚ダ粗惡デアルガ故ニ、實用ニ堪ヘナイト云フヤウナコトデ、唯單ニ裝飾品トシテ喜ハレルニ過ギナカッタノデアリマスガ、之ニ代用スル半磁器ノ製造ヲ考付キマシテ、爾來盛シニ之ヲ賣出シテ居ルト云フ有様デアリマス、ソレカラ是マデ日本ノ陶磁器ハ多クハ此熱ノ高イモノニハ耐ヘナカッタノデアリマスガ、之ヲ近時化學ノ進ムニ從ヒマシテ、段々其熱ニ耐ヘ得ル

ト云フコトヲ研究致シマシタ、ガタメニ耐熱化學用品ヲヤハリ拵ヘルト云フコトモ、此試驗場ノ手柄ノ一ツデアリマス、ソレカラ純白ナル硬質ノ磁器、特別ノ高壓ノ磚子、是ハ電氣用品デアリマスガ、是等ハ悉ク此京都ノ試驗場デ發明ヲ致シマシテ、製造ヲ致シタモノデアリマス、此ノ如キ效能ヲ持ッテ居リマスルモノナラズ、現ニ今行ヒツ、アルトコロノ仕事ハドウデアアルカト言ヘバ、品質ノ改良或ハ製費ノ節減或ハ製造ノ正確ヲ保ツ方法、製品ノ改良、窯ノ改良、機械力ノ應用、新原料ノ利用、新繪具ノ利用、ソレカラ參考品ノ蒐集等、是等多大ノ任務ヲ持ッテ、而シテ其任務ヲ盡シツ、アルノデアリマス、此ノ如キ小規模ノ京都市立試驗場ニ於キマシテモ、尙是ダケノ任務ヲ盡シテ、而シテ之ヲ遺憾ナカラシメント企圖シツ、アルノデアリマスガ、如何セン唯經費ガ許シマセズ、規模ガ小ナルガ故ニ、今日ニ至リマシテ、マダ満足ナル結果ヲ齎シテ居ラヌデアリマス、ソレガタメニ國家ノ上ニ於キマシテ甚シキ影響ハ與ヘテ居ラヌデアリマスガ、若シ之ニ對シテ大規模ノモノヲ以テ致シマスレバ、私ハ多大ナル利益ヲ與ヘルコトデアルト云フコトヲ信ジテ疑ハヌデアリマス、外國ニ於キマシテ其側ヲ申シマスレバ、或ハ獨逸ニ於テ、或ハ佛蘭西ニ於テ、或ハ露西亞ニ於テ、丁抹ニ於テ、澳地利ニ於テ、或ハ皇王立若ハ國立、而シテ最モ近イ吾々ガマダ十分進ンデ居ルト信ジテ居ラヌトコロノ隣國支那ニ於キマシテモ、國立ノヤハリ陶磁器試驗場ト云フモノガアルノデアリマス、此ノ如キ實際デゴザイマスルガ故ニ、日本ハ是非トモ此場合ニ於キマシテ、少クモ此京都市立以上ニ此規模ヲ大ニ致シマシテ、農商務省直轄ノ試驗場ヲ設ケナケレバナラヌト思フノデアリマス、諸君東洋ニ於ケル武力ハ確ニ日本ガ覇ヲ稱シテ居ルノデアリマス、私ノ信ズルトコロニ依リマスレバ武カノミナラズ商權モ必ズ日本ノ掌裡ニ收メナケレバナラヌト信ジテ居ルノデアアル、然ルニ清國四百餘州ニ對シテ、陶磁器ハ如何セン獨逸、佛蘭西ハ之ニ對シテ多大ノ競争ヲ致シテ、サウシテ今ヤ其威風ヲ以テ四百餘州ヲ壓倒セントシテ居ル有様デアリマス、之ニ抵抗ヲ致シマスルノニハ、宜シク之ニ對スル施設ヲサナケレバナラヌデアアル、其施設ノ第一ト致シマシテ、私ハ京都市立陶磁器試驗場ト云フモノヲ農商務省ノ直轄ニナスノ必要アルト云フコトヲ認メタノデアリマスガ、本建議案ヲ提出シタ所以デアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、次ハ日程第二十二、鑛業試驗所設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、宮古啓二郎君

第二十二 鑛業試驗所設置ニ關スル建議案(宮古啓二郎君外三名提出)

鑛業試驗所設置ニ關スル建議案

鑛業試驗所設置ニ關スル建議案

政府ハ明治四十五年度ニ於テ鑛業試驗所ヲ設置スヘシ
右建議ス

(宮古啓三郎君登壇)

○宮古啓三郎君 是ハ富國策ノ一トシテ提出ヲ致シタノデアリマスガ極メテ簡單ニ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、我國ガ幸ニシテ非常ニ礦物ニ富シテ居ルデアッテ、今日非常ニ幼稚ナル礦業ノ有様デアッテスラモ、一年ノ産額ガ一億万圓以上ニ達シテ居ル、貿易ノ額ヲ見マスルト、四千万圓以上ニ達シテ居ルデアリマシテ、我日本ノ産業ノ上デハ穀産物ガ第一デアッテ、次ニ生絲ニ關スルコロノ産物ガ來ルデアルガ、其次ニ於テハ礦業ニ勝ツトコロノモノハナイデアアル、貿易ノ方カラ見マスルト生絲織物ガ一番デアリマスガ、ソレニ續イテハ此礦業ノ産物ニ若クモハナイデアリマス、此ノ如キ國ノタメニ非常ニハ肝要ナル産物デアアルデアリマスガ、皆テ其有様ヲ今日見マスルト如何ニモ幼稚ニシテ甚ダ氣ノ毒ナル状態デアルト言ハナケレバナラスデアリマス、之ヲ發達サセルト云フコトニシマスルト幾ラデモ發達スルデアアル、今日ヨリモ十倍モ、十五倍モ、二十倍モ發達サセルト云フコトハ決シテ難イコトデハナイデアアル、ソレデアアルカラシテ何トカ是ハシナケレバナラスデアアルガ、今日ノ有様デハ一向ニ放任主義デアッテ、マルデ政府ハ之ニ構ッテ居ラスト云フ譯デアアルノデアリマス、ソレ故ニ此衆議院ハ茲ニ大ニ見ル所ガアッテ、從來屢々礦業獎勵建議ト云フコトヲ致シテ居ッタデアリマス、去ル一十五議會ノ當時ニ於テハ百名ノ提出者デ、百名ノ賛成者ガアッテ、ヤハリ建議ヲ致シテ居ル、其中ニ本建議ト同ジモノガヤハリ含マッテ居ッタデアリマス、ソレニ依ッテ政府ニ於テハ農商務省デ四十二年ノ豫算ヲ編成スルニ當ッテ、此礦業試驗所ト云フモノヲ計畫ヲ致シテ、大藏省ニ送ッテ居ルデアリマスガ、大藏省ニ於テ財政ノ都合デ之ヲ削ッタデアリマス、是ハ昨年ノ豫算委員會ニ於テ本員ガ質問ヲ致シマシテ、桂總理大臣カラシテ明白ニ答辯ヲ致シテ居リマス、其後ガ即チ四十四年度ノ豫算編成ノ際デアリマスガ、其際ニモ農商務省ハ提案シテ居ル如クデアアル、然ルニ大藏省ニ於テ之ヲ削ッタ如クデアリマス、ソレハ併ナガラ昨年ハ非常ナル大洪水デゴザイマシタカラシテ、ソレガタメニ治水ニ關スル費用ガ莫大ニ掛ルデアアルカラシテ、新事業ハ出來ナイト云フコトハ本員等モ之ヲ諒スルデアリマス、併ナガラ四十五年度ニ至ッタナラバ、之ヲ設置スルト云フコトハドウシテモシナケレバナラスモノデアラウト思フ、今申シマスル通り我國ノ産物デ、非常ニ是ガ重要ナルモノデアッテカラニ、是カラ先キ最モ必要ナルモノデアアルカラ、之ヲ放任シテ繼子扱ニシテ置クト云フコトハ、寧ろ國家ノ經濟上宜シイコトデナイデアリマスカラ、四十五年度ニ於テハ是非之ヲ設ケルコトニ致シタイト云フノガ、即チ本建議案ノ要旨デゴザイマス、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ前ノ日程ノ委員、即チ二十一ノ日程ノ委員ト同一委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ二十一ト同一委員ニ付託スルコトニ致シマス次ハ日程第二十三、史蹟及天然記念物保存ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十三

史蹟及天然記念物保存ニ關スル建議案(井上敏夫君外二名提出)

史蹟及天然記念物保存ニ關スル建議案

史蹟及天然記念物保存ニ關スル建議案

我カ邦ノ歴史上學術風致上ニ密接ノ關係アル天然記念物カ今ヤ漸ク破壊湮滅ニ屬セムトスルモノ少カラス今日ニ於テ之カ保存ノ方法ヲ企畫セサルトキハ後年ニ至リ悔錯スルモ其ノ復舊ヲ望ムヘカラス依テ政府ハ速ニ適當ナル方法ヲ設ケテ之カ保存ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○宮古啓三郎君 此案ハ井上敏夫君カラ説明スル管デアリマスガ、都合上私カラ申スコトニ致シマス、是ハチヨット來歴ヲ申シマスガ、貴族院ノ三宅秀君ガ初メテ唱ヘマシテ、衆議院ノ井上敏夫君ニ相談ニ相成リマシテ、共ニ俱ニ之ヲ提出シヤウト云フコトニナッタデアリマス、而シテ貴族院ニ於テハ三宅秀君カラシテ徳川頼倫侯、徳川達孝伯、田中芳男君等ニ相談ヲシテ提出ヲ致シマシテ、過日可決ニナッテ居リマス、即決可決デアリマス、衆議院ニ於キマシテハ井上君ヨリ本員等ニ相談ヲ致サレマシテ提案スルコトニ相成ッタデアリマス、其タメニ貴族院ノ案ト主文ニ於テモ、理由ニ於テモ、全ク同一デゴザイマスカラ、ソレヲ御承知ヲ願ヒマス、案ノ内容ハ理由書ノ中ニ詳シク書イテゴザイマスガ、要スルニ今日歴史上、學術上、風致上ニ密接ノ關係アル天然物即チ或ハ記念トナリ、或ハ考證トナルトコロノ天然物ガ澤山アルノニ、段々世ノ中ガ開ケルニ從ッテ或ハ土地ノ開拓ヲシタリ鐵道ノ敷設ヲシタリ、工場ノ設置ヲシタリ、市區ノ改正ヲシタリ、イロ／＼ナコトラスルタメニ、天然記念物ヲ皆破壊ヲシテシマフト云フコトヲ今日ヤッテ居ル、是ハ如何ニモ歎カハシイコトデアアルカラシテ、トウゾク様ナモノハ保存ヲ致シタイ、人ノ持ヘタトコロノモノニ對スル保存方法ハ、今日方法ガ立ッテ居ルヤデアアルガ、天然記念物ニ對シテハ保存方法ガ少シモ立ッテ居ラスカラシテ、是非之ヲ保存致シタイト云フ案デゴザイマスカラ、是亦御賛成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ貴族院ニ於テ同一ノ案ガ可決サレタト云フコトデゴザイマスケレドモ、本院ハ尙調査スル必要アリト認メマスカラ、日程十二ト同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ日程第十二ト同一委員ニ付託スルコトニ致シマス——日程第二十四、小名濱港改良ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、長晴登君

第二十四

小名濱港改良ニ關スル建議案(長晴登君外三名提出)

○長晴登君 當席カラ御報告致シマス、本建議案ハ小名濱港ヲ調査シテ相當ノ施設ヲスルニ付テ、相當ノ援助ヲ與ヘテ貫ヒタイト云フダケノ趣意デアリマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ此段報告致シマス

○松田源治君 本案ハ委員長報告通り確定アラランコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナイト認メマスカラシテ、委員長ノ報告通り確定スルコトニ致シマス、次ハ日程第二十五、平小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長戶狩權之助君

第二十五 平小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案 (委員長報告)

(戶狩權之助君登壇)

○戶狩權之助君 本建議案ハ平ヨリ小名濱港ニ達スル鐵道建設ノ建議案デアリマスルガ、此理由ハ平小名濱港ニ此鐵道ヲ敷設ヲ致シマシテ、而シテ岩越線ト聯絡ヲ取ルガためニ必要デアルト云フ提出者ノ理由デアリマス、然ルニ政府當局者ノ方デハ未ダ此港灣ノ方ハ調査ヲシテ居ラヌト云フデアリマスカラシテ、港灣ノ調査ガ出來ナイ以上ニハ、鐵道ヲ敷設スル必要ガナイ、斯ウ云フ即チ其委員會ノ多數デ之ヲ否決スルコトニ致シマシテ、之ニ對シマシテ少數意見モ出デ居リマスガ、多分少數者ノ方カラ意見ハゴザイマセウガ、多數ハ港灣ノ設計ガ出來ナイ間ハ、鐵道ヲ敷設スルノ必要ハナイト云フノデ、之ヲ否決シタデアリマス、以上報告ヲ致シマス

○副議長(肥塚龍君) 堀江覺治君

(堀江覺治君登壇)

○堀江覺治君 私人唯今委員長ヨリ報告ニナリマシタ平小名濱間鐵道建設ニ關スル建議案ニ對シマシテ、少數意見ヲ述ベテ此案ノタメニ殉死シナケレバナラヌ場合ニ立至リマシタ、一體此案ハ直グ前ニ長君ヨリ報告ニナリマシタ小名濱港改良ニ關スル建議案ト密接ノ關係ヲ持テ居リマスノデ、小名濱港改良ニ關スル建議案ガ可決ニナリマシタモノトスレバ、ヤハリ此平小名濱間ノ鐵道建設ニ關スル建議案モ同ジク可決サレナケレバナラヌ性質ノモノニナツテ居ル、況ヤ此平小名濱間ノ鐵道ニ付キマシテハ、政府ノ方デハヤハリ必要ヲ認メテ既ニ測量モシテ居ル、斯ウ云フノデ、サウシテ此小名濱港ノ改良ニ付キマシテハ唯今委員長ヨリ報告ニナリマシタ通り未ダ調査モシナイ、マダ其改良修築ノ必要ヲ認メス、斯ウ云フ位ニナツテ居ル其必要ヲ認メヌト云フ政府ノ言明ガアルモノニ對シテ、可決ヲサレテ、サウシテ政府ガ大ニ必要ナリト言ハレテ居ル、此案ヲ否決サレタト云フコトハ甚ダ其意ヲ得ナイヤウニ私共ハ考ヘル、私共ハ政府ノ意見ニ聽キマシテ、此案ヲ修正致シマシタト云フノハ、政府ノ方デヤ、是ハ平ヨリ小名濱ニヤルヨリハ寧ろ湯本ヨリ小名濱ニヤツタ方が良イト云フ意見デアリマシタカラ、其通り修正シマシタ又此政友會諸君ノ意見ニ對シマシテ、ヤハリ唯今長君ノ報告アリマシタヤウニ政府ニ對シテ相當ノ處置ヲ採ラレンコトヲ望ム、斯ウ云フ風ニ再度ノ修正ヲ致シマシタ、吾々ガ再ビ膝ヲ屈シテ、而シテ諸君ニ同意ヲ求メマシタケレドモ、多數黨ノ諸君ハ吾々ニ對シテ襟度ヲ披クコトヲサレマセヌノデ、本員ハ茲ニ政友會諸君ニ對シテ大ニ襟度ヲ披カレンコトヲ望ミマス、諸君ハ諸君ノ大多數、大勢力、大信用ヲ以テハ、モウ明日ニモ天下ヲ取レルノデス、其諸君ガコンナツマラヌ鐵道問題ニ對シテ力癩ヲ入レラレル 必要ハナカラウ(ツマナナイ置イタラドウダ)ト呼フ者アリ) 況ヤ又コンナ鐵道ヲ港灣ノヤウナモノヲ虎ノ子ノヤウニ御大事ニナサル必要ハナイト私ハ思フ(大ニアルヨ)ト呼フ者アリ) 諸君ハ決シテソナ秋量デナイト云フコトヲ本案採決ノ結果即チ今日唯今事實ノ上ニ表明サレンコトヲ切望致シマス

(採決「贊成」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 決ヲ採リマス、第一ニ唯今堀江覺治君述ベラレタル少數意見ニ付テ決ヲ採ラウト思ヒマスガ、定規ノ贊成ガアリマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 贊成ガアルト認メマスカラシテ、少數意見ニ付テ決ヲ採リマス、少數意見ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○副議長(肥塚龍君) 少數デゴザイマス、委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様決シマス、次ハ日程第二十六、第二十七ハ同一委員ニ付託セラレタル建議案デゴザイマスカラシテ、併セテ委員長ヨリ報告ヲナスコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ「低聲デ分リマセヌ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 日程第二十六、第二十七ハ同一委員ニ付託セラレ居ルガ故ニ、委員長ノ報告ハ併セテスルコトニ御異議ハアリマセヌカ(「明瞭」ト呼フ者アリ) 望月右内君

第二十六 鐵道建設ニ關スル建議案(三浦盛德君 外五名提出) (委員長報告)

第二十七 鐵道建設ニ關スル建議案(白石義郎君 外三名提出) (委員長報告)

○望月右内君 委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此兩案トモ機宜ニ適シタル至極妙案デアルト云フコトデ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ政府ニ於キマシテモ是ハ委員會ニ於テ同意ヲ致シテ居リマス、此ノ如キ次第デアリマスカラ滿場一致ヲ以テ御贊成アラント希望致シマス(拍手起ル)

○松田源治君 兩案トモ委員長ノ報告通り確定セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 別ニ御議論モナイヤウデゴザイマスカラシテ、兩案トモ一括シテ委員長報告通りニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通り決定致シマス、次ハ日程第二十八、臺南水道敷設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長村上先君

第二十八 臺南水道敷設ニ關スル建議案(村上先君 外三名提出) (委員長報告)

(村上先君登壇)

○村上先君 臺南水道敷設ニ關スル建議案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、委員會ハ慎重ニ審議致シマスル同時ニ政府委員ノ意見ヲ聽キマシタコロガ、政府ニ於キマシテモ此臺灣經營ノ最大要件ト致シマシテ、衛生機關ノ完備ヲ計ルト云フ必要ガアル、而シテ衛生機關ノ最大要件ト致シマシテ、此水道ノ敷設ヲ計ルト云フ計畫ガアル、ツレ故ニ政府ハ近キ將來ニ於テ臺灣ニ於テ二十四箇所ノ水道ヲ敷設スル計畫アル、サウシテ此二十四箇所ノ水道ノ中デ臺南水道ナルモノハ最モ急ニシテ、最

モ必要ナモノニ算ヘラレテ居ルト云フコトアリマス、ソレデ政府ハ此建議案ニハ多大ノ同情ヲ以テ賛成スル——冷淡ナル同情デハナイ、多大ノ同情ヲ以テ賛成スルコト云フコトデゴザイマシタ、ソレデコトヲモ多少ノ譲歩ヲ致シマシテ、「明治四十五年度」ト云フコトヲ「成ベク速ニ」ト云フコトニ致シマシテ、可決致シマシテゴザイマス、何卒満場一致ヲ以テ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

○副議長(肥塚龍君) 委員長ノ報告ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通り致シマス、次ハ日程第二十九、日本海員接濟會國庫補助金増額ノ建議案ヲ議題ト致シマス、戸水寛人君

第二十九 日本海員接濟會國庫補助金増額ノ建議案(委員長報告)

〔法學博士戸水寛人君登壇〕

○法學博士戸水寛人君 日本海員接濟會國庫補助金増額ノ建議案之ニ付テ報告ヲ致シマス、是ハ修正可決致シマシタ、先ア此題目カラ申シマス、云フコト、國庫補助金ノ金ト云フ字増額ト云フ増ノ字ノ間ニ「繼續」及「ト」云フ三字ヲ加ヘマシテゴザイマス、其事柄ヲ申シマスガ、日本海員接濟會ハ是マデ國庫カラ補助ヲ受ケテ居リマシタガ、其補助ノ期限ガ盡キタル際デアリマス、繼續スルコトノ必要アルト云フコト、此文ヲ加ヘタ次第デゴザイマス、從テ建議案ノ文面ニモヤハリ變更ヲ來シテ居ルノデゴザイマス、委員長ノ報告ハ既ニ諸君ノトコロヘ配付セラレタルノデゴザイマス、其文面ハ朗讀スルコトハ省キマス、而シテ又國庫補助金増額ノ建議案ト云フモノニ付テハ唯増額シテ欲シト云フデケ建議案ニ書イテアリマスガ、金額ヲ定メナイト云フコト都合ガ惡ルイト云フコト、二萬圓増額シテ欲シト云フコト「二萬圓」ト云フ文字ヲ加ヘルト云フコトニ致シマシタ、此段御報告致シマス

○松田源治君 本案ハ委員長報告通り確定アラシコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 本案ハ委員長報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ委員長報告通り確定致シマス、次ノ日程第三十、第三十一ハ同一委員ニ付託セラレタルニ依リ、委員長ヨリ併セテ報告スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様致シマス、八木逸郎君

第三十 御歴世宮趾保表ニ關スル建議案(八木逸郎君外二名提出) (委員長報告)

第三十一 名所舊蹟古墳墓保護ニ關スル建議案(委員長報告)

〔八木逸郎君登壇〕

○八木逸郎君 御報告ヲ致シマス、兩案共ニ政府ハ非常ニ同情スルノミナラズ、政府ハ既ニ之ニ關シテ何等カノ法律ヲ制定シタルト云フ話デアリマス、唯中ニハ個人ノ所有ニ歸シタリ何カシテ居ルノト、金ノ問題ニナリマス、カシテ、來年度ト云フコトヲ確ニ御返答スルコトハ出來ヌ、政府自ラ進ンデ是非至急之ヲ行ヒタイト云フコト、法律

マデモ制定スルコトニシテ居ルカラ、斯ウ云フ話デアリマスカラシテ、ドウカ満場一致ヲ以テ御賛成ヲ願ヒマス

○副議長(肥塚龍君) 本案ハ一括シテ議題トナシ、委員長報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様致シマス、次ハ日程第三十二乃至第三十四ハ同一委員ニ付託セラレタル建議案ナルニ依リ、併セテ委員長ヨリ報告スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 委員長吉植庄一郎君

第三十二 北海道輕便鐵道敷設ニ關スル建議案(委員長報告)

〔高橋直治君外二名提出〕

第三十三 北海道拓殖經營案基礎確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案(委員長報告)

〔太郎君提出〕

第三十四 北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案(委員長報告)

〔吉植庄一郎君登壇〕

○吉植庄一郎君 御報告致シマス、三案アリマス、此三案ヲ順次御報告申シマス、第一ノ方ハ高橋直治君外二名ヨリ、提出ノ北海道輕便鐵道敷設ノ建議案デアリマス、是ハ北海道拓殖ノ進歩ノためニ北海道二十八線ヲ選定シテ然ルベキ年度ヨリ十年間ヲ期シ、此十八線ニ速ニ輕便鐵道ヲ敷設スルコトヲ希望スルコト云フ建議案デアリマス、政府モ大體此趣意ニ賛成ヲ表シテ居リマス、委員會ハ多數ヲ以テ是ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス、ソレカラ第二ノ小橋榮太郎君ヨリ提出ニナリマシタル北海道拓殖經營基礎確立及拓殖鐵道急設ニ關スル建議案、是ハ北海道拓殖ノ全體ニ關スルコトヲ問題デアリマシテ、少シク此經過及結果ハ時間ヲ藉サンコトヲ冀フデアリマス、提案者ノ趣意ハ昨年帝國議會ガ協賛ヲ與ヘマシタルコトヲ北海道拓殖經營案ナルモノハ北海道ノ自然増收ヲ以テ、將來ノ經營費用ニ充テルト云フナルモノハ豫期ノ如クニナラナイ、果シテ此ノ如クンバ將來北海道ノ拓殖經營ト云フモノハ基礎ガ甚ダ薄弱ニシテ憂フベキ至リデアル、故ニ此財源ヲ確立シテ北海道拓殖經營ヲ豫期ノ如クニ完成センコトヲ希望スルコト云フ趣意デアルノデアリマス、ソレニ付テ政府ノ答辯スルコトヲ聽キマス、此提案者ノ言フガ如キモノデハナイ、即チ拓殖計畫ノ基礎ナルモノハ一般會計ヨリ毎年二百五十萬圓ヲ限リテ支出シ、而シテ其以外ニ要スルコトコト費用ハ北海道ノ自然増收ヲ以テ之ニ充テルト云フデアリマシテ、十五箇年間ニ兩方ノ金ヲ併セテ七千萬圓支出スルコト云フコトニ付テハ、少シモ計畫ニ於テ齟齬ヲ來シテ居ラナイノデ、此四十四年度ニ於テ自然増收ガ多イトカ、少イトカ云フコトヲ言ハレルケレドモ、此十五箇年ニ亘ッテ三千二百萬圓ノ自然増收ト云フモノハ其年ニ依ッテ多少ナルケレドモ、既往十年ノ實績ニ徴シテ考ヘテ見ルトキニ於テ、此ノ如キ少額ノ金ハ斷ジテ間違ハヌト思フノデアル、斯ウ云フガ政府ノ答辯デアリマス、是デ兩方ノ主張ス

ルトコロ更ニ委員會ニ於テ慎重ニ調査ヲ致シテ見マスルト云フト、既往十年間ニ於テ北海道ノ自然増收ノ増加率ハ平均二割四分以上ニナッテ居ルノデアリマス、年々増加シタモノガ、此増加ストコロ十分ノ一ト云フコトヲ計算ニ於キマシテモ、十五箇年間ニ於テ三千五百萬圓以上ノ增收アルコトヲ確メタノデアリマス、既往十年ノ實績ハ二割五分平均増加シテ居リマスガ、此二割五分ノ十分ノ一、即チ二分五厘ヲ標準ト致シマシテモ、尙經營案ノ自然增收ナルモノハ決シテ不足ヲ告ケナイ、斯ウ云フコトノ計算ガアル以上ニハ、固ヨリ豫想デアリマスルケレドモ、本年一年ノ——昨年一年ノ經驗ヲ以テ直ニ此十五箇年間ノ豫想ヲ破壞スルガ如キト云フコトハ甚ダ早計ニ失スルモノデアル、十年間ノ既往ノ經驗ヲ基礎トスレバ、少クモ此經營案ナルモノハ安全ニ遂行シ得ルコトガ出來ルト云フコトヲ言ヒ得ルノデアリマス、是ニ於テ委員會ハ多數ヲ以テ提案者ノ——提案ノ前半即チ拓殖經營基礎確立ト云フコトノ趣意ヲ反對ニ決定致シマシタ、ツレカラ其案ノ後半即チ拓殖鐵道急設ニ關スル建議案ト云フコトニ付テハ此大體ノ趣意ニ於テハ政府モ敢テ反對ヲシナイノデアリマスガ、實ハ餘リニ漠然タル提案デアリマシテ、既ニ北海道ノ他ノ議員ヨリ輕便鐵道トシテ拓殖ノタメニ十八線ヲ選定シテ此委員會ガ容レルト云フヤウナ形勢デアリマスルガ故ニ、ヨリ具體ニナッテ居ルコロノ案ニ付テ賛成スル方ガ、却テ提案者ノ趣意ヲ充スコトニナルデアラウト云フヤウナトコロヨリシテ、委員會ハ此案ニ付テハ前半並ニ後半トモ、即チ全部否決ト決定ヲ致シタ次第デアリマス、此段御報告致シマス、ツレカラ第三ノ案同ジク此小橋榮太郎君ノ提出ニナッタトコロノ北海道ニ多額納稅議員ヲ選出スルコトニ致シタイト云フ建議デアリマス、政府ハ此問題ニ付テハ未ダ調査ヲシテ居ラス故ニ、贊否ヲ明言スルコト能ハズト、斯ウ申スノデアリマス、テ元來貴族院ニ對スル問題ノ如キハ衆議院モ大ニ是ハ慎重ニシナケレバナラヌモノデアルト考ヘタノデアリマシテ、政府ガ未ダ調査モシテ居ラヌト云フ問題ニ付テハ是ハ議會トシテモ大ニ考慮ヲシテ進ムベキコトデアラデ、サウ速ニ之ヲアセル必要ハナイ、敢テ此案ニ反對ト云フ意味ハナイケレドモ、時機ニ於テ未ダ其宜シキヲ得ナイ、斯ウ云フ趣意ニ於テ之ヲ否決ニ決定致シマシタ、此段御報告致シマス

〔此時副議長肥塚龍君議長席ヲ退キ、議長長谷場純孝君議長席ニ著ク〕
○小河源一君 三案共委員長ノ報告ニ反對ノ意思ヲ表明シテ置キマス
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○松田源治君 本案ハ一括シマシテ委員長報告通り三十二ハ可決シ、即チ三十三、三十四ハ否決セラレシコトヲ望ミマス
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○議長（長谷場純孝君） 先ツ三十二ヲ採決致シマス、即チ三十二ニ對シテモ否決ニ反對ノ意見ガ出テ居リマス、日程ノ三十二、北海道輕便鐵道敷設ニ關スル建議案ニ反對ノ諸君ハ起立
起立者 少數
○議長（長谷場純孝君） 少數——委員長報告ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長（長谷場純孝君） 御異議ナケレバ委員長報告通り決定ヲ致シマス、日程ノ第三十三、北海道拓殖經營基礎確立及北海道拓殖鐵道急設ニ關スル建議案、北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案、兩案一括シテ採決ヲ致シマス、兩案共ニ委員長報告通り否決ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長（長谷場純孝君） 御異議ナケレバ兩案共ニ否決致シマス、日程第三十五、准三后北畠親房公墳墓修理並南朝三帝ノ宮趾賀名生皇居ヲ特別保護建造物編入ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長東武君

第三十五
准三后北畠親房公墳墓修理並南朝三帝ノ宮趾賀名生皇居ヲ特別保護建造物編入ニ關スル建議案（東武君外一名提出）
（委員長報告）

（東武君登壇）

○東武君 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、此案ニ付キマシテ政府ノ方針ヲ伺ヒマシタトコロガ、政府ハ極メテ贊成ヲ表スルト云フコトデアリマシタ、而シテ准后親房卿ノ墳墓ノ如キ、既ニ確定シテ居ル、又南朝ノ宮趾ノ如キ、三代五十七年間ノ宮趾ヲ今尙特別保護ノ建造物ニ入レナイト云フコトハ、ドウ云フ理由デアル、特別保護建造物ノ件數ハ日本ニ六百幾十點アルガ、而モ其中ニ此等ヲ入レヌト云フノハドウ云フ理由デアルカト云フコトヲ聽キマシタ、然ルニ政府ノ云フニハ實ハ此等ノモノハ大切ナコトデアルケレドモ、何分經費ガ許サヌカラト云フコトデアリマシタガ、經費ガ許サヌカラ此ノ如キモノヲ今日マテ放任スルト云フコトハ、政府曠職ノ譏ヲ免レンデハナイカト云フコトヲ申シマシタトコロガ、歷史上ニモ關係ノアルコトデアリマスシ、極メテ貴重ノ案ト考ヘマスカラ、相當ノ調査ヲシテ、速ニ本案建議ノ趣意ヲ完ウスルヤウニ致シマス、ト斯ウ云フコトデアリマシタガ、尙親房卿ノ墳墓ニ付キマシテハ、之ヲ別格官幣大社トシテ祀ルガ當然デアルト云フコトノ提案者ノ理由デアリマシタガ、之ニ付テハ官幣大社ハ約十萬圓ノ創設費ヲ要スルノデアルカラシテ、直ニ豫算ニ計上シテ之ヲ來年ニヤルト云フコトハ、保證ガ出來ナイト云フコトデアリマシタガ、併ナカラ大體ノ意見ハ政府モ大ニ贊同ヲ表セラレタトコロデアリマスカラシテ、滿場一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマスカラ、何分諸君ニ於テモ御贊同アラント云フ偏ニ切望スル次第デアリマス

○松田源治君 本案ハ委員長報告通り可決アラントラ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレバ委員長報告通り本建議案ハ可決致シマス、日程第三十六、生絲検査所ニ試驗場併置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長武藤金吉君

第三十六
生絲検査所ニ試驗場併置ニ關スル建議案（武藤金吉君外二名提出）
（委員長報告）

（武藤金吉君登壇）

○武藤金吉君 委員會ノ結果ヲ御報告致シマス（簡單ト呼フ者アリ）生絲検査所ニ試驗場併置キマスト云フコトニ付キマシテノ建議案ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、政府モ全然同意デアリマシテ、サウシテ政府ハ尙此生絲検査所ニ試驗場ヲ置ク以上ニ別ニ絹業試驗所ヲ置キタイト云フ計畫ヲ持ッテ居ル、既ニ本年ハ豫算モ組ンデ閣議ニ出シタ位デアル、故ニ此建議ノ趣意ハ全然同意スルト同時ニ、進ンデハ別ニ絹業試驗

所ヲ置キタイト云フ考モ持ツテ居ルカラ、次年度ニ於テハ之ヲ是非實行シタイト云フノデアリマシテ、委員會ハヤハリ此方法ニ付キマシテハ政府ノヤルコトニ同意スルト云フコトヲ附加ヘテ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○松田源治君 本案モ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナシト認メマスカラ、委員長報告通り本案ハ可決致シマス、日程第三十七、内地粗糖業保護ニ關スル建議案ヲ議題トシマス——委員長與繁二郎君

第三十七 内地粗糖業保護ニ關スル建議案(武満 義雄君外四名提出) (委員長報告)

(與繁二郎君登壇)

○與繁二郎君 諸君、此案ハ内地ノ粗糖デ、即チ黑砂糖ナドノ製造業者ヲ特ニ保護スルト云フ案デアリマス、臺灣ノ粗糖ニ對シテハ十分ノ保護ガアリマスガ、黑砂糖ナドニ對シテハ餘リ保護ガナイ、政府ガ數年前ニ砂糖政策ヲ定ムル際ニ黑砂糖ナドハ四五ノ後ニハ全滅スルモノト考ヘテ居タルデアリマス、故ニ之ニ對スル保護ノ途ハ立ッテ居ラナカッタデアアル、然ルニ極ク低キ生活ヲシテ居ル多數ノ人ハ、ヤハリ黑砂糖ヲ甜メルデアリマス、從ツテ内地ニ於テモノ縣カ知リマセヌガ、四五縣ハ其黑砂糖製造ニ關係シテ、居ル人ガアルサウデアリマス、是等ニ對シテハ臺灣ナドトノ權衡上、相當ノ保護ヲスル案デアリマス、政府ハ是ニ對シテ餘リハキリシタコトハ言ハヌケレドモ、議會ハ議會ノ見ルトコロヲ以テ保護ヲ致スガ宜カラウト云フ考デ、全會一致ヲ以テ建議ヲスルコトニ決シマシタ、御贊成アラントラ希望致シマス

○松田源治君 本案ハ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通り可決致シマス、日程第三十八、酒類釀造試驗場増設ニ關スル建議案、委員長武藤金吉君

第三十八 酒類釀造試驗場増設ニ關スル建議案 (委員長報告)

(黃金井爲造君外二名提出)

○武藤金吉君 當席カラ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、此酒類釀造試驗場増設ニ關スル建議案ハ委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ政府ハ此試驗場ノ擴張ヲスルコトハ同意アルケレドモ、増設スルコトハ不同意デアアル、ケレドモ王子ノ瀧ノ川ニアルノモット大キク完全ニスルノハ同意デアアルガ、關西ニ一箇所置クト云フコトニハ同意ガ出來ナイト云フコトデアアルデアリマシタ、然ルニ此酒ノ稅ハ八千萬圓取ッテ居ッテ、サウシテ我國ノ好稅源デアアルニモ拘ラズ、酒造家ニ對シテハ政府ハ何等ノ施設ガナイデアリマス、此酒類釀造試驗場所ヲ置クト云フコトハ、今日マテ瀧ノ川ニアリマスニコロノ此試驗場ノ成績ニ徵シマシテモ必要デアルト云フコトデ、委員會ハ此案ヲ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ニ及ヒマス

○松田源治君 本案モ委員長報告通り可決アラントラ望ミマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマス、本案モ委員長報告通り可決致シマス、是ニ於テ御報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

商法中改正法律案

右貴院ノ回付ニ係ル政府提出案、本院ニ於テ貴院ノ修正ニ同意スルコトヲ得サルモノト議決セリ、依テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ及請求候也

明治四十四年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達

衆議院議長長谷場純孝殿

非訟事件手續法中改正法律案

右貴院ノ回付ニ係ル政府提出案、本院ニ於テ貴院ノ修正ニ同意スルコトヲ得サルモノト議決セリ、依テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ及請求候也

明治四十四年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達

衆議院議長長谷場純孝殿

貴院ノ回付ニ係ル政府提出商法中改正法律案ニ對スル本院協議委員ノ數八十名ト爲スニ決セリ依テ此段及通知候也

明治四十四年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達

衆議院議長長谷場純孝殿

貴院ノ回付ニ係ル政府提出非訟事件手續法中改正法律案ニ對スル本院協議委員ハ商法中改正法律案兩院協議委員ト同一委員ト爲スニ決セリ依テ此段及通知候也

明治四十四年三月十八日

貴族院議長公爵徳川家達

衆議院議長長谷場純孝殿

一 貴族院ヨリ回付セラレタル本院提出案左ノ如シ
行政裁判法中改正法律案

○議長(長谷場純孝君) 御諸ヲ致シマスガ、唯今報告シマシタ通り貴族院ヨリ本院提出ニ係ル行政裁判法中改正法律案ヲ回付シテ參リマシタ、就テハ會期モ切迫シテ居リマスカラ、此際議事日程ヲ變更シテ行政裁判法中改正法律案ニ對シテ、本院ニ於テ貴族院ノ修正ニ同意アルヤ否ヤヲ決シタイト思ヒマス、次ニ商法中改正法律案外一件ノタメ日程ヲ變更シテ此場合御諸リシテ置キタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ日程ヲ變更致シマス、先以テ行政裁判法中改正法律案ニ對シテ本院ニ於テ貴族院ノ修正ニ同意スルヤ、否ヤ御諮ラ致シマス

行政裁判所法中改正法律案(政府提出貴族院回付)

○菅原傳君 本案ニ對スル貴族院ノ修正ニ付キマシテハ同意スルコトハ出來マセヌ、故ニ兩院協議會ヲ開カレンコトヲ望ミマス、而シテ其委員ハ十名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 菅原君ノ發議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 然ラバ本案ハ貴族院ノ修正ニ同意セザルコトニ決シ議院法第五十五條ニ依リ、兩院ノ協議會ヲ開クコトヲ貴族院ニ請求シ、且其委員ノ數ハ十名トスルコトニ致シマス

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 然ラバ此委員ノ選舉ハ議長ノ指名……

○菅原傳君 議長指名ノ十名

○議長(長谷場純孝君) 其通りニ決定致シマス、次ハ商法中改正法律案外一件ニ付キ唯今朗讀シタ通り、貴族院ヨリ協議會ヲ請求シテ參リマシタ、其委員ハ數ハ十名トナスト云フ通知デアリマス、其協議員ノ選舉ハ如何致シマセウカ

商法中改正法律案(政府提出貴族院回付)

非訟事件手續法中改正法律案(政府提出貴族院回付)

○菅原傳君 此協議ニ應ズルタメ委員ノ選舉ハ次回ノ本會議ニ於テ決セラレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ、此貴族院ノ請求ニ係ル協議會ニ應ズル委員ノ選舉ハ次回ニ於テ決スルコトニ致シマス、一日程第三十九乃至八十九ハ御承知ノ如ク請願委員長ノ報告デアリマス、之ヲ一括シテ議題トシ委員長ヲシテ報告セシメ、而シテ請願中ニ異議ノアルモノニ限リ、其請願ガ委員長報告ヲ終リシ際發言ヲ求メラレタイト考ヘマス、而シテ總テニ御異議ノナイトキハ、一括シテ採決シタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ其通りニ致シマス

第三十九

(特別報告第九十七號)帝國軍人後援會國庫補助ノ請願 (委員長報告)

第四十

(特別報告第九十八號)官營事業不企畫ノ請願 (委員長報告)

第四十一

(特別報告第九十九號)亞細亞學術探檢協會補助ノ請願 (委員長報告)

第四十二

(特別報告第一百號)郵便物集配事務復舊開始ノ請願 (委員長報告)

第四十三

(特別報告第一百一號)松江監獄西鄉分監移轉ニ關スル請願 (委員長報告)

第四十三

(特別報告第一百二號)十津川村折立無集配局ヲ集配局ニ變更ノ請願 (委員長報告)

第四十五

(特別報告第一百三號)區裁判所出張所増設ノ請願 (委員長報告)

第四十六

(特別報告第一百四號)平戶區裁判所御厨出張所設立ノ請願 (委員長報告)

第四十七

(特別報告第一百五號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第四十八

(特別報告第一百七號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第四十九

(特別報告第一百八號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第五十

(特別報告第一百九號)區裁判所管轄變更ノ請願 (委員長報告)

第五十一

(特別報告第二十號)國有土地山林原野地方自治體ニ下附ノ請願外一件 (委員長報告)

第五十二

(特別報告第二十一號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第五十三

(特別報告第二十二號)利根川工事改修補修ノ請願外一件 (委員長報告)

第五十四

(特別報告第二十四號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第五十五

(特別報告第二十五號)醫術開業試驗ニ關スル請願 (委員長報告)

第五十六

(特別報告第二十六號)登記所設置ノ請願 (委員長報告)

第五十七

(特別報告第二十七號)圓山川同支川出石川、河身改修ノ請願 (委員長報告)

第五十八

(特別報告第二十八號)登記所増設ノ請願 (委員長報告)

第五十九

(特別報告第二十九號)發明事業獎勵補助金下附ノ請願 (委員長報告)

第六十

(特別報告第三十號)產牛獎勵資金貸下ノ請願 (委員長報告)

第六十一

(特別報告第三十一號)種牛場増設ノ請願 (委員長報告)

第六十二

(特別報告第三十三號)牛疫血清製造機關擴張ノ請願 (委員長報告)

第六十三

(特別報告第三十四號)静岡監獄濱松分監移轉ノ請願 (委員長報告)

第六十四

(特別報告第三十五號)別派公稱ノ請願外一件 (委員長報告)

第六十五 (特別報告第二百六十六號)皇后陛下御誕生日即チ地久節ヲ國家ノ祝日ニ加ヘテ國民一般ニ奉祝セムコトノ上奏ノ請願 (委員長報告)

第六十六 (特別報告第二百二十七號)鐵道建設ノ請願 (委員長報告)

第六十七 (特別報告第二百二十九號)日高國海岸線鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第六十八 (特別報告第三百三十號)補助航路ノ請願 (委員長報告)

第六十九 (特別報告第三百三十一號)鐵道建設ノ請願 (委員長報告)

第七十 (特別報告第三百三十二號)船川大久保間鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第七十一 (特別報告第三百三十三號)壽都黑松內間國有鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第七十二 (特別報告第三百三十四號)鐵道敷設ノ請願 (委員長報告)

第七十三 (特別報告第三百三十五號)紀勢鐵道敷設速成ノ請願外百五十二件 (委員長報告)

第七十四 (特別報告第三百三十六號)退隱料下附ノ請願 (委員長報告)

第七十五 (特別報告第三百三十七號)稅務署位置變更ニ關スル請願 (委員長報告)

第七十六 (特別報告第三百三十八號)地價修正ノ請願 (委員長報告)

第七十七 (特別報告第三百三十九號)裁判事務開始ノ請願 (委員長報告)

第七十八 (特別報告第四百十號)商法改正案中約束手形自署ニ關スル請願 (委員長報告)

第七十九 (特別報告第四百十一號)銚子港國費築港ノ請願 (委員長報告)

第八十 (特別報告第四百十二號)區裁判所事務復舊ノ請願 (委員長報告)

第八十一 (特別報告第四百十三號)利根川浚渫工事繰上ノ請願 (委員長報告)

第八十二 (特別報告第四百十五號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

第八十三 (特別報告第四百十七號)出雲國三澤郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十四 (特別報告第四百十八號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十五 (特別報告第四百十九號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十六 (特別報告第五百十號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十七 (特別報告第五百十一號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十八 (特別報告第五百十二號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十九 (特別報告第五百十三號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

(福井三郎君登壇)

○福井三郎君 唯今議長ノ御宣告ニナツタ通り一括シテ御報告シマス、其中ニ御斷リヲシテ置キマスガ、特ニ是ハハ明カニ報告シテ吳レト云フ註文ノモノモアリマスカラ、サウ云フモノニ付テハ——一例ヲ舉グレバ郵便局ダトカ、或ハ區裁判所ダトカ云フヤウナモノハ、單ニ件名ダケ讀上セラレタノデハ何レノヤラ分ラヌカラ、ツレバ何處ノデアルト云フコトヲ言ヘト云フコトデアリマスカラ、サウ云フモノニ付テハツレダケ付ケテ御報告スルコトニ致シマス、先ヅ特別報告ノ第九十七號、帝國軍人後援會國庫補助ノ請願、東京府豐多摩郡戸塚村華族伯爵大隈重信外九名、清室太郎君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、次ハ特別報告第九十八號、官營事業不企畫ノ請願、仙臺商業會議所會頭八木久兵衛ノ提出ニシテ、遠藤良吉君外二名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、次ハ特別報告第九十九號、亞細亞學術探檢協會補助ノ請願、東京市神田區小川町藤島宇太ノ呈出ニシテ、松本君平君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、次ハ特別報告第一百號、郵便物集配事務復舊開始ノ請願、鹿兒島縣川邊郡西加世田村長西大海ノ呈出ニシテ、武滿義雄君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、是ハ一度廢セラレタル小浦郵便局更ニ集配事務ヲ開始シテ貴ヒタイト云フデアリマス、次ハ第一百一號、松江監獄西鄉分監移轉ニ關スル請願、島根縣周吉郡西郷町長小笹忠次郎ノ呈出ニシテ、恆松隆慶君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、次ハ第一百二號、十津川村折立無集配局ヲ集配局ニ變更ノ請願、奈良縣吉野郡十津川村大字折立平民林業玉置貞二郎外十五名ノ呈出ニシテ、村井善四郎君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、次ハ第一百三號、區裁判所出張所増設ノ請願、奈良縣高市郡八木町長上田耕作外六名ノ呈出ニシテ、村井善四郎君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、是ハ八木町ニ區裁判所出張所ヲ増設シテ貴ヒタイト云フ趣意デアリマス、次ハ第一百四號、平戶區裁判所御厨出張所設立ノ請願、長崎縣北松浦郡御厨村長臨時代理有安淳夫外一名ノ呈出ニシテ、中倉方次郎君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、次ハ第一百五號、郵便局設置ノ請願、島根縣邑智郡谷佐鄉村百五番地平民商赤松爲一ノ呈出ニシテ、恆松隆慶君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、是ハ同郡ノ谷佐鄉村ヘ設置シテ貴ヒタイト云フ請願デアリマス、次ハ第一百七號、區裁判所出張所設置ノ請願、岐阜縣益田郡小坂町長住幸謹ノ呈出ニシテ、古井由之君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、是ハ同郡ノ小坂町ヘ出張所ヲ設置シテ欲シト云フ趣意デアリマス、次ハ第一百八號、郵便局設置ノ請願、鹿兒島縣日置郡阿多村新山二十二番戶平民鯉島新逸外十六名ノ呈出ニシテ、武滿義雄君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、其趣意ハ同郡ノ阿多村ヘ設置シテ欲シト云フ趣意デアリマス、次ハ第一百九號、區裁判所

管轄變更ノ請願、兵庫縣有馬郡三田町長北村萬次郎外五名ノ呈出ニシテ、鹿島秀
管君ノ紹介ニ係ル件アリマス、是ハ同郡有馬郡全部ヲ神戸區裁判所ノ管轄ヨリ割イ
テ伊丹區裁判所管内ニ編入シテ欲シトノ趣意アリマス、次ハ第百十號、國有土地
山林原野地方自治體ニ下附ノ請願、秋田縣仙北郡生保内村字湖三十二番地平民
農三浦政吉外三十二名ノ提出ニシテ、齋藤宇一郎君ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ
八百三十三號、國有土地森林原野地方自治體ニ下附スル請願、秋田縣仙北郡神
代村卒田乙十二番地土族農大森政胤外三十八名ノ提出ニシテ、神田清兵衛君ノ紹
介ニ係ル件アリマス、次ハ第百一十一號、郵便局設置ノ請願、德島縣板野郡大津村
大字大代村千二百五十六番地平民商尾形善吉外二名ノ呈出ニシテ、橋本久太郎
君ノ紹介ニ係ル件アリマス、是ハ大津村大字大代村ハ無集配局ヲ置イテ撫養郵便
局ノ集配度數ヲ増加セラレタリト云フ趣意アリマス、次ハ第百一十二號、利根川工事
改修補修ノ請願、千葉縣香取郡佐原町佐原町會議長佐原町長伊能厚太郎ノ呈
出ニシテ、加瀬禮逸君外一名ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ利根川第一期改修工
事補修ノ請願、千葉縣香取郡佐原町佐原町四十七番地平民商八木慶太郎
外百九十二名ノ呈出ニシテ、關和知君外二名ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百十
四號、區裁判所出張所設置ノ請願、石川縣鳳至郡柳田村字柳田禮部八番地平
民農正木亮太郎外二名ノ呈出ニシテ、米田權君ノ紹介ニ係ル件アリマス、是ハ同郡
柳田村字柳田ニ設置ヲ求ムル趣意アリマス、次ハ第百十五號、醫術開業試驗ニ關
スル請願、新潟縣北魚沼郡吉谷村大字西吉谷二十一番戶平民篠田權外十名ノ呈
出ニシテ、八木逸郎君ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百十六號、登記所設置ノ請
願、德島縣美馬郡米田村平民農山田龍太外二名ノ呈出ニシテ、大久保弁太
郎君ノ紹介ニ係ル件アリマス、是ハ同郡半田村ニ設置シテ欲シトノ趣意アリマス、
次ハ第百十七號、圓山川同友川出石川ノ河川改修ノ請願、兵庫縣城崎郡豐岡町
ノ内京口町二十五番地平民商佐川恆太郎外四百一十一名ノ呈出ニシテ、改野耕
三君外四名ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百十八號、登記所増設ノ請願、秋田
縣山本郡鵜川村鵜川三十番地土族鵜川村長青柳四方司外六名ノ呈出ニシテ、三
浦盛徳君ノ紹介ニ係ル件アリマス、是ハ秋田縣能代區裁判所管内山本郡濱口村及
同裁判所管内山本郡鵜川村金岡村大字外岡ノ二箇村ヲ割イテ、此二
箇村ヲ管轄スベキ登記出張所ヲ設置シテ欲シトノ趣意アリマス、次ハ第百十九號、
發明事業獎勵補助金下附ノ請願、東京市本所區永倉町一番地二號平民洋燈笠
製造販賣業野口榮吉外二名ノ呈出ニシテ、佐々木文一君外一名ノ紹介ニ係ル件ア
リマス、次ハ第百二十號、產牛獎勵資金貸下ノ請願、東京市下谷區二長町五十二番
地平民畜產業和田該輔外八名ノ呈出ニシテ、黃金井爲造君ノ紹介ニ係ル件アリマ
ス、次ハ第百二十一號、種牛市場増設ノ請願、東京市下谷區二長町五十二番地平民
畜產業和田該輔外八名ノ呈出ニシテ、黃金井爲造君ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ
第百二十三號、牛疫血清製造機關擴張ノ請願、東京市下谷區二長町五十二番地
平民畜產業和田該輔外八名ノ呈出ニシテ、黃金井爲造君ノ紹介ニ係ル件アリマス、
次ハ第百二十四號、静岡監獄濱松分監移轉ノ請願、静岡縣濱松郡濱松町長鶴
見信平ノ呈出ニシテ、伊東要藏君ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百二十五號、別
派公稱ノ請願、新潟縣中頸城郡高田町大字中寺淨興寺寺務總理中條芳實外一
万五千五十六名ノ呈出ニシテ、竹越與三郎君外一名ノ紹介ニ係ル件、同上東京市本

郷區本郷弓町一丁目六番地子爵柳原政敬外八十九名ノ呈出ニシテ、高橋光威君
ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百二十六號、皇后陛下御誕生日御節ヲ國
家ノ祝日ニ加ヘテ國民一般ニ奉祝セムコトヲ上奏ノ請願、熊本縣熊本市京町本町十
番地平民工業中村六藏外六千二百五十五名ノ呈出ニシテ、高田露君外二名ノ紹介
ニ係ル件アリマス、次ハ第百二十七號、鐵道建設ノ請願、山口縣佐波郡防府町長
吉武昌作外十三名ノ呈出ニシテ、河野郁太郎君外一名ノ紹介ニ係ル件アリマス、
是ハ陰陽縱貫線ノ豫定線ヲ石見國津和野ヨリ周防國三田尻ニ至ル線路、即チ三石
線ヲ採用セラレタリト云フ趣意アリマス、次ハ第百二十九號、日高國海岸線
鐵道敷設ノ請願、北海道日高國沙流郡門別村平民塚本博愛外二十三名ノ呈出ニ
シテ、東武君外一名ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百三十號、補助航路ノ請願、
北海道日高國沙流郡門別村平民農塚本博愛外二十三名ノ呈出ニシテ、東武君ノ紹
介ニ係ル件アリマス、此趣意ハ函館浦河間ノ命令補助航路ヲ設ケラレタリト云フ趣
意アリマス、次ハ第百三十二號、船川大久保間鐵道敷設ノ請願、秋田縣鹿角郡尾
去澤村三十番地土族農内田平三郎外七名ノ呈出、三浦盛徳君外一名ノ紹介ノ件、
次ハ第百三十三號、壽都黑松内間國有鐵道敷設ノ件、北海道壽都郡壽都町平民
松井源内外二百八十七名ノ呈出、小橋榮太郎君外一名ノ紹介ニ係ル件、次ハ第百三十
四號、鐵道敷設ノ請願、北海道雨龍郡雨龍村農小林理助外八百八十二名ノ呈出、
東武君外一名ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百三十五號、紀勢鐵道敷設速成
ノ請願、和歌山縣那賀郡小川村平民永增常市外五十二名ノ呈出ニシテ、山口熊野
君外三名ノ紹介ニ係ル件アリマス、同上同縣同郡北野上村平民森田元治郎外十九名
出、山口熊野君外三名ノ紹介、同上同縣同郡南野上村平民中尾貴志太郎外三
十三名ノ呈出、山口熊野君外三名ノ紹介ニ係ル件、其他同縣ノ件ガアリマス、是ハ
總テ載セテ文書表ニ詳テアリマス、朗讀ヲ省略シマス、次ハ第百三十六號、退隱
料下附ノ請願、朝鮮馬山府昌原城內平民延松寅之助ノ呈出、大津淳一郎君ノ紹
介ニ係ル件アリマス、次ハ第百三十七號、稅務署位置變更ニ關スル請願、岡山縣
吉備郡總社町長子爵詩田廣子外三十名ノ呈出、西村丹治郎君ノ紹介ニ係ル件ア
リマス、次ハ第百三十八號、地價修正ノ請願、埼玉縣比企郡中山村平民農利根
川覺重郎外六百四十五名ノ呈出ニシテ、加藤政之助君外一名ノ紹介ニ係ル件ア
リマス、次ハ第百三十九號、裁判事務開始ノ請願、香川縣大川郡三本松町平民
商鎌田澤三外二十五名ノ呈出ニシテ、三土忠造君ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第
百四十號、商法改正案中約束手形自署ニ關スル請願、群馬縣山田郡桐生町桐生
織物同業組合副組長町田啓次郎ノ呈出ニシテ、武藤金吉君ノ紹介ノ件、次ハ第百
四十一號、銚子港國費築港ノ請願、千葉縣海上郡本銚子町平民漁業伊藤藤七外
七百六十九名ノ呈出ニシテ、加瀬禮逸君外一名ノ紹介ニ係ル件アリマス、次ハ第百
四十二號、區裁判所事務復舊ノ請願、兵庫縣川邊郡伊丹町長池上茂兵衛外十
四名ノ呈出ニシテ、鹿島秀管君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第百四十三號、利根川浸灌工
事繰上ノ請願、埼玉縣南埼玉郡江面村大字北青柳四十三番地平民農關根福三
郎外千九百一十一名ノ呈出ニシテ、齋藤珪次君外七名ノ紹介ニ係ル件、次ハ第百四
十五號、區裁判所出張所設置ノ請願ニシテ、大分縣大野郡牧口村長佐藤勝太郎
外三名ノ呈出、三浦覺一君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第百四十七號、出雲國三澤郵便局
設置ノ請願、島根縣出雲國仁多郡三澤村大字河内五百四十三番地平民農白名
猪太郎外二十八名ノ呈出ニシテ、河上英君外一名ノ紹介ニ係ル件、次ハ第百四十八

號、郵便局設置ノ請願、和歌山縣有田郡御靈村長栗生榮三郎外一名ノ呈出ニシテ山口熊野君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第四百四十九號、郵便局設置ノ請願、埼玉縣北埼玉郡村君村大字下村君五十四番地平民農田口與左衛門外十九名ノ呈出ニシテ、齋藤圭次君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第五百五十九號、郵便局設置ノ請願、秋田縣山本郡堀川村長神尾重明ノ呈出ニシテ、三浦盛徳君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第五百五十一號、郵便局設置ノ請願、靜岡縣濱名郡入野村入野三十九番地平民農竹村太郎外六名ノ呈出ニシテ、伊東要藏君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第五百五十二號、郵便局設置ノ請願、群馬縣吾妻郡六合村長中澤多惣治ノ呈出ニシテ、武藤金吉君ノ紹介ニ係ル件、次ハ第五百五十三號、郵便局設置ノ請願、新潟縣岩船郡神納村長小田秀太郎ノ呈出ニシテ、山際敬雄君ノ紹介ニ係ル件等テゴザイマス、以上ノ請願ハ請願委員會ニ於テ或ハ特別委員會ニ付託シマシテ、審査ヲ遂ゲサセタモノモゴザイマス、或ハ分科會ニ於テツレノ政府委員ノ出席ヲ求メ、委員ノ辯論ヲ盡シマシテ丁寧ニ審査ヲ致シマシタル結果、總テ皆採擇ノ理由アルモノト認メテ、以上ノ請願ヲ採擇スルコトニ決定致シマシタル、詳シイコトハ御手許ニ委員長ノ報告ガ差出シテゴザイマスカラ、一々申上グルコトハ略スルコトニ致シマス(拍手起ル)

○議長(長谷場純孝君) 日程ノ第三十九乃至第八十九ハ今請願委員長ヨリ報告セラレタ通り御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ採擇スルコトニ決シマス——報告ヲ致シマス
(書記朗讀)
一政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送附セラレタリ
北海道及樺太經營ニ關スル質問主意書(桂内閣總理大臣、平田內務大臣、寺內陸軍大臣、齋藤海軍大臣)
衆議院議員小橋榮太郎君提出、北海道及樺太經營ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也
明治四十四年三月十八日

衆議院議長長谷場純孝殿
内閣總理大臣侯爵桂太郎
(別紙)
衆議院議員小橋榮太郎君提出、北海道經營ニ關スル質問ニ對スル答辯
一拓殖費ハ毎年度ノ支出額ヲ豫メ別ニ確定シタルモノナシ曩ニ配付シタル北海道拓殖事業計畫說明書附屬書拓殖費豫算年度制總覽ニ掲ケタル數ノ如キハ大體ノ見込ニシテ固ヨリ確定ノモノニアラサルカ故ニ其實施ニ方リ異動ヲ來スハ亦タ已ムヲ得サル所ナリ、而シテ明治四十四年度ニ於ケル拓殖費ノ該拓殖費豫算年度制總覽ニ掲ケタル數ニ達セサルハ經濟界ノ不況等ニ基クモノニシテ政府ハ之カ爲メ北海道事業計畫基本ニ動搖ヲ來スノ憂アリト認メス
二北海道ニ於ケル鐵道ニ付テハ特ニ急設ノ必要ヲ認メ四十二年度ニ於テ臨時線路ノ調査ヲ爲シ四十四年度ニ於テモ之ヲ繼續セントス又四十四年度ヨリ現在著手ノ工事ヲ進行スルト俱ニ輕便鐵道敷設ニ著手スルコトトセリ尙將來調査線ニ付キ緩急順序ヲ査定シ著々本道ニ於ケル拓殖鐵道ノ普及ヲ謀ルヘシ

三目下ノ狀勢ニ於テハ現在ノ軍備ヲ以テ北日本警備ノ實ヲ舉ゲ得ヘシト信ス然レトモ今後内外狀勢ノ變化ニ應シ更ニ相當ノ設備ヲ施スノ要ナキニアラサルヘシ
四青森港ノ修築ニ關シテハ目下調査中ナリ
五樺太ノ經營ニ關シテハ水産林產礦產等ノ重要產物ニ付充分之レカ利用ノ方法ヲ講シ利源ノ開發ヲ圖ルト共ニ農耕ノ適地ヲ撰擇シテ移民ノ招待ニ努メ以テ其堅實ナル發達ヲ完カラシメンコトヲ期ス
右及答辯候也
明治四十四年三月十八日

○議長(長谷場純孝君) 他ノ答辯書ハ朗讀ヲ省イテ、速記録ニ載セテ、御報告スルコトニ致シマス——モウツ報告ガアリマス
(書記朗讀)
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
農政改良ニ關スル建議案
提出者 根岸昭太郎君

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出)
市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出)
府縣立師範學校校長俸給並公立學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出)

間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案(政府提出)
韓國鐵道會計所屬資金ノ繰入ニ關スル法律案(政府提出)
電氣事業法案(政府提出)
又左ノ議案ニ對シテハ承諾ヲ與フルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
明治四十二年年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
明治四十二年年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十二年年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
明治四十二年年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)
明治四十二年年度韓國派遣部隊豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

一澤來太郎君ヨリ馬匹改良ニ關スル再質問主意書ヲ提出セラレタリ
一早川龍介君ヨリ曆法改正調查ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ
(左ノ答辯書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)
一政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送付セラレタリ

外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問主意書(桂大藏大臣、小村外務大臣、大浦農商務大臣、後藤遞信大臣)
危險思想防止策ニ關スル質問主意書(桂内閣總理大臣兼大藏大臣、平田內務大臣、小松原文部大臣)

稅務官吏ノ不法行為ニ對スル質問主意書(桂大藏大臣)
衆議院議員武田貞之助君提出外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也
明治四十四年三月十八日

衆議院議長長谷場純孝殿

內閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議員武田貞之助君提出外國貿易殊ニ對東洋貿易ノ擴張ニ關スル質問ニ對スル答辯書

- 一、政府ハ橫濱正金銀行ヲシテ我貿易關係者ニ對シ公平且適切ニ資金ノ融通ヲ爲シ爲替相場及貸出利率ノ如キモ成ルベク低減セシメ一般業務取扱振ニ在リテモ可成我貿易當事者ニ對シ援助利便ヲ與ヘシムルコトニ意ヲス
- 二、政府ハ命令航路ニ從事スル各當事者ヲシテ孰レモ既定ノ條件ニ從ヒ適當ノ船舶ヲ使用シテ航海ノ定期ヲ嚴守セシム其ノ帝國貿易利益スル所鮮少ナラスト認ム
- 三、政府ハ必要不得止場合ノ外漫リニ在外領事館ヲ易置スルコトナシ又領事ノ任用方法ハ目下之ヲ改正スルノ必要ヲ認メス
- 四、清國ニ於ケル工業所有權ノ保護ニ付テハ清國ニ對シ法令ノ制定ヲ促スト共ニ我利益侵害ノ事實アル毎ニ清國當局者ニ交渉シテ相當ノ保護手段ヲ盡スニ意ヲス而シテ之レト同時ニ歐米各國ト條約ヲ締結シ清國ニ於ケル工業所有權ノ保護ヲ確實ナラシムコトヲ期ス又清國以外ノ諸國ニ關シテハ法令及條約ノ規定ニ依リ適當ノ保護ヲ加ヘ居レリ
- 五、日印貿易ニ付テハ之ガ振興ノ緊要ナルヲ認メ既ニ總領事館ヲ「カルカッタ」ニ設置シ從來屢々官吏及民間實業家ヲ派遣シテ彼地ノ狀態嗜好風俗ヲ觀察セシメ又昨年博覽會ノ開催セラレ、ニ際シ相當ノ援助ヲ與ヘ以テ本邦商品ノ販路開拓ニ努メタリ尙將來益々輸出貿易ヲ助長シ日印貿易ノ發達ヲ計ルニ於テ違算ナキヲ期ス

右及答辯候也

明治四十四年三月十八日

衆議院議員村松恆一郎君提出危險思想防止策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也
明治四十四年三月十八日

衆議院議長長谷場純孝殿

內閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙)

衆議院議員村松恆一郎君提出危險思想防止策ニ關スル質問ニ對スル答辯書

- 一、政費ヲ節約シテ歲計ヲ定メ財政ノ許ス限リ稅法ヲ整理シテ負擔ノ權衡ヲ圖リ又稅務ノ執行ニ當リ苛察誅求ノ弊ナカラシムルハ政府ノ常ニ勉メテ已マサル所ニシテ將來更ニ益々此ノ趣旨ノ貫徹セムコトヲ期ス

- 一、教員ノ任用ニ關シ重キヲ其ノ人格ニ置クコトハ政府ニ於テモ夙ニ注意スル所ニシテ優良ナル教員ノ養成ニ努ムルト同時ニ學校長教員ノ人選ヲ慎重ニ以テ德育ノ效果ヲ擧ケンコトヲ期セリ
- 一、宗教カ國民ノ德性ヲ涵養スルニカアルコトハ政府モ夙ニ認ムル所ナルヲ以テ神佛二道ニ對シテモ之カ監督ト指導トニ依リ益々其ノ振作ヲ促シ教化ノ目的ニ副ハシメンコトヲ期ス
- 一、政府ハ常ニ官紀ノ振肅ヲ意ヲス一般國民ノ風紀ニ意ヲ用井之カ改善ヲ圖ラムコトヲ期ス

- 一、危險思想ノ傳播ニ對シ法律ノ定ムル所ニ依リ必要ナル取締ヲ爲スト同時ニ人民ノ自由ハ之ヲ尊重シ無辜ノ良民ヲ壓迫スルカ如キコトナカラムコトヲ期セリ

右及答辯候也
明治四十四年三月十八日

內閣總理大臣 侯爵桂太郎
兼大藏大臣 法學博士 田 東助
內務大臣 士男爵平 小松原英太郎
文部大臣

衆議院議員手塚正次君提出稅務官吏ノ不法行為ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也
明治四十四年三月十八日

內閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

(別紙)

衆議院議員手塚正次君提出稅務官吏ノ不法行為ニ關スル質問ニ對スル答辯書

- 一、一般稅務官吏ノ服務ニ付テハ夙ニ其服務スヘキ條規ヲ定メ各種ノ方法ヲ以テ之カ遵奉實行ヲ訓練シ殊ニ人民ニ對シテ苛察又ハ橫暴ノ言動ナカルヘキ旨ヲ訓諭シ常ニ其ノ監督ヲ怠ラス非違アル者ニ對シテハ嚴懲戒ヲ加ヘ遺憾ナキヲ期セリ
- 二、甲府市ニ於ケル事件ノ真相ニ付テハ目下調査中ニ屬ス
- 三、稅務官吏ノ行為ニ付監督上ニ不行届アリトセハ監督者ニ於テモ亦其責ヲ負フキハ無論ナリ

右及答辯候也

明治四十四年三月十八日

議長(長谷場純孝君) 議長ニ委託セラレタル委員ノ氏名ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、尙明後日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會
午後五時二分散會

大藏大臣侯爵桂太郎